

十日町市中心市街地住宅需要調査業務委託

報 告 書

平成 25 年 5 月

目 次

<u>第1章 アンケート調査概要</u>	1
1. 調査の概要	2
2. アンケート調査票	3
①依頼文	3
②調査票	5
<u>第2章 アンケート調査結果</u>	11

第1章 アンケート調査概要

1. 調査の概要

(1) 目的

アンケート調査を実施することで今後の中心市街地における住宅需要を把握するとともに、中心市街地への移住の際の条件を探り、今後の中心市街地活性化施策に反映することを目的とする。

(2) 調査設計

- ・調査対象：3,000人（十日町市在住の20歳以上の市民から抽出）
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収（無記名回答）
- ・調査期間：平成25年3月22日（金）～4月5日（金）[14日間]
- ・回収結果：1,559通（回収率52.0%） ※~~不~~切遅延分も含む

(3) 設問項目

A. ご自身について	問1～5	性別、年代、家族構成、職業、住まい
B. 現在の住まいについて	問6～7	住まいの種類、居住年数
	問8	現在の住まいの満足度
	問9	住まい選びの際に重視すること
C. 居住・住み替え意向	問10～11	今後の住み替え意向
D. 中心市街地について	問12	中心市街地への居住意向
	問13	住み替え促進のための取り組み

(4) 調査結果の見方について

- ・集計は小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・基数となる実数（N）は、各設問に対する回答者の数とした。
- ・各設問で単一回答を複数回答している等の無効票については、「無効・無回答」として扱った。

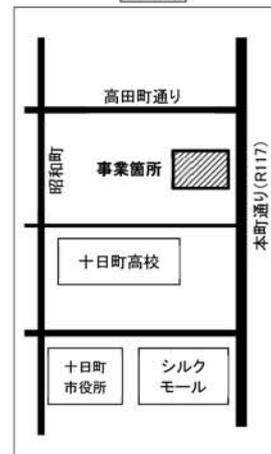
「雪国でも安心して暮らし続けられるまちづくり」の具体的な事業の紹介（一部）

（仮称）ファインプロジェクト10（旧田倉跡地活用事業）

金融機関や医療施設などの生活利便施設や、アーケードなどの既に整っている都市基盤を活かし、旧田倉跡地を活用して、高齢者及び一般世帯向けの賃貸住宅の整備を行う。

また、子育て支援や老人ディサービス施設、オープンスペースなどを併設し、子育て世代や高齢者が安心して生活できる住環境を提供する。

位置図



- 事業箇所：十日町市本町2丁目（旧田倉跡地）
- 事業主体：特定目的会社（民間事業者）
- 構造：鉄骨造 地下1階、地上4階
- 主要な施設：
 - ・地下1F：駐車場
 - ・1F：子育て支援施設、老人ディサービス、オープンスペースなど
 - ・2F・3F：サービス付き（※）高齢者住宅（予定30戸）
 - ・4F：ファミリー向け都市型住宅（予定15戸）

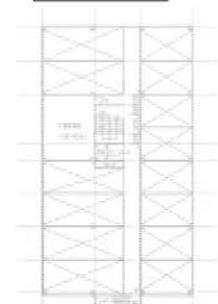
※主にケアの専門家による安否確認や生活相談サービス

- 完成予定：平成27年3月ころ

建物1F平面図



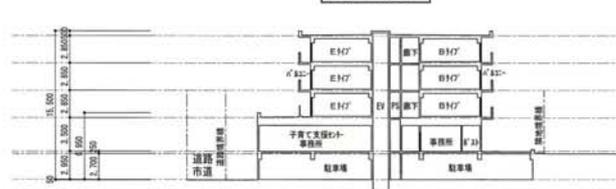
2～4F平面図



Bタイプ間取り



建物断面図



裏面をご覧ください

②調査票

十日町市 住宅需要に関する市民意識調査

《ご記入にあたってのお願い》

- ・封筒のあて名のご本人がお答えください。ご本人がお答えできない場合は、ご家族などご相談のうえお答えください。
- ・調査票へのご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて**4月5日(金曜日)までに**郵便ポストへ投函してください。
- ・切手は不要です。また、住所・氏名等の記載も不要です。

【問い合わせ】 十日町市 産業観光部 中心市街地活性化推進室
十日町市千歳町3丁目3番地
電話：757-3691 FAX：752-4635

A. あなたご自身のことについて、おたずねします。

問1 あなたの性別についてお聞かせください。(1つに○)

- 1 男性 2 女性

問2 あなたの年齢についてお聞かせください。(1つに○)

- 1 20歳代 2 30歳代 3 40歳代
4 50歳代 5 60歳代 6 70歳以上

問3 あなたの家族構成についてお聞かせください。(1つに○)

- 1 単身(ひとり暮らし) 2 夫婦世代(夫婦のみ) 3 二世帯(親と子)
4 三世帯(親と子と孫) 5 兄弟姉妹 6 その他()

問4 あなたの職業についてお聞かせください。(1つに○)

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業
4 農林水産業 5 パート・アルバイト 6 家事専業
7 学生 8 無職 9 その他()

問5 あなたのお住まいの地域についてお聞かせください。(1つに○)

- 1 十日町(十日町中学校区) 2 高山(西小学校区の南部)
3 西部(西小学校区の北部) 4 中条・飛渡
5 大井田 6 川治・六箇
7 吉田 8 下条 9 水沢 10 川西
11 中里 12 松代 13 松之山

わからない場合はお住まいの行政区をお書きください。

(行政区名：)

B. 現在のお住まいについて、おたずねします。

問6 現在お住まいの住宅の種類は何ですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| 1 一戸建て(自己所有) | 2 一戸建て(家族所有) | 3 一戸建て(借家) |
| 4 分譲マンション(自己所有) | 5 分譲マンション(家族所有) | 6 民間の賃貸マンション・アパート |
| 7 公営住宅 | 8 社宅・官舎 | 9 その他() |

問7 現在お住まいの場所にどのくらい住んでいますか。(1つに○)

- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1 1年未満 | 2 1~3年 | 3 3~5年 | 4 5~10年 |
| 5 10~20年 | 6 20~30年 | 7 30年以上 | |

問8 現在お住まいの住宅や周辺の環境の満足度についてお聞きします。

あてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ1つに○)

	満足	やや満足	どちらかといえば満足	やや不満	不満
① 住宅の広さや間取り	5	4	3	2	1
② 住宅の快適性(設備や機能など)	5	4	3	2	1
③ 住宅の維持管理面(雪処理や手入れなど)	5	4	3	2	1
④ 立地の利便性(通勤・通学や買い物など)	5	4	3	2	1
⑤ 周辺の環境(公園や自然など)	5	4	3	2	1
⑥ 総合的に判断して	5	4	3	2	1

問9 住まい選びの際に重視することは何ですか。

あてはまる番号に○をつけてください。(3つまで○)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 住宅の広さや間取り | 2 住宅の快適性(設備や機能など) |
| 3 住宅の維持管理面(雪処理や手入れなど) | 4 立地の利便性(通勤・通学や買い物など) |
| 5 周辺の環境(公園や自然など) | 6 住宅や土地の価格・賃料 |
| 7 その他() | |

C. 今後の居住や住み替えの意向について、おたずねします。

問10 今後も今の場所に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 今後も住み続けたい | |
| 2 転居する予定がある | —————→ 問10-1△ |
| 3 転居を検討している(検討したい) | —————→ 問10-1△ |
| 4 転居したいができない | |
| 5 その他() | |

※問10で「2転居する予定がある」「3転居を検討している(検討したい)」とお答えになった方にお聞きします。

問10-1 転居を検討している場所はどこですか。(1つに○)

※中心市街地の範囲については、6ページの参考資料をご覧ください。

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 十日町駅周辺の中心市街地 | 2 十日町市内()地域 |
| 3 他の市町村()市町村 | 4 その他() |

問10-2 転居先はどのような住宅をお考えですか。(1つに○)

- | |
|---------------------------------|
| 1 高齢者向けの福祉サービス付き(注)集合住宅[賃貸] |
| 2 単身向けワンルーム集合住宅[賃貸アパート、賃貸マンション] |
| 3 家族向け集合住宅[賃貸アパート、賃貸マンション] |
| 4 一戸建ての借家 |
| 5 一戸建ての持家 |
| 6 自身で所有する集合住宅[分譲マンション] |
| 7 その他() |

※ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスなどのことです。

(全員の方にお聞きします。)

問11 「問10」でお答えになった理由は何ですか。(2つまで○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 通勤・通学等の交通の利便性 | 2 買い物等の生活の利便性 |
| 3 住居費負担等の経済性 | 4 公園や自然などの周辺環境の快適性 |
| 5 雪処理などの維持管理面 | 6 防犯や防災等の安全性 |
| 7 家族構成の変化や家族の理由により | 8 その他() |

D. 十日町駅周辺の中心市街地について、おたずねします。

※十日町市では、現在「中心市街地活性化基本計画」の策定に取り組んでいます。
別紙の参考資料をご覧ください、以下のご質問にお答えください。

問 12 中心市街地に住んでみたいと思いますか。(1つに○)

※中心市街地の範囲については、6ページの参考資料をご覧ください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 既に住んでいる | |
| 2 既に住んでいるが現在と異なった住宅に住んでみたい | —————→ 問12-1△ |
| 3 住んでみたい | —————→ 問12-1△ |
| 4 条件が合えば住んでみたい | —————→ 問12-1△ |
| 5 住みたくない | |

※問12で「2住んでみたい」「3条件が合えば住んでみたい」とお答えになった方にお聞きします。

問 12-1 どのような住宅に住んでみたいと思いますか。(1つに○)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1 高齢者向けの福祉サービス付き(※)集合住宅[賃貸] | —————→ 問12-2△ |
| 2 単身向けワンルーム集合住宅[賃貸アパート、賃貸マンション] | |
| 3 家族向け集合住宅[賃貸アパート、賃貸マンション] | |
| 4 一戸建ての借家 | |
| 5 一戸建ての持家 | |
| 6 自身で所有する集合住宅[分譲マンション] | |
| 7 その他() | |

※ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスなどのことです。

※問12-1で「1高齢者向けの福祉サービス付き集合住宅」とお答えになった方にお聞きします。

問 12-2 「福祉サービス付き集合住宅」ではどのようなサービスを望みますか。

(2つまで○)

- | | | |
|----------------|----------------------|------------|
| 1 診療所の併設 | 2 訪問看護や往診 | 3 健康相談所の併設 |
| 4 介護施設の併設 | 5 入居者用の食堂の併設 | |
| 6 生活支援や日常のサポート | 7 交流のための催しやサービス、場の提供 | |
| 8 その他() | | |

(全員の方にお聞きします。)

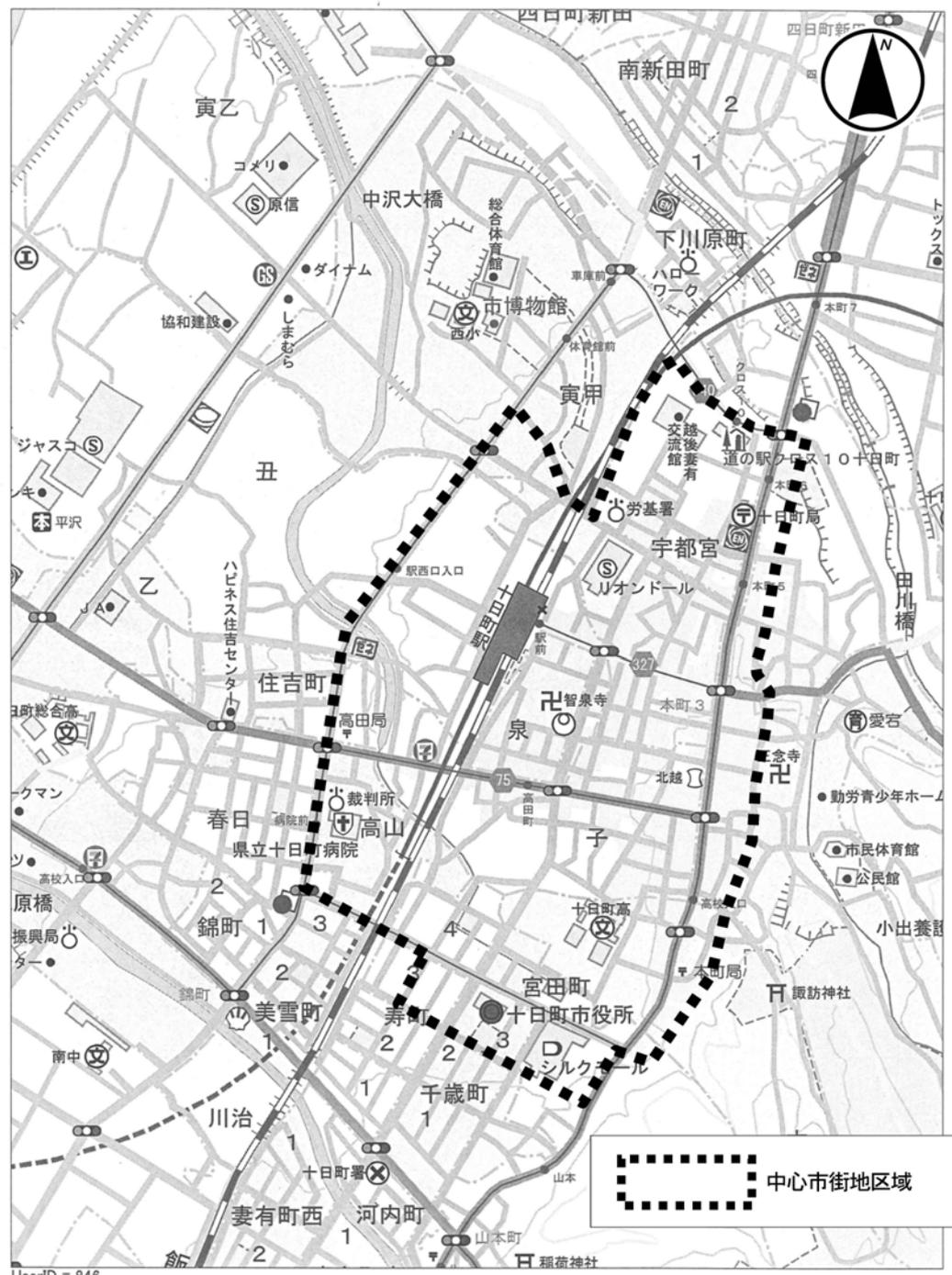
問13 中心市街地への住み替えを促進するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(3つまで○)

- 1 集合住宅などの供給
- 2 空地や空家などの住まいに関する情報の提供
- 3 住宅の取得や改修などのための資金の支援
- 4 住み替えなどのための既存住宅を処分する資金の支援
- 5 雪対策のための融雪屋根住宅等に対する支援の拡充
- 6 買い物利便性の向上や商店の充実
- 7 医療・福祉・公共施設等の施設整備
- 8 バリアフリーや防災施設等の基盤整備
- 9 公園・緑地や街並み・景観等の環境整備
- 10 その他 ()

E. お住まいや住み替えについてのご意見など、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。
同封した返信用封筒に入れ、4月5日(金)までに投函してください。

十日町駅周辺の中心市街地区域



UserID = 846
 (中央) 1/10000
 0 100 900m
 2013年3月15日

第2章 アンケート調査結果

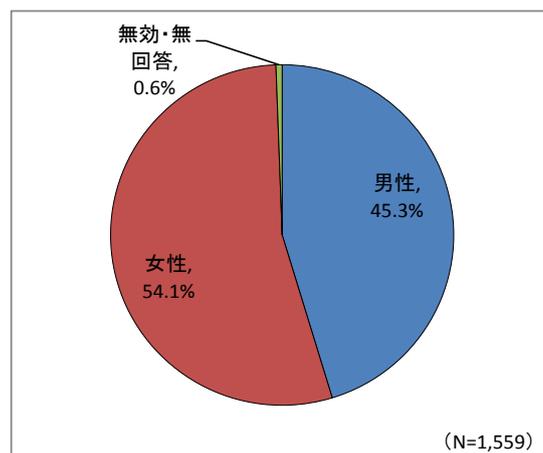
十日町市 住宅需要に関する市民意識調査 結果

□ 調査目的	アンケート調査を実施することで今後の中心市街地における住宅需要を把握するとともに、中心市街地への移住の際の条件を探り、今後の中心市街地活性化施策に反映することを目的とする。
□ 調査期間	2013年3月22日(金曜日)～2013年4月5日(金曜日)
□ 対象者	十日町市内に住む、20歳以上の人を無作為抽出
□ 配布・回収方法	郵送で配布・回収
□ 配布数	3,000 通
■ 回答数	1,559 通
■ 回収率	52.0 %

A. あなたご自身のことについて、おたずねします。

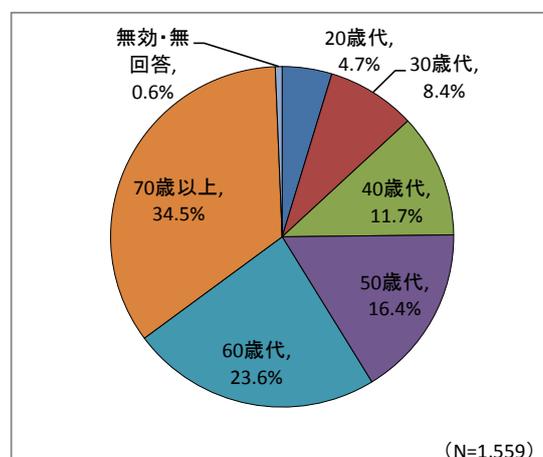
問1. あなたの性別についてお聞かせください。(1つに○)

	(件)	
1) 男性	706	(45.3%)
2) 女性	844	(54.1%)
3) 無効・無回答	9	(0.6%)
計	1,559	



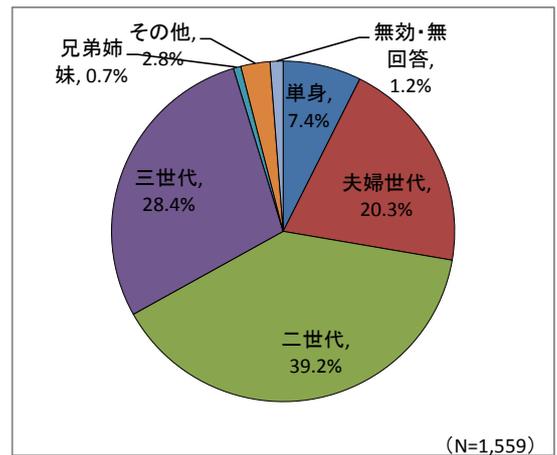
問2. あなたの年齢についてお聞かせください。(1つに○)

	(件)	
1) 20歳代	73	(4.7%)
2) 30歳代	131	(8.4%)
3) 40歳代	183	(11.7%)
4) 50歳代	256	(16.4%)
5) 60歳代	368	(23.6%)
6) 70歳以上	538	(34.5%)
7) 無効・無回答	10	(0.6%)
計	1,559	



問3. あなたの家族構成についてお聞かせください。(1つに〇)

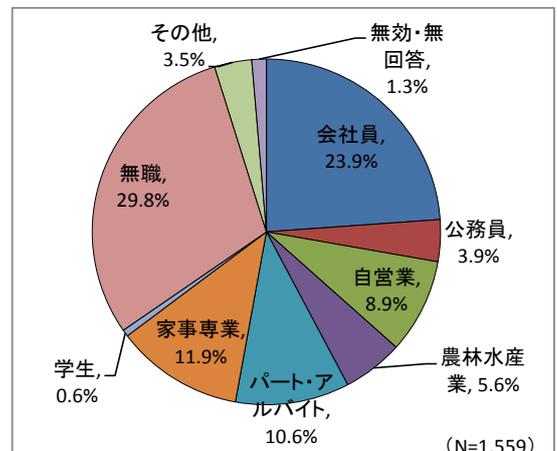
	(件)	
1) 単身(一人暮らし)	115	(7.4%)
2) 夫婦世代(夫婦のみ)	317	(20.3%)
3) 二世世代(親と子)	611	(39.2%)
4) 三世世代(親と子と孫)	443	(28.4%)
5) 兄弟姉妹	11	(0.7%)
6) その他	43	(2.8%)
7) 無効・無回答	19	(1.2%)
計	1,559	



(N=1,559)

問4. あなたの職業についてお聞かせください。(1つに〇)

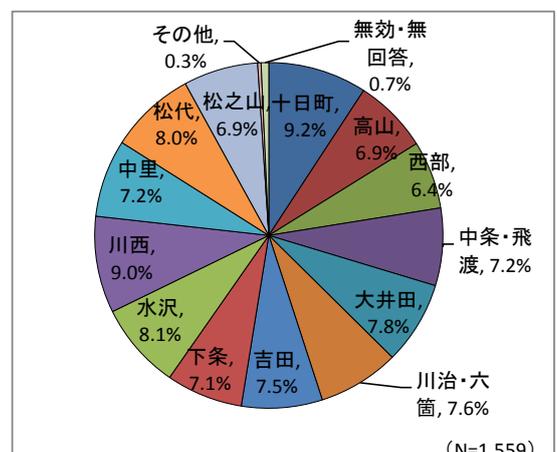
	(件)	
1) 会社員	372	(23.9%)
2) 公務員	61	(3.9%)
3) 自営業	138	(8.9%)
4) 農林水産業	88	(5.6%)
5) パート・アルバイト	165	(10.6%)
6) 家事専業	185	(11.9%)
7) 学生	10	(0.6%)
8) 無職	465	(29.8%)
9) その他	54	(3.5%)
10) 無効・無回答	21	(1.3%)
計	1,559	



(N=1,559)

問5. あなたのお住まいの地域についてお聞かせください。(1つに〇)

	(件)	
1) 十日町(十日町中学校区)	143	(9.2%)
2) 高山(西小学校区の南部)	108	(6.9%)
3) 西部(西小学校区の北部)	99	(6.4%)
4) 中条・飛渡	113	(7.2%)
5) 大井田	121	(7.8%)
6) 川治・六箇	118	(7.6%)
7) 吉田	117	(7.5%)
8) 下条	111	(7.1%)
9) 水沢	126	(8.1%)
10) 川西	141	(9.0%)
11) 中里	113	(7.2%)
12) 松代	125	(8.0%)
13) 松之山	108	(6.9%)
14) その他	5	(0.3%)
15) 無効・無回答	11	(0.7%)
計	1,559	



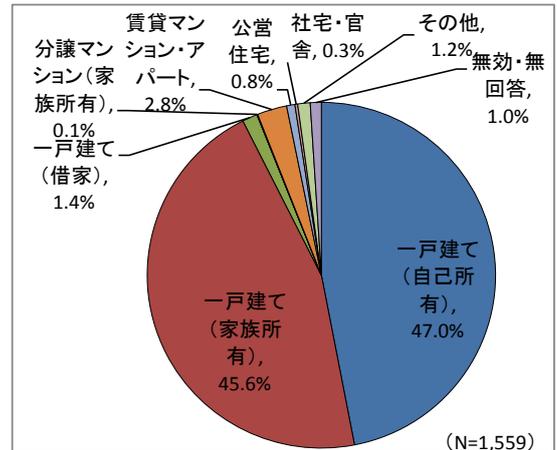
(N=1,559)

B. 現在のお住まいについて、おたずねします。

問6. 現在お住まいの住宅の種類は何ですか。（1つに〇）

現在の住まいは「一戸建て（自己所有）」に住んでいる人が最も多く（47.0%）、次いで「一戸建て（家族所有）」（45.6%）が多い。
自己所有と家族所有を合わせると、92.6%の人が持家の一戸建てに住んでいる。

	(件)	
1) 一戸建て(自己所有)	732	(47.0%)
2) 一戸建て(家族所有)	711	(45.6%)
3) 一戸建て(借家)	22	(1.4%)
4) 分譲マンション(自己所有)	0	(0.0%)
5) 分譲マンション(家族所有)	1	(0.1%)
6) 民間の賃貸マンション・アパート	43	(2.8%)
7) 公営住宅	12	(0.8%)
8) 社宅・官舎	4	(0.3%)
9) その他	18	(1.2%)
10) 無効・無回答	16	(1.0%)
計	1,559	

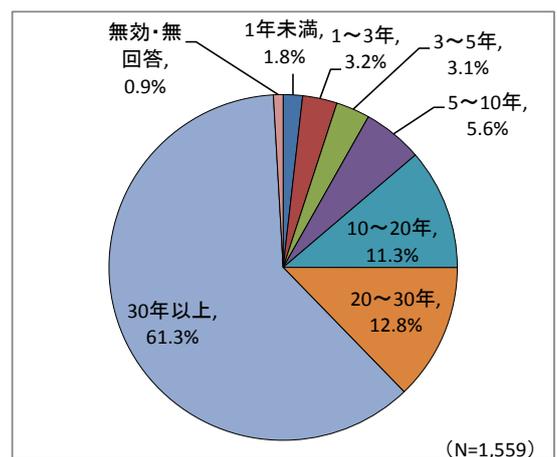


[その他の回答]
・グループホーム(3)
・老人ホーム(2)
・ケアハウス

問7. 現在お住まいの場所にどのくらい住んでいますか。（1つに〇）

「30年以上」現在の場所に住んでいる人が最も多く（61.3%）、次いで「20～30年」（12.8%）、「10～20年」（11.3%）が多い。

	(件)	
1) 1年未満	28	(1.8%)
2) 1～3年	50	(3.2%)
3) 3～5年	49	(3.1%)
4) 5～10年	87	(5.6%)
5) 10～20年	176	(11.3%)
6) 20～30年	199	(12.8%)
7) 30年以上	956	(61.3%)
8) 無効・無回答	14	(0.9%)
計	1,559	

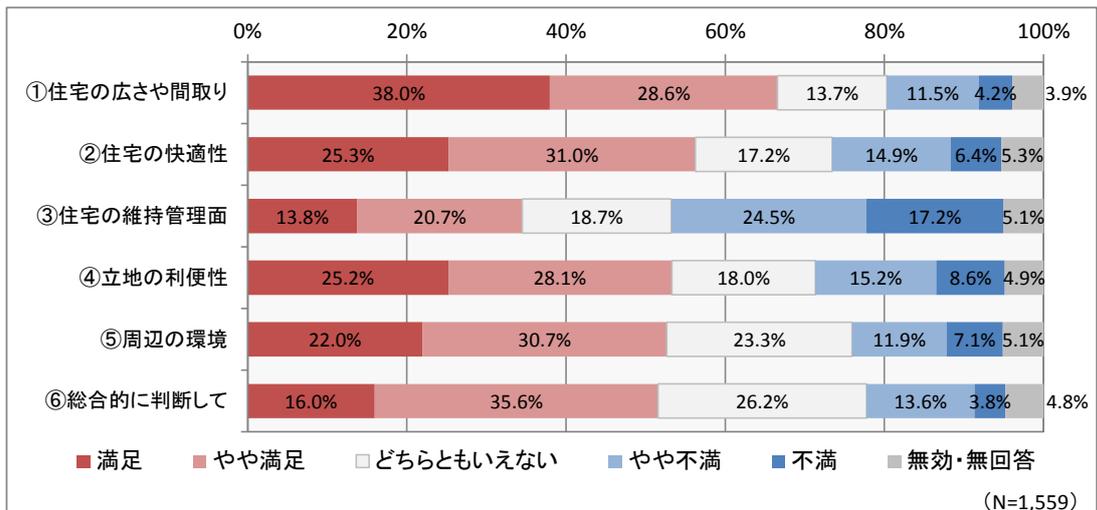


問8. 現在お住まいの住宅や周辺の環境の満足度についてお聞きします。あてはまる番号に○を付けてください（それぞれ1つに○）

住宅や周辺環境の満足度は、「住宅の広さや間取り」についての満足度が最も高く、「満足」と「やや満足」を合わせると66.6%である。一方で、「住宅の維持管理面」については満足度が最も低く、「不満」と「やや不満」を合わせると41.7%である。
 「総合的に判断して」については、「満足」と「やや満足」を合わせると51.6%であり、「不満」と「やや不満」を合わせると17.4%である。

■全体

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無効・ 無回答	計
①住宅の広さや間取り	592	446	214	180	66	61	1,559
②住宅の快適性	394	483	268	232	99	83	1,559
③住宅の維持管理面	215	323	292	382	268	79	1,559
④立地の利便性	393	438	281	237	134	76	1,559
⑤周辺の環境	343	478	363	185	110	80	1,559
⑥総合的に判断して	249	555	408	212	60	75	1,559

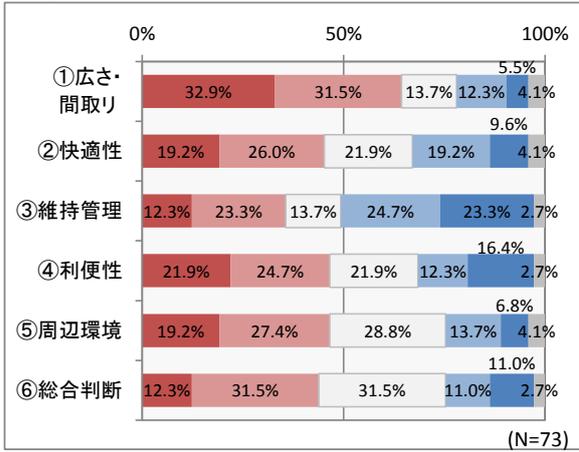


■年代別

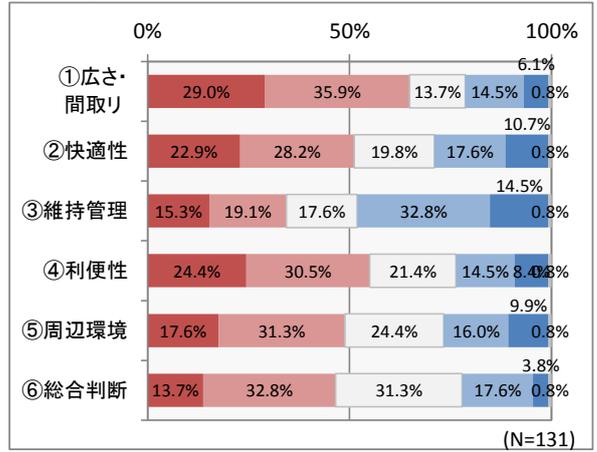
年代別では、「60歳代」、「70歳以上」の満足度が若い年代に比べると相対的に高く、「③維持管理」を除くすべての項目で50.0%を超えている。また、「40歳代」では満足度が全体的に低い傾向にある。なお、すべての年代で「①広さ・間取り」の満足度が最も高く、「③維持管理」の満足度が最も低い。

■満足 ■やや満足 □どちらともいえない ■やや不満 ■不満 ■無効・無回答

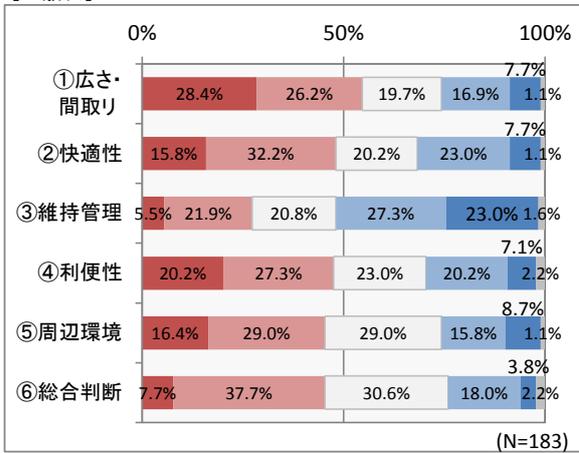
[20歳代]



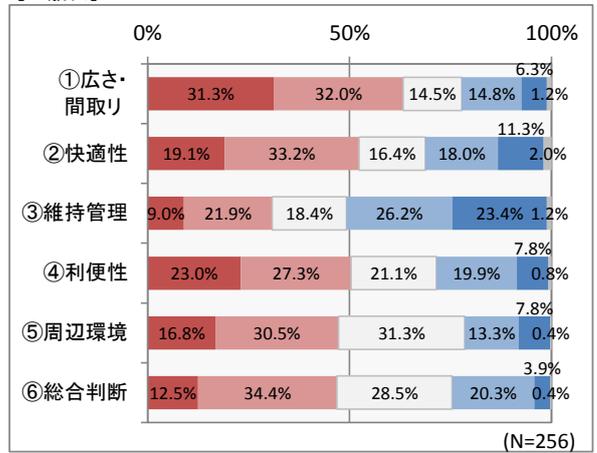
[30歳代]



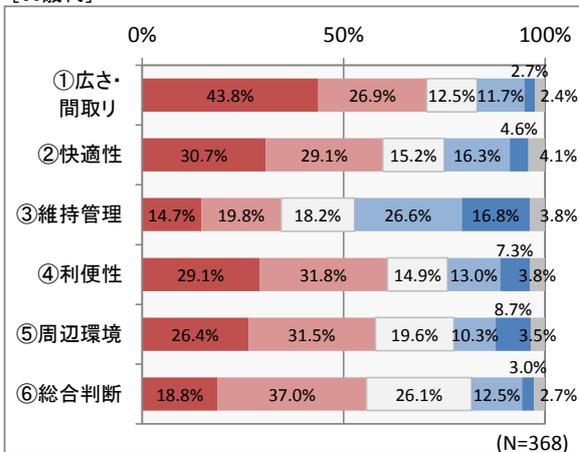
[40歳代]



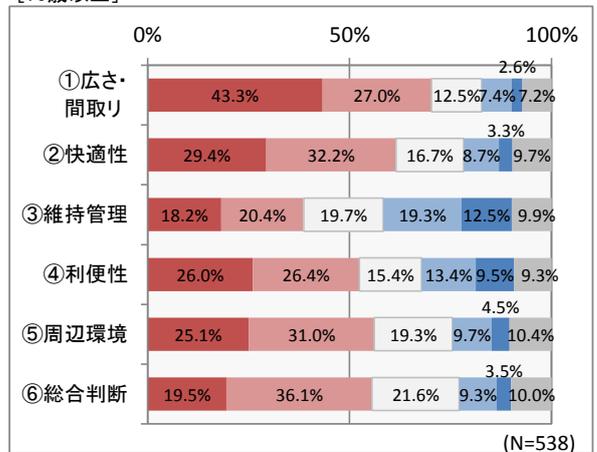
[50歳代]



[60歳代]



[70歳以上]

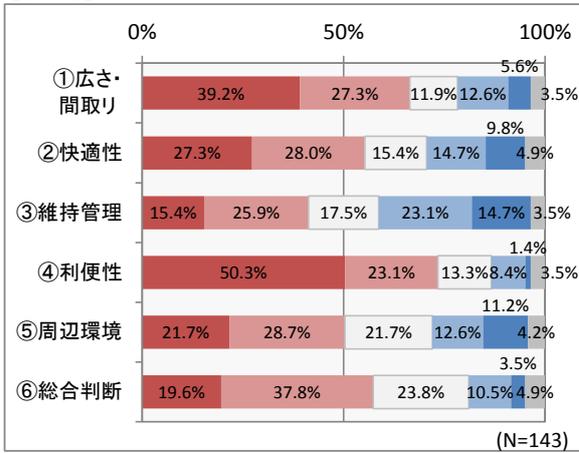


■居住地別

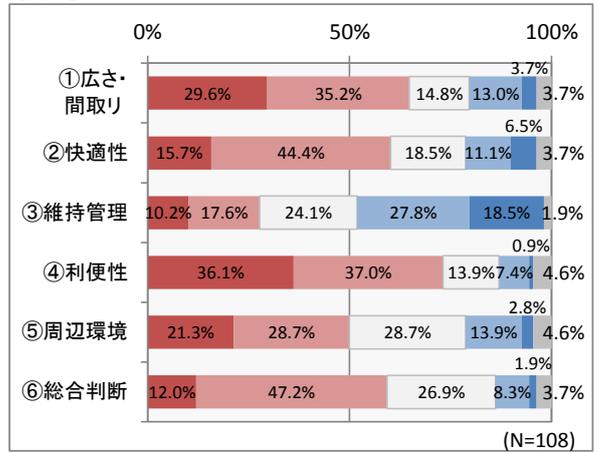
居住地別では、「十日町」、「高山」、「西部」、「大井田」、「松代」の満足度が全体的に高く、「③維持管理」を除くすべての項目で50.0%を超えている。また、「中条・飛渡」、「下条」では満足度が全体的に低い。
各地域の満足が高い項目と低い項目を比較すると、「十日町」、「高山」、「西部」では「④利便性」の満足度が最も高く、その他の地域では「①広さ・間取り」の満足度が最も高い。また、「松之山」では「④利便性」の満足度が最も低く、それ以外のすべての地域で「③維持管理」の満足度が最も低い。

■ 満足 ■ やや満足 ■ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無効・無回答

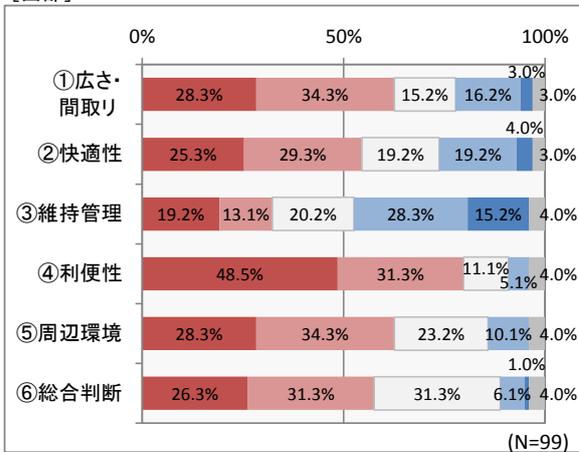
[十日町]



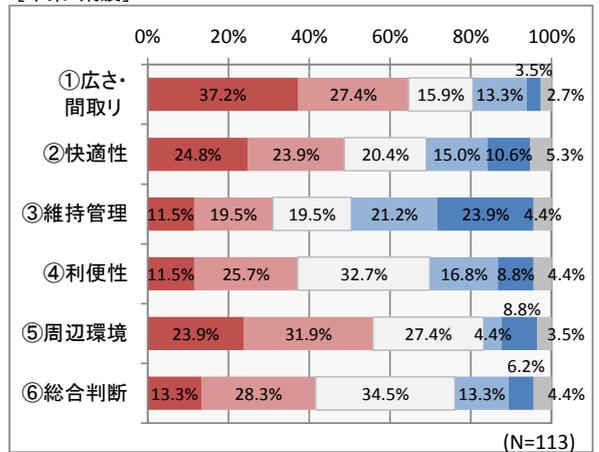
[高山]



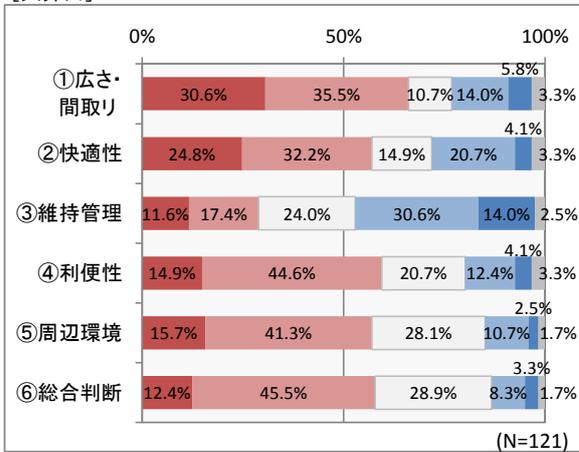
[西部]



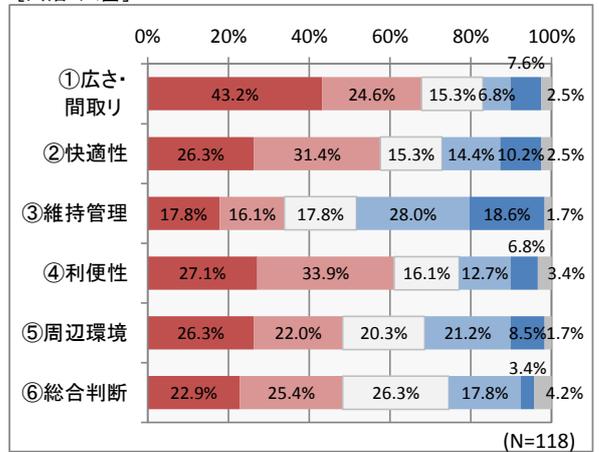
[中条・飛渡]



[大井田]

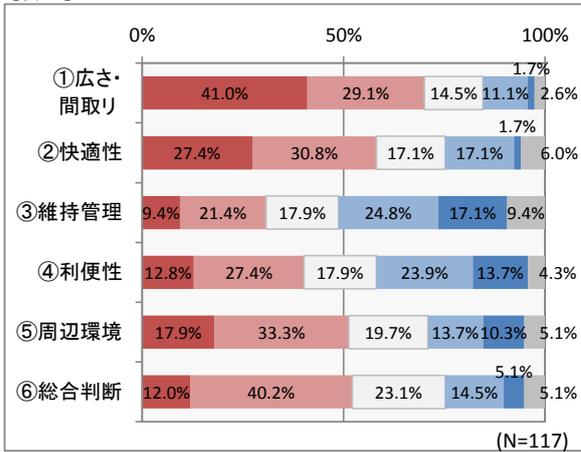


[川治・六箇]

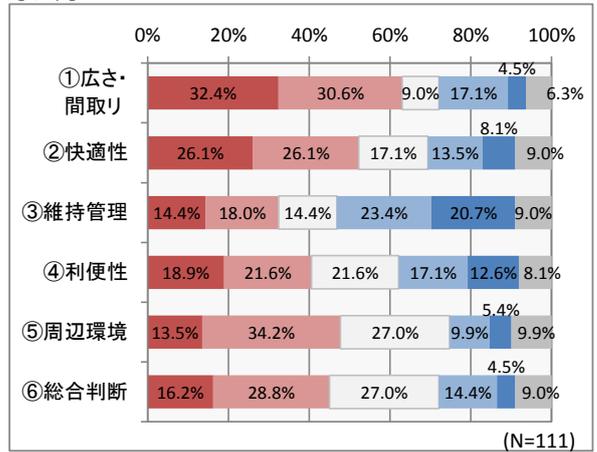


■ 満足 ■ やや満足 □ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満 ■ 無効・無回答

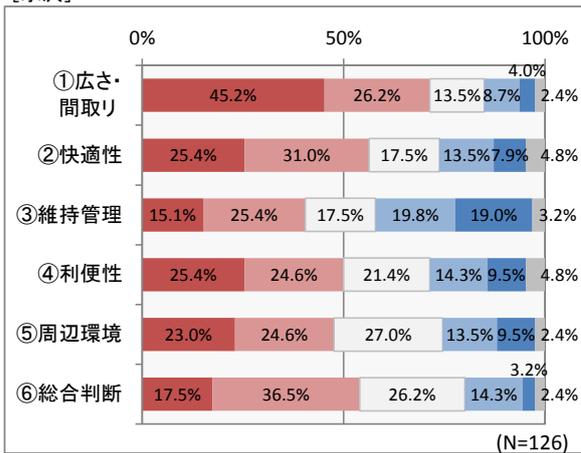
[吉田]



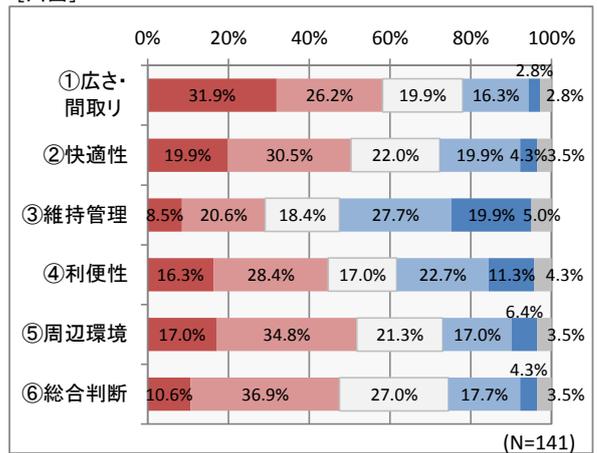
[下条]



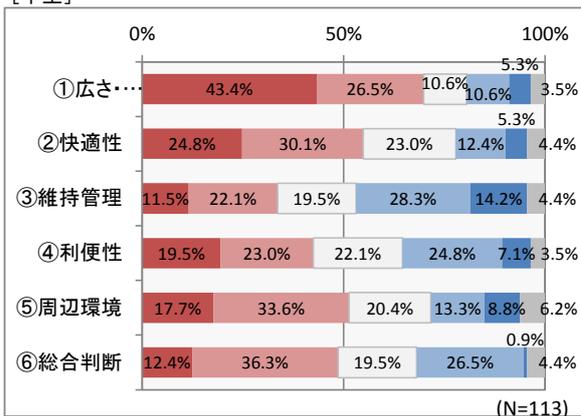
[水沢]



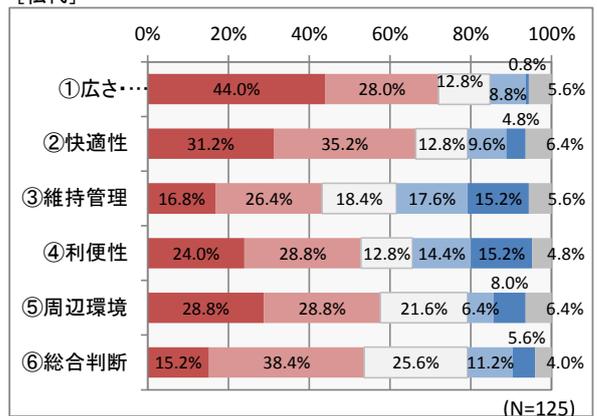
[川西]



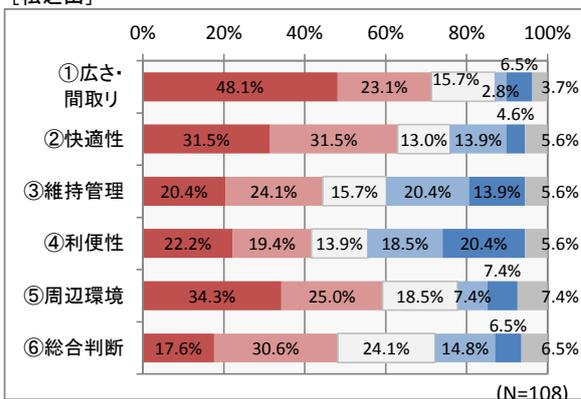
[中里]



[松代]



[松之山]



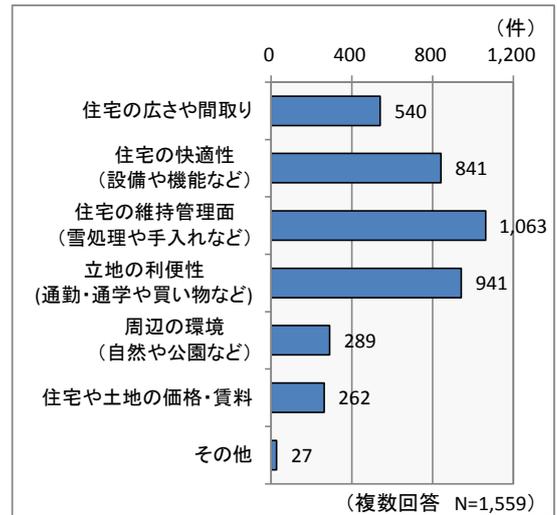
問9. 住まい選びの際に重視することは何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(3つまで)

住まい選びの際には「住宅の維持管理面」を重視する人が最も多く(1,063件)、次いで「立地の利便性」(941件)、「住宅の快適性」(841件)が多い。

	(件)	(%)
1) 住宅の広さや間取り	540	(34.6%)
2) 住宅の快適性〔設備や機能など〕	841	(53.9%)
3) 住宅の維持管理面〔雪処理や手入れなど〕	1,063	(68.2%)
4) 立地の利便性〔通勤・通学や買い物など〕	941	(60.4%)
5) 周辺の環境〔自然や公園など〕	289	(18.5%)
6) 住宅や土地の価格・賃料	262	(16.8%)
7) その他	27	(1.7%)
8) 無効・無回答	66	(4.2%)
計	4,029	

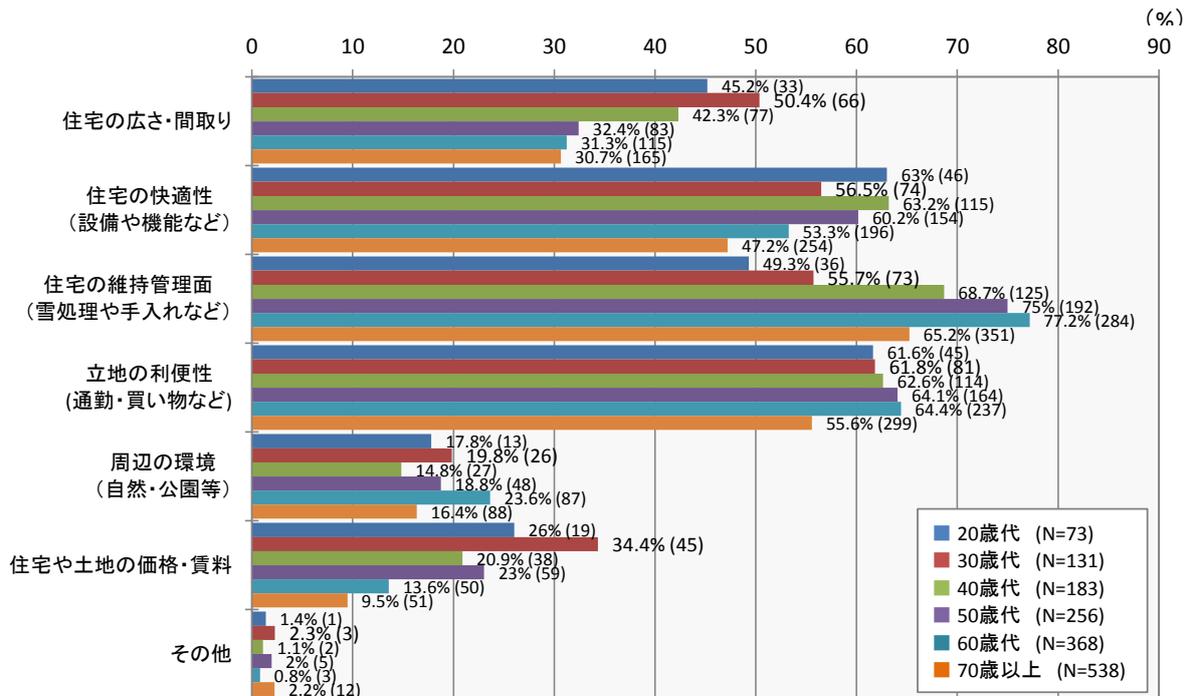
[その他の回答]

- ・近所住民・人間関係(5)
- ・耐震性住宅
- ・明るさ
- ・運動に使える場所が近いこと
- ・ランニングコスト(税、冷暖房、燃料費、電気代等)
- ・すべてを総合的に判断
- ・田圃までの距離
- など



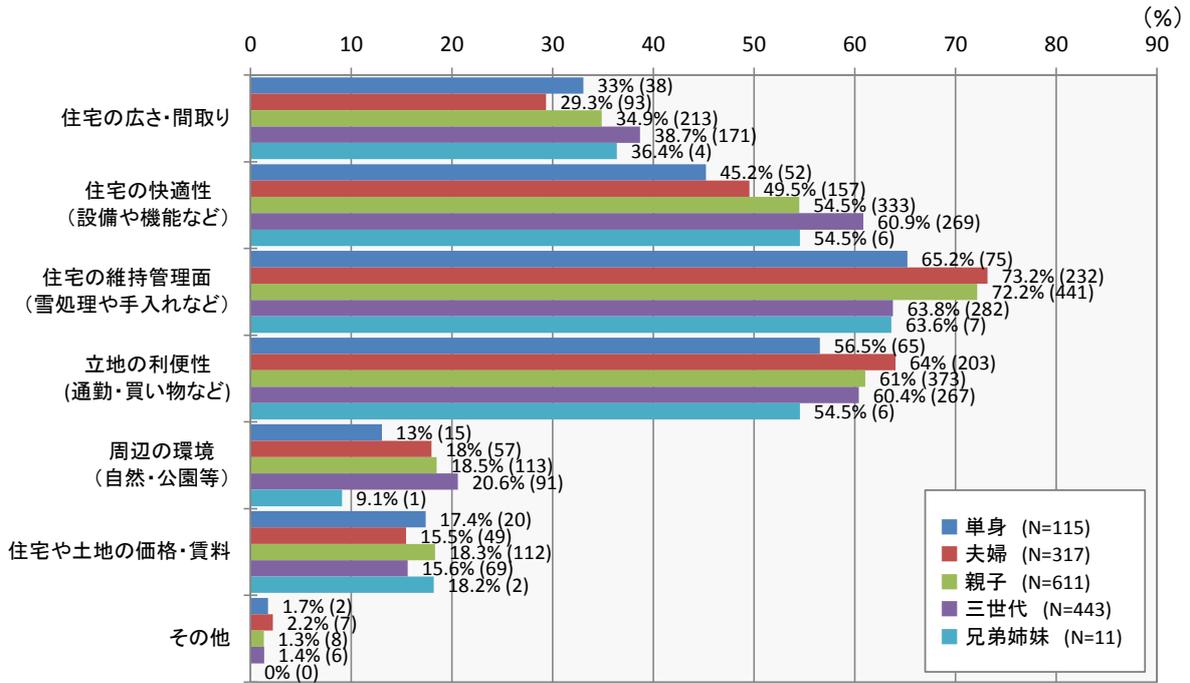
■年代別

年代別で見ると、「20歳代」では「住宅の快適性」を、「30歳代」では「立地の利便性」を、その他の年代では「住宅の維持管理面」を重視する人が最も多い。また、若い年代ほど「住宅の広さ・間取り」、「住宅の快適性」、「住宅や土地の価格・賃料」を重視する割合が高い。



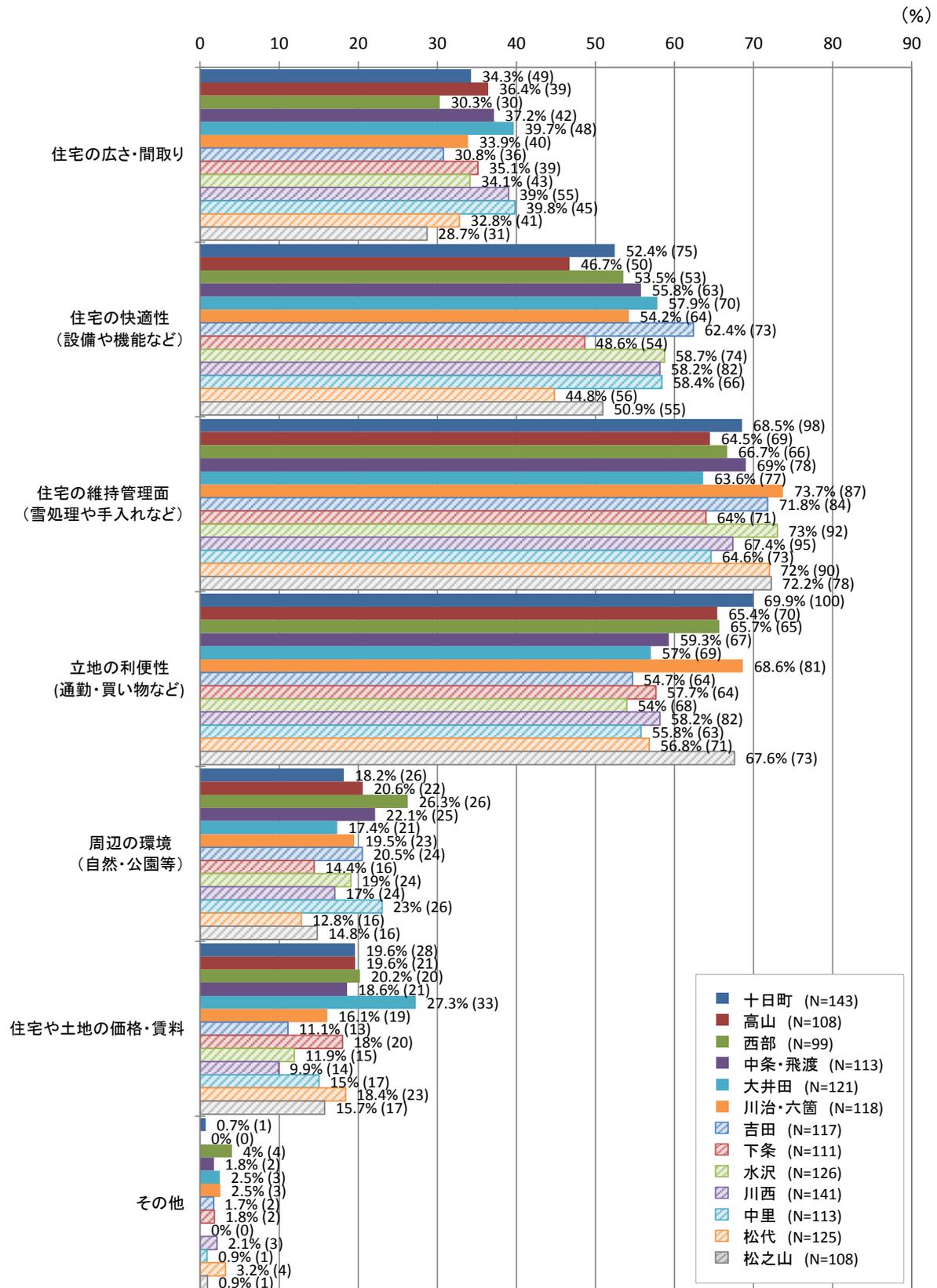
■家族構成別

家族構成別では、すべての家族構成で「住宅の維持管理面」を重視する人が最も多い。



■居住地別

居住地別で見ると、「十日町」、「高山」では「立地の利便性」を重視する人が最も多く、それ以外の地域では「住宅の維持管理面」を重視する人が多い。

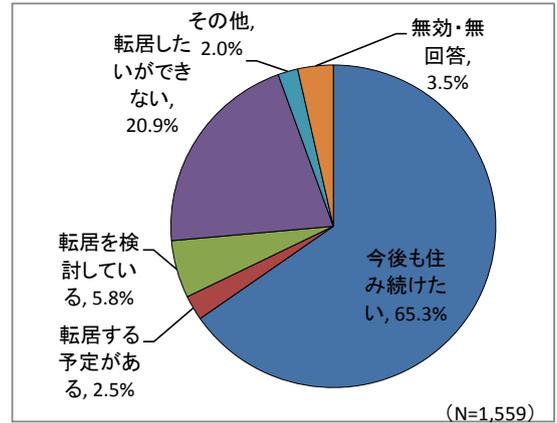


C. 今後の居住や住み替えの意向について、おたずねします。

問10. 今後も今の場所に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

今後の住み替え意向については、今の場所に「今後も住み続けたい」人が最も多い(65.3%)。また、今後「転居する予定がある」又は「転居を検討している(検討したい)」人を合わせると8.3%である。

	(件)	
1) 今後も住み続けたい	1,018	(65.3%)
2) 転居する予定がある	39	(2.5%)
3) 転居を検討している(検討したい)	90	(5.8%)
4) 転居したいができない	326	(20.9%)
5) その他	31	(2.0%)
6) 無効・無回答	55	(3.5%)
計	1,559	



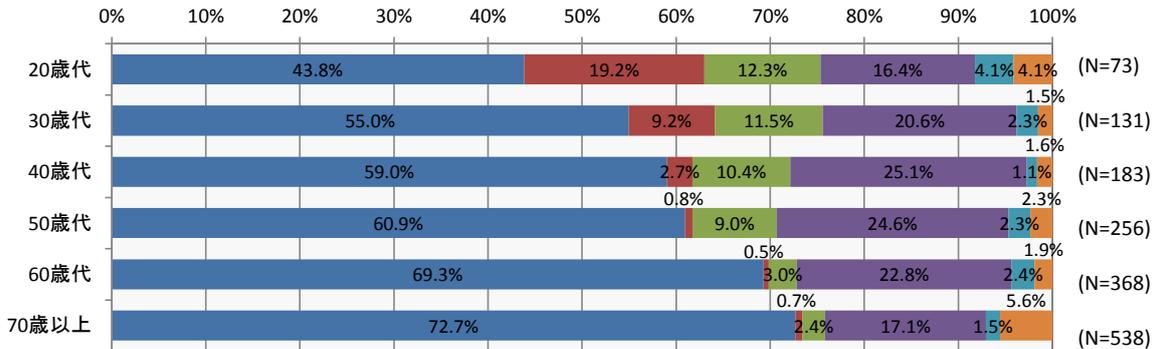
[その他の回答]

- ・結婚を機に転居したい
- ・退職後転居したい
- ・年を取ってからの雪処理などで不安があり、住み続けられるか疑問
- ・考え中(2)
- ・わからない(2) など

■年代別

年代別で見ると、若い年代ほど「転居する予定がある」人や「転居を検討している」人が多く、「20歳代」では31.5%、「30歳代」では20.7%である。

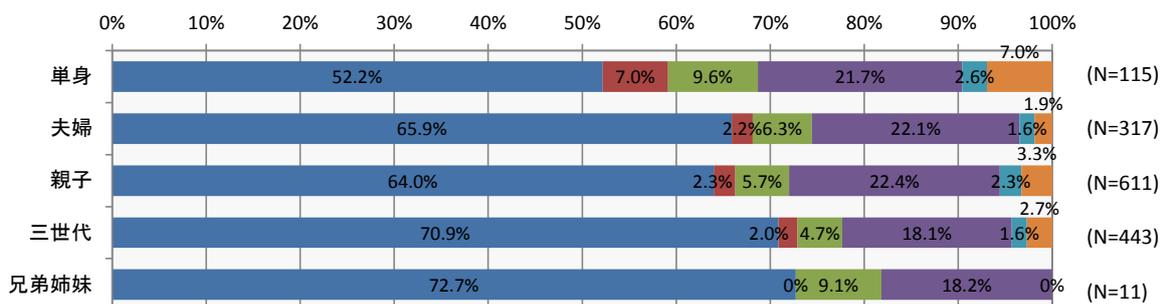
■ 今後も住み続けたい ■ 転居する予定がある ■ 転居を検討している ■ 転居したいができない ■ その他 ■ 無効・無回答



■家族構成別

家族構成別では、「単身」世帯で「転居する予定がある」人や「転居を検討している」人の比較的多い(16.6%)。

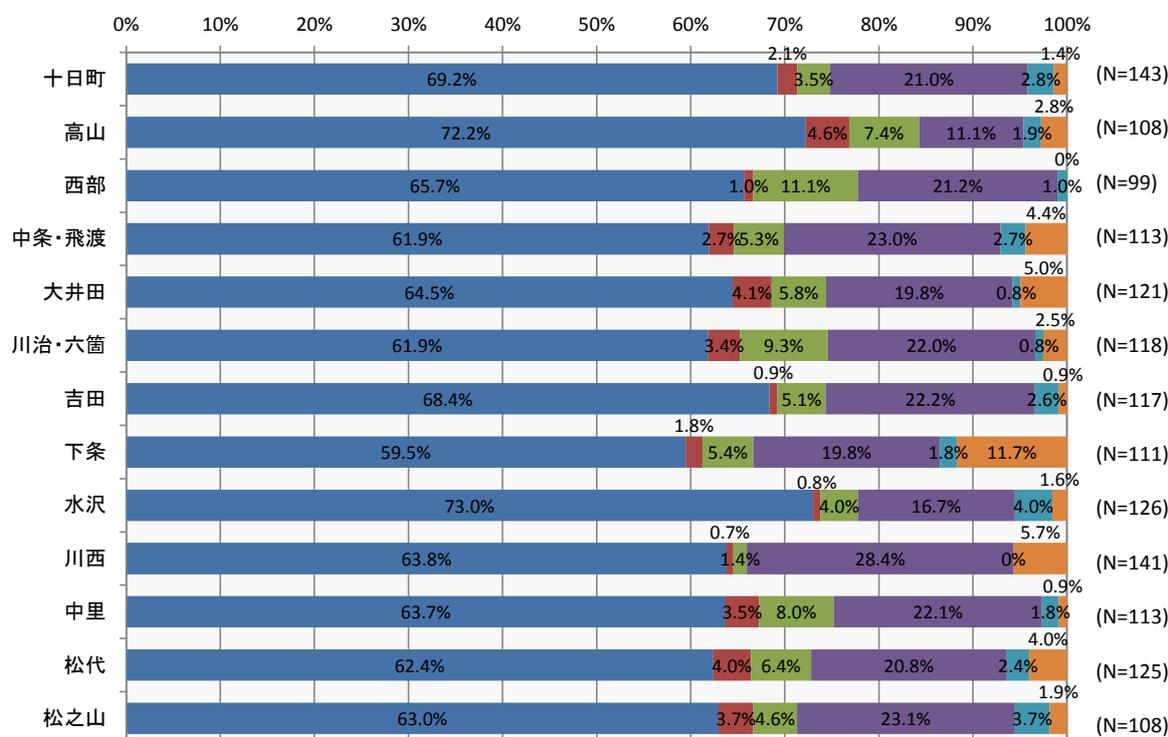
■ 今後も住み続けたい ■ 転居する予定がある ■ 転居を検討している ■ 転居したいができない ■ その他 ■ 無効・無回答



■居住地別

居住地別で見ると、「転居する予定がある」人や「転居を検討している」人は「高山」、「西部」、「川治・六箇」で比較的多い。また、「高山」、「水沢」では「今後も住み続けたい」人の割合が70%を超えている。

■ 今後も住み続けたい ■ 転居する予定がある ■ 転居を検討している ■ 転居したいができない ■ その他 ■ 無効・無回答

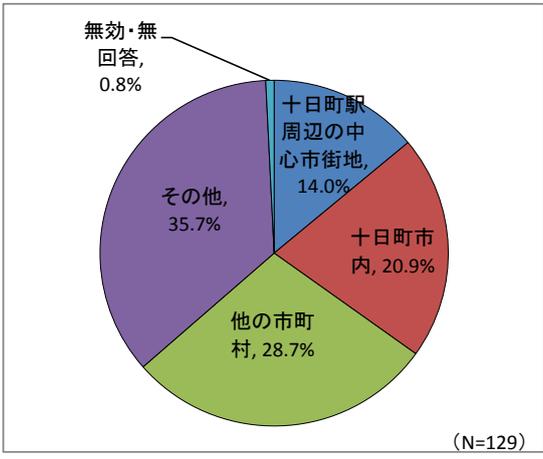


問10で「転居する予定がある」「転居を検討している」とお答えになった方にお聞きます。

問10-1. 転居を検討している場所はどこですか。(1つに〇)

転居を検討している場所は、新潟市や長岡市等の「他の市町村」が最も多く(28.7%)、次いで「十日町市内」(20.9%)が多い。「その他」の意見では、「県外」や「雪の無いところ」などの回答が多い。

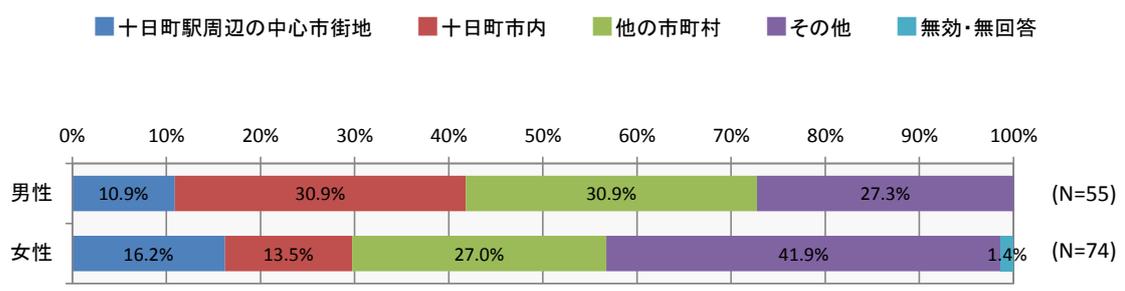
	(件)	
1) 十日町駅周辺の中心市街地	18	(14.0%)
2) 十日町市内	27	(20.9%)
3) 他の市町村	37	(28.7%)
4) その他	46	(35.7%)
5) 無効・無回答	1	(0.8%)
計	129	



- 具体的な地域について
- | [十日町市内] | [他の市町村] | [その他の回答] |
|-------------|-------------|--------------|
| ・十日町 | ・新潟市(9) | ・県外(17) |
| ・高山地域(3) | ・長岡市(6) | ・海外 |
| ・西部地域(2) | ・上越市(7) | ・仕事の都合(2) |
| ・中条地区(3) | ・柏崎市(2) | ・子供のところ(2) |
| ・川治地域 | ・三条市 | ・雪の無いところ(14) |
| ・吉田地域(2) | ・燕市(2) | ・未定(4) など |
| ・下条地区 | ・見附市 | |
| ・川西地域 | ・弥彦村 | |
| ・松代(2) | ・県外 | |
| ・中心市街地周辺 | ・雪のない市町村(3) | |
| ・本町 | など | |
| ・太田島地域 | | |
| ・塚原 | | |
| ・土市 | | |
| ・雪の降らない所 など | | |

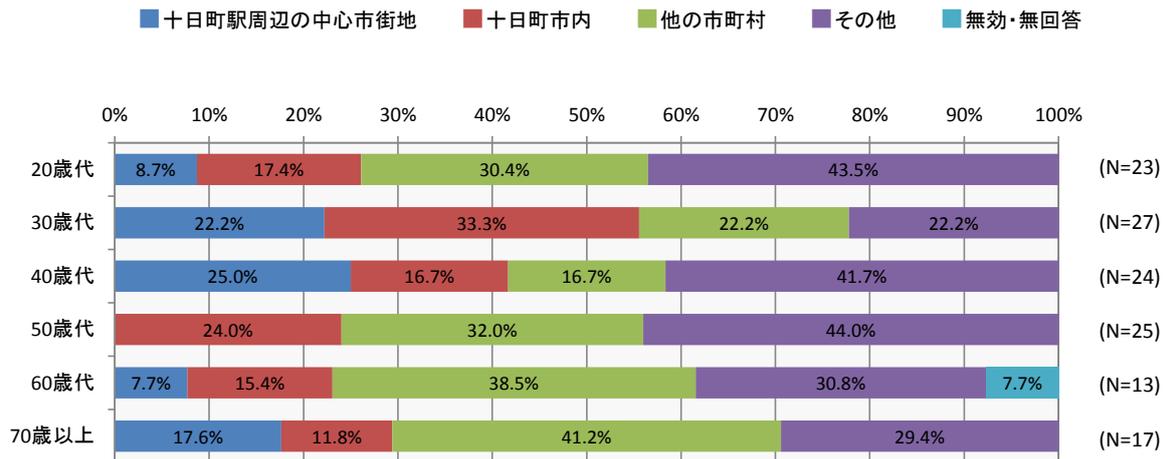
■性別

性別で見ると、「女性」の方が「十日町駅周辺の中心市街地」を検討している人が多い(16.2%)。



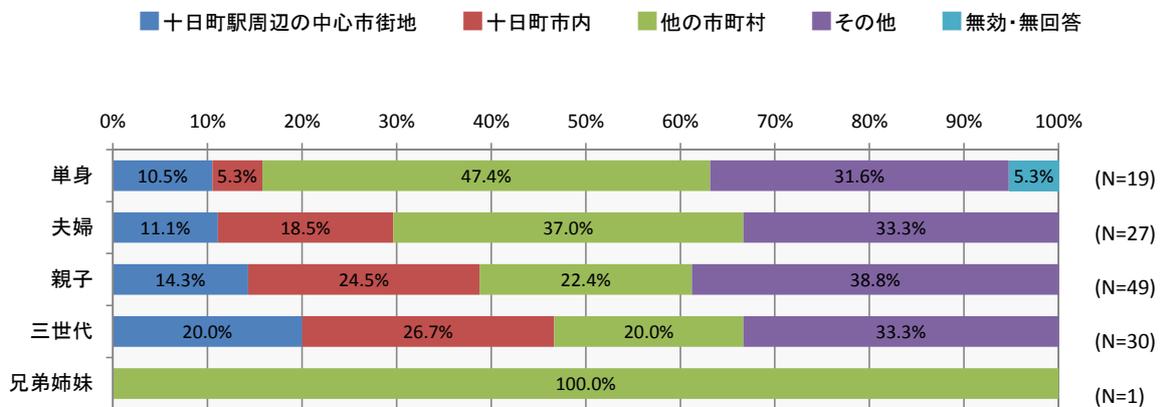
■年代別

年代別では、「30歳代」、「40歳代」、「70歳以上」で「十日町駅周辺の中心市街地」を検討している人が多い。



■家族構成別

家族構成別では、家族構成が増えるほど「十日町駅周辺の中心市街地」を検討している人が多い傾向にあり、「三世代」世帯では20.0%である。



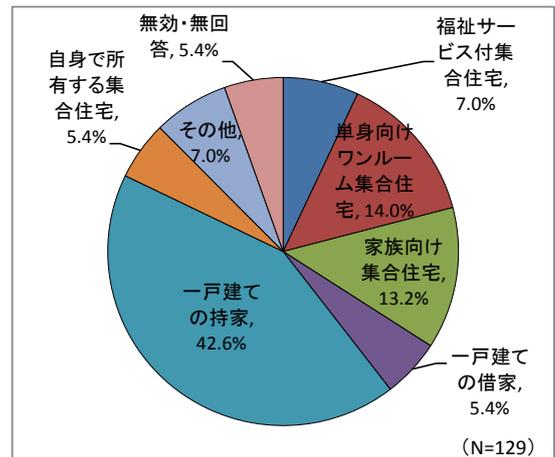
問10-2. 転居先はどのような住宅をお考えですか。(1つに〇)

転居先の住宅は、「一戸建ての持家」を考えている人が最も多く(42.6%)、次いで「単身向けワンルーム集合住宅」(14.0%)、「家族向け集合住宅」(13.2%)が多い。「高齢者向けの福祉サービス付集合住宅」を考えている人は7.0%である。

	(件)	
1) 高齢者向けの福祉サービス付集合住宅[賃貸]	9	(7.0%)
2) 単身向けワンルーム集合住宅 [賃貸アパート、賃貸マンション]	18	(14.0%)
3) 家族向け集合住宅 [賃貸アパート、賃貸マンション]	17	(13.2%)
4) 一戸建ての借家	7	(5.4%)
5) 一戸建ての持家	55	(42.6%)
6) 自身で所有する集合住宅 [分譲マンション]	7	(5.4%)
7) その他	9	(7.0%)
8) 無効・無回答	7	(5.4%)
計	129	

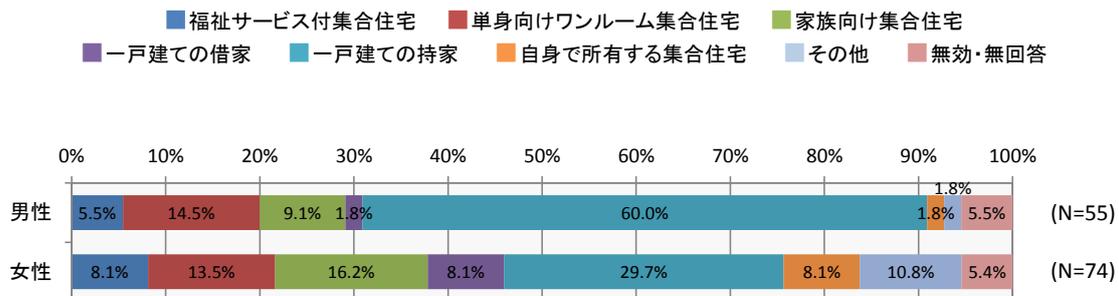
[その他の回答]

- ・子供の家
- ・社宅
- ・考え中
- ・未定 など



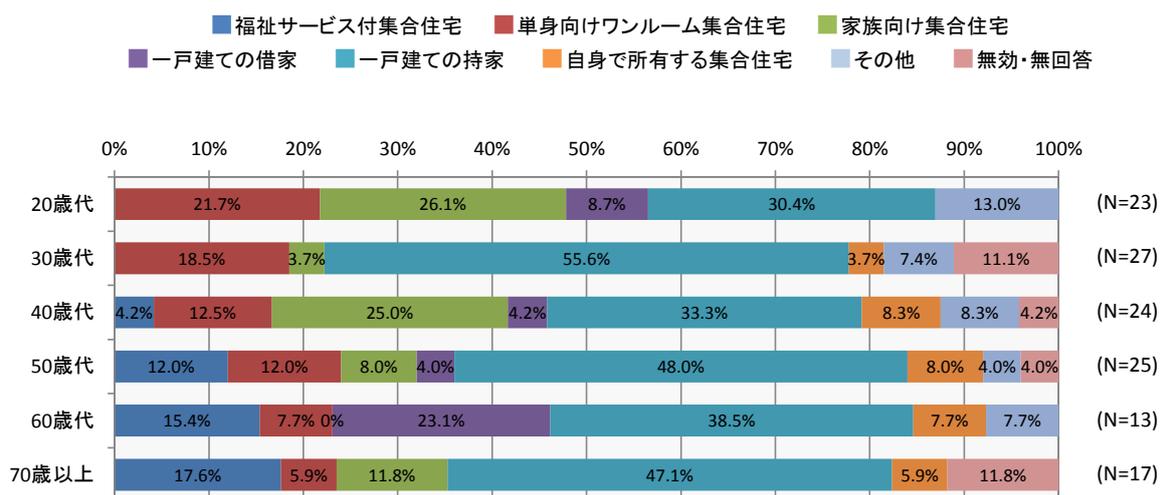
■性別

性別で見ると、「男性」では「一戸建ての持家」を考えている人が特に多く(60.0%)、女性では「家族向け集合住宅」(16.2%)や「一戸建ての借家」(8.1%)、「自身で所有する集合住宅」(8.1%)を考えている人が比較的多い。



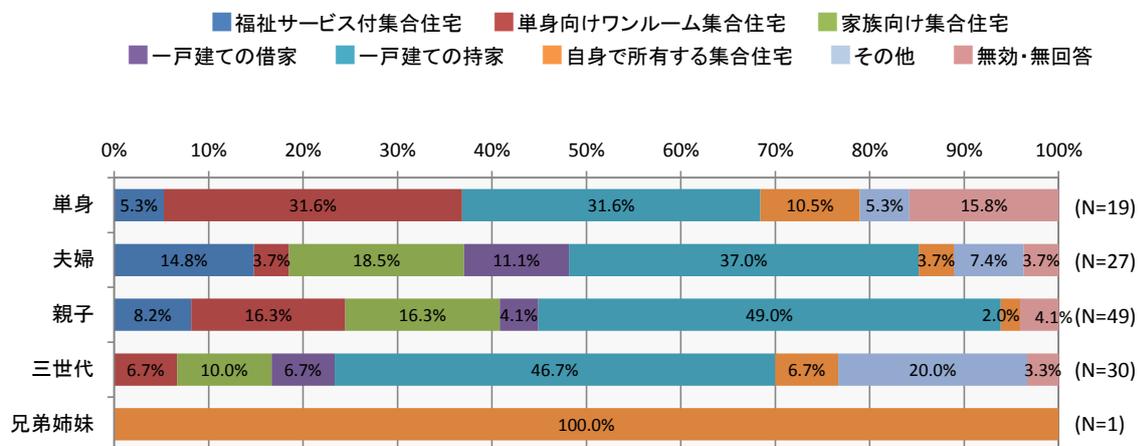
■年代別

年代別では、若い年代ほど「単身向けワンルーム集合住宅」を考えている人が多く、年代が上がるにつれて「福祉サービス付集合住宅」を考えている人が増え、「70歳以上」では17.6%となっている。
また、「30歳代」では「一戸建ての持家」を考えている人が特に多い（55.6%）。



■家族構成別

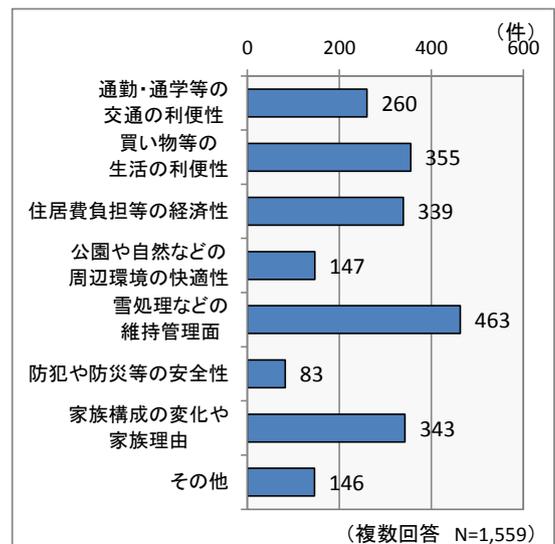
家族構成別では、「夫婦」世帯で「福祉サービス付集合住宅」を考えている人が比較的多い（14.8%）。
また、「親子」世帯や「三世代」世帯では「一戸建ての持家」を考えている人が特に多い（49.0%、46.7%）。



問11. 問10でお答えになった理由は何ですか。(2つまで〇)

今後の住み替え意向に対しての理由としては、「雪処理などの維持管理面」をあげる人が最も多く(463件)、次いで「買い物等の生活の利便性」(355件)、「家族構成の変化や家族理由」(343件)が多い。「その他」の意見では、「住み慣れた場所だから」や「地域とのかかわりが良い」などの回答が多い。

	(件)	(%)
1) 通勤・通学等の交通の利便性	260	(16.7%)
2) 買い物等の生活の利便性	355	(22.8%)
3) 住居費負担等の経済性	339	(21.7%)
4) 公園や自然などの周辺環境の快適性	147	(9.4%)
5) 雪処理などの維持管理面	463	(29.7%)
6) 防犯や防災等の安全性	83	(5.3%)
7) 家族構成の変化や家族理由	343	(22.0%)
8) その他	146	(9.4%)
9) 無効・無回答	261	(16.7%)
計	2,397	



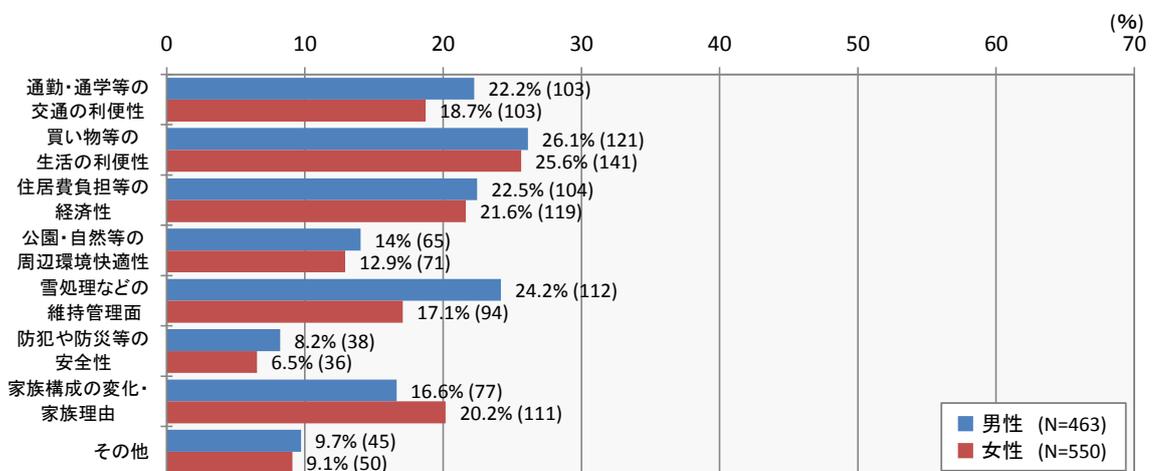
[その他の回答]

- ・住み慣れた、生まれ育った、長年住んでいる場所だから(38)
- ・近所・人などの周辺環境、地域とのかかわり・つながりが良い(14)
- ・高齢のため、年齢的に、先行きを考えて(11)
- ・会社・自営業・農業等の仕事の都合(10)
- ・自己所有の土地・家・耕作地があるから(8)
- ・先祖から受け継いでいる土地・家だから(8)
- ・住みやすい、満足している、不便・不自由を感じない(6)
- ・雪・寒さ・日照時間等の気候のため(5)
- ・いなかの煩わしさ、しがらみ(3)
- ・特に転居する理由がない(3)
- ・ペット(2)
- ・自動車使用上の利便性、道路がせまい、駐車場がない
- ・地盤が悪く地震がこわいのでよそに行きたい など

問10で「今後も今の場所に住み続けたい」とお答えになった方

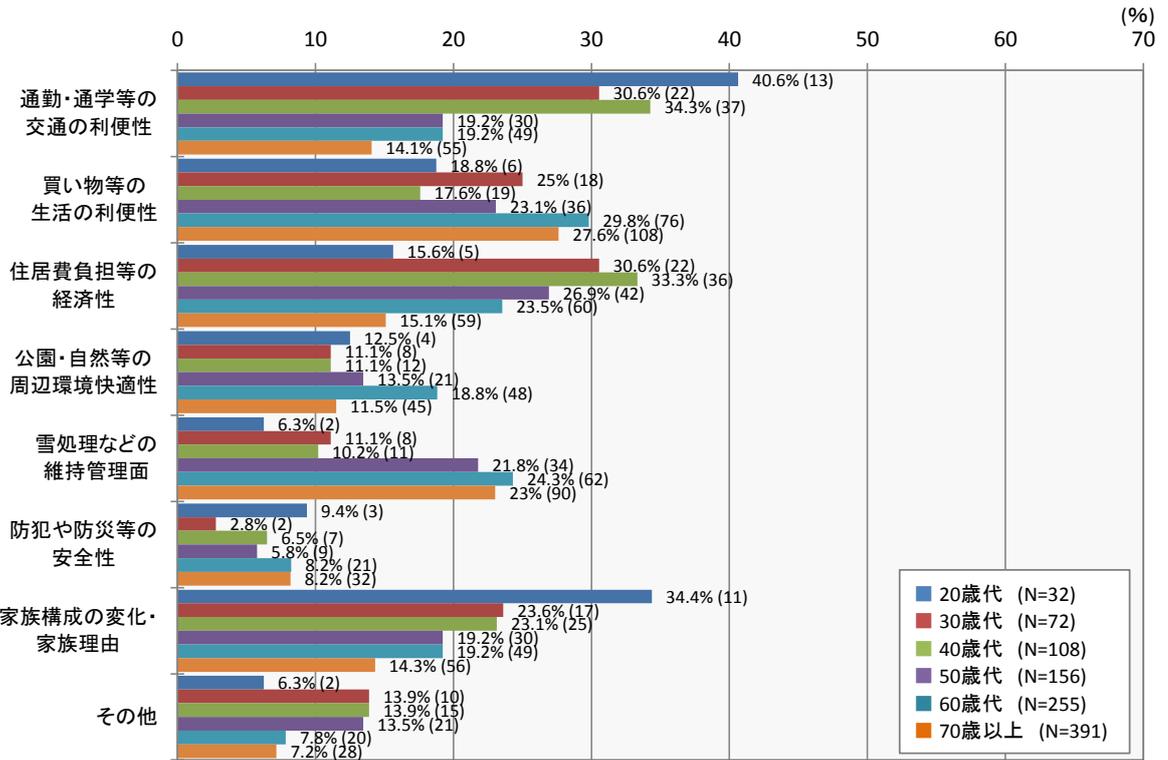
□性別

「今後も今の場所に住み続けたい」理由としては、「男性」、「女性」とともに「買い物等の生活の利便性」をあげる人が最も多い(26.1%、25.6%)。また、「男性」では「雪処理などの維持管理面」をあげる人が相対的に多い(24.2%)。



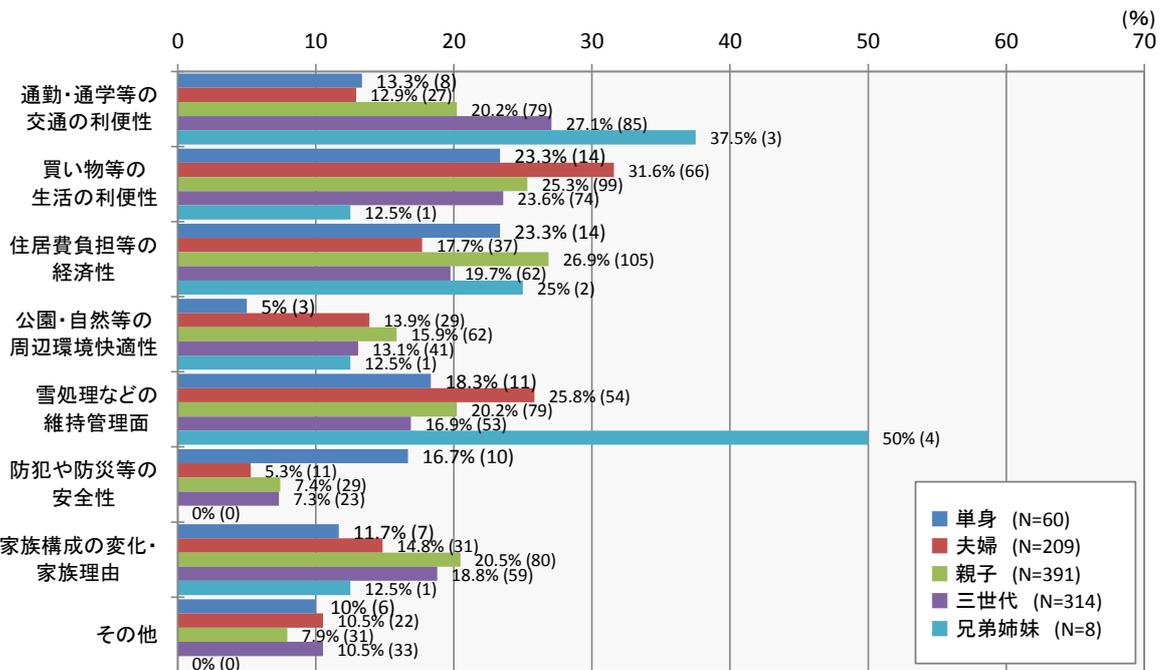
□年代別

年代別で見ると、「20歳代」では「通勤・通学等の交通の利便性」や「家族構成の変化・家族理由」をあげる人が特に多く、「30歳代」、「40歳代」では「通勤・通学等の交通の利便性」や「住居費負担等の経済性」をあげる人が特に多い。



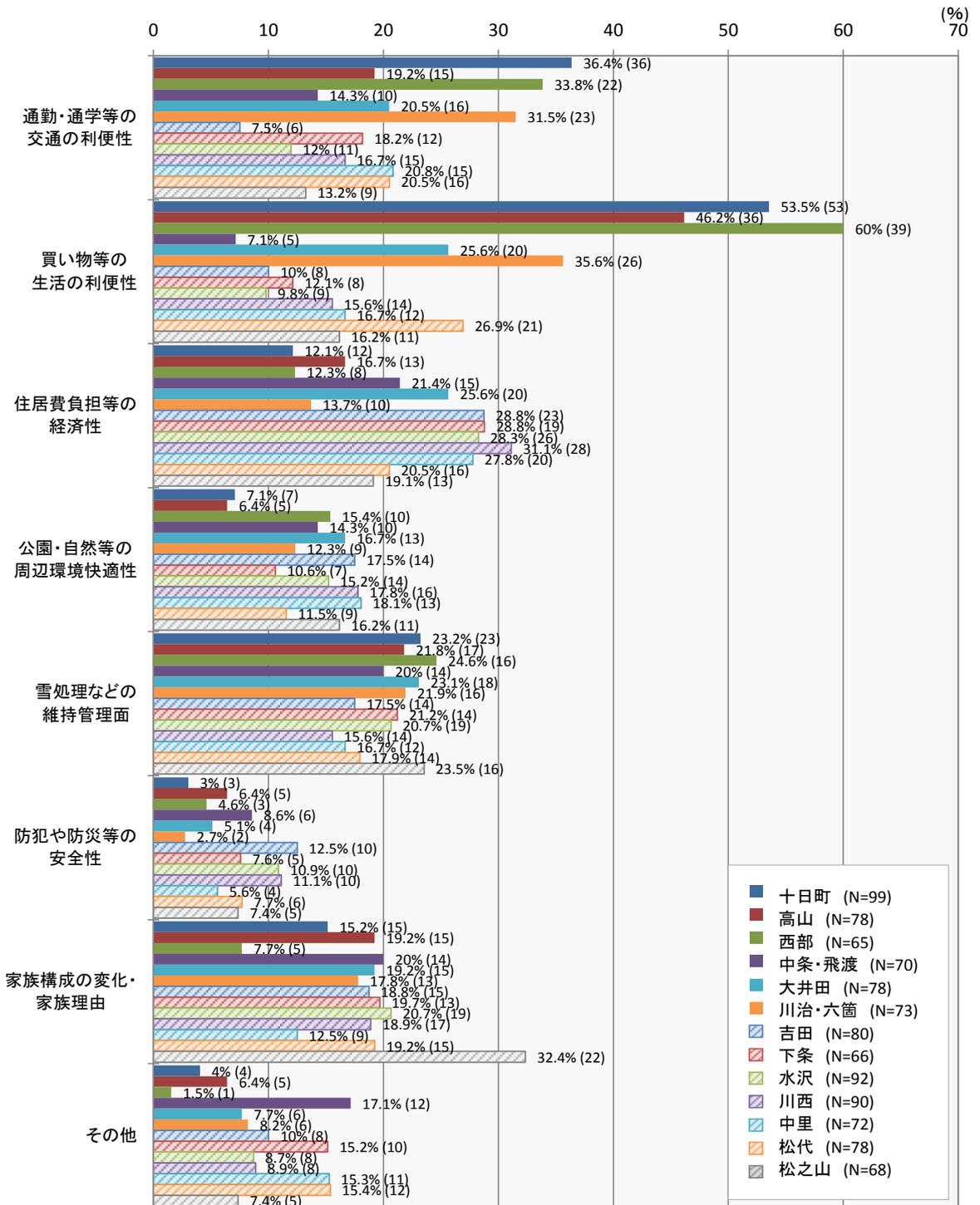
□家族構成別

家族構成別で見ると、「夫婦」世帯で「買い物等の生活の利便性」をあげる人が特に多い（31.6%）。



□居住地別

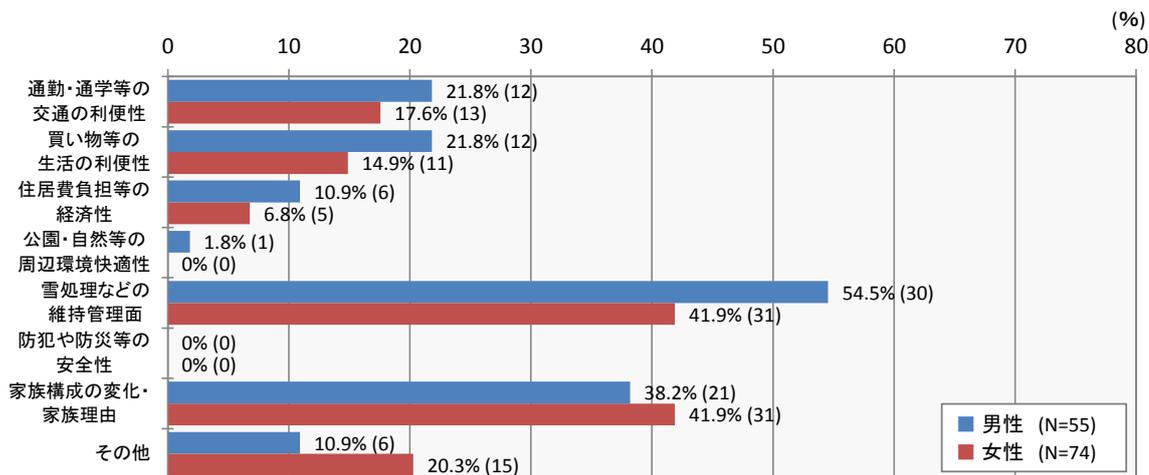
居住地別で見ると、「十日町」、「高山」、「西部」で「買い物等の生活の利便性」をあげる人が特に多い(53.5%、46.2%、60%)。



■問10で「転居する予定がある」、「転居を検討してる（検討したい）」とお答えになった方

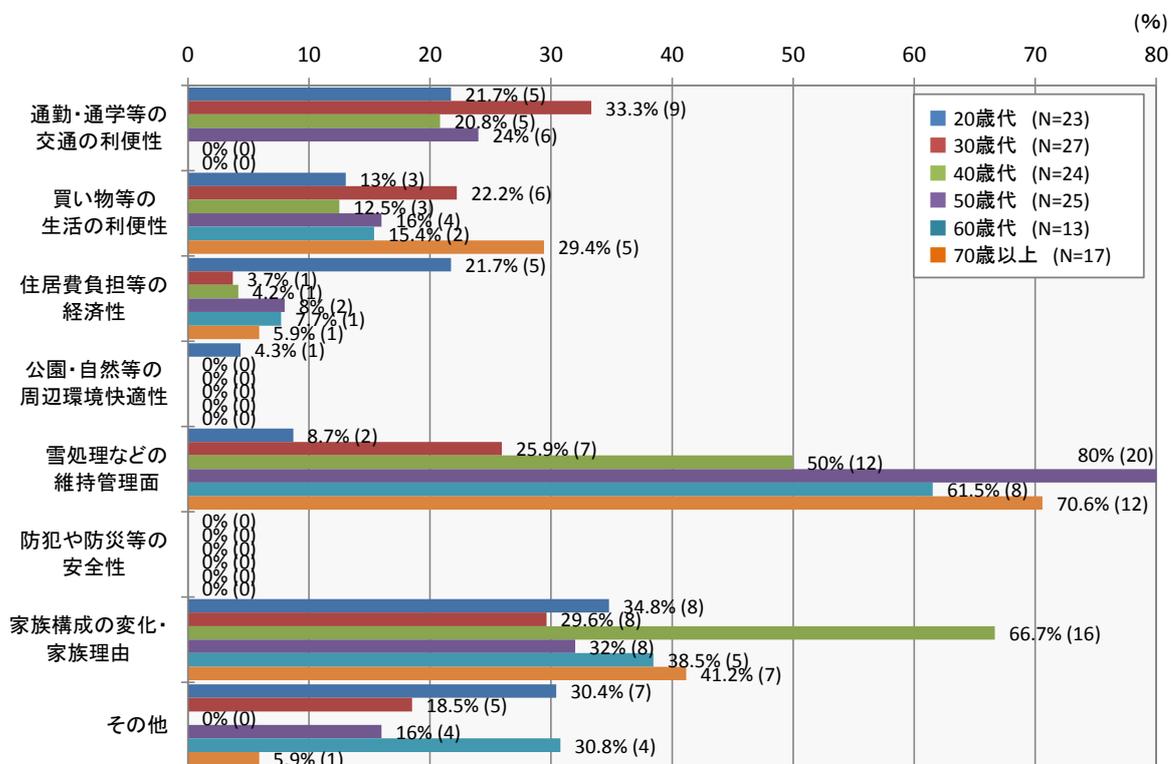
□性別

「転居する予定がある」または「転居を検討している」理由としては、「男性」、「女性」ともに「雪処理などの維持管理面」や「家族構成の変化・家族理由」をあげる人が特に多い。



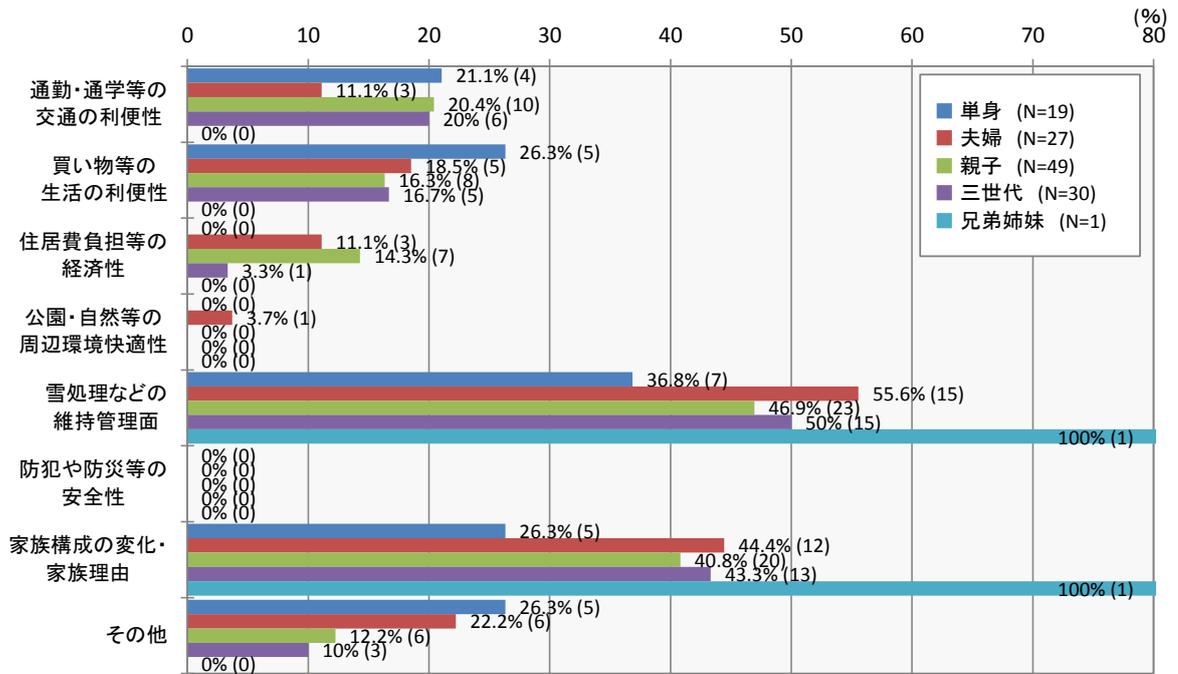
□年代別

年代別で見ると、「50歳代」、「60歳代」、「70歳以上」では「雪処理などの維持管理面」をあげる人が、「40歳代」では「家族構成の変化・家族理由」をあげる人が特に多く、ともに60%を超えている。



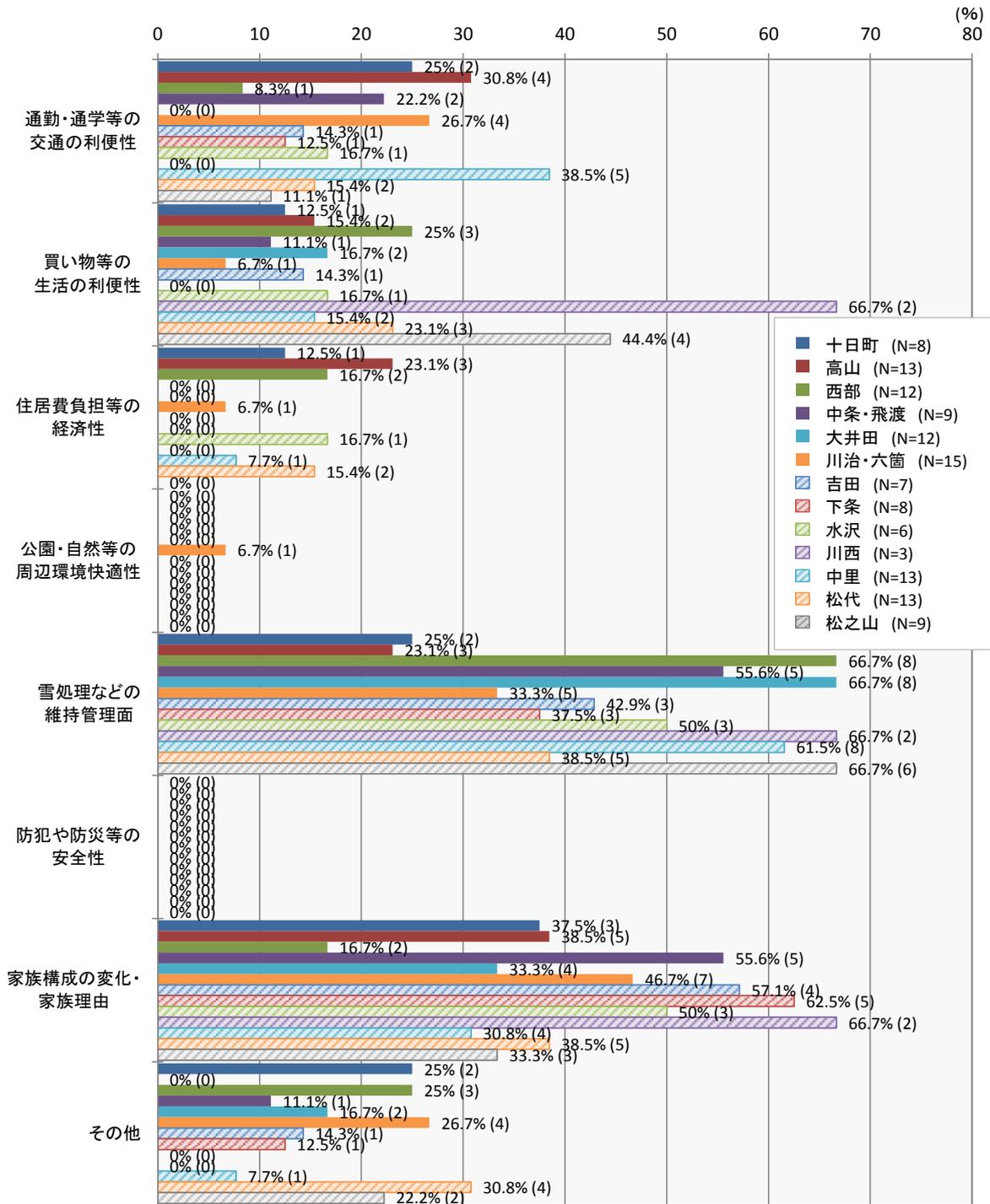
□家族構成別

家族構成別で見ると、すべての家族構成で「雪処理などの維持管理面」をあげる人が最も多く、次いで「家族構成の変化・家族理由」が多い。



□居住地別

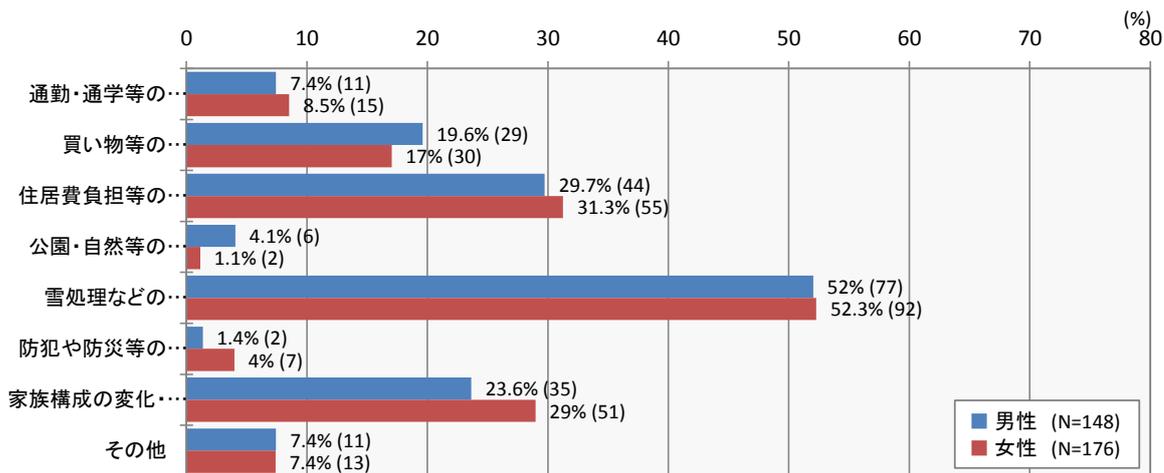
※サンプル数が少ないため、参考データとする。



■問10で「転居したいができない」とお答えになった方

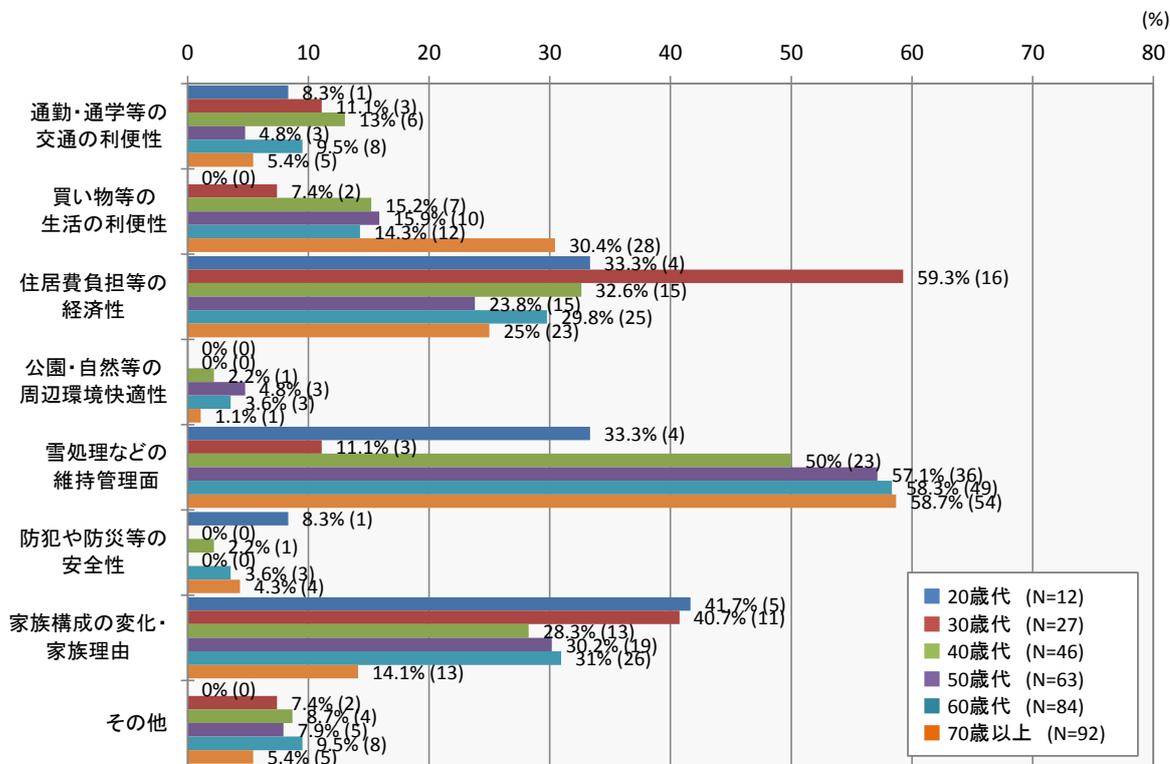
□性別

「転居指定ができない」理由としては、「男性」、「女性」ともに「雪処理などの維持管理面」をあげる人が最も多い(52.0%、52.3%)。



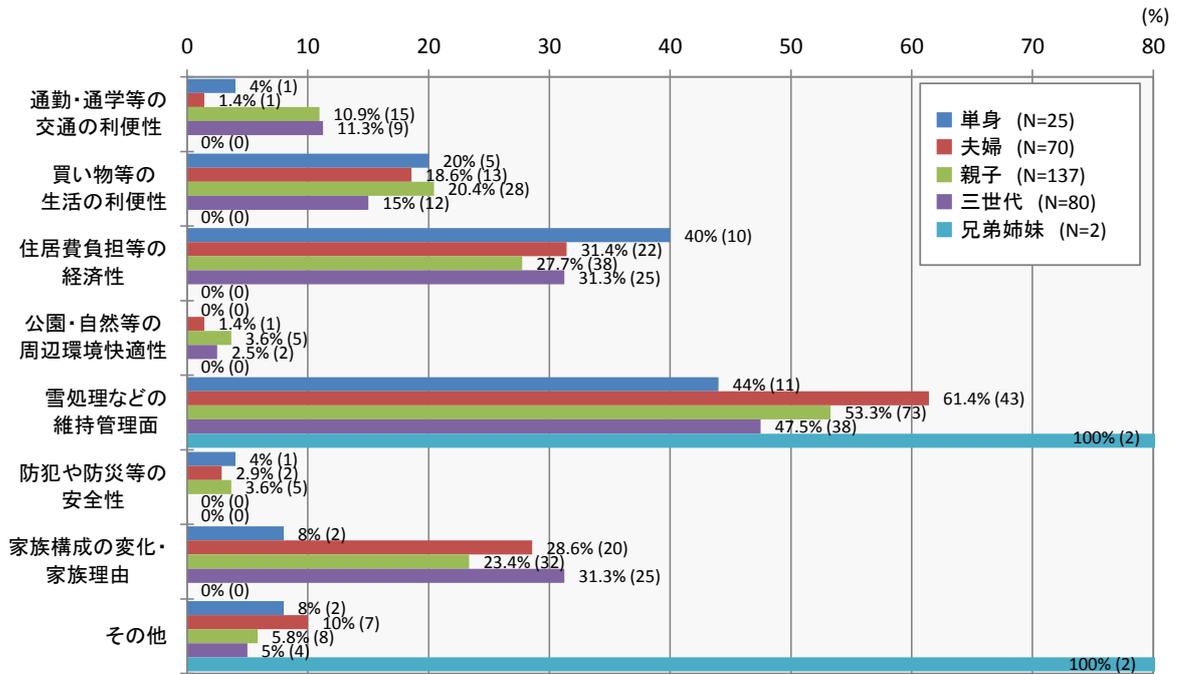
□年代別

年代別で見ると、「40歳代」、「50歳代」、「60歳代」、「70歳以上」では「雪処理などの維持管理面」をあげる人が、「30歳代」では「住居費負担等の経済性」をあげる人が特に多く、ともに50%を超えている。



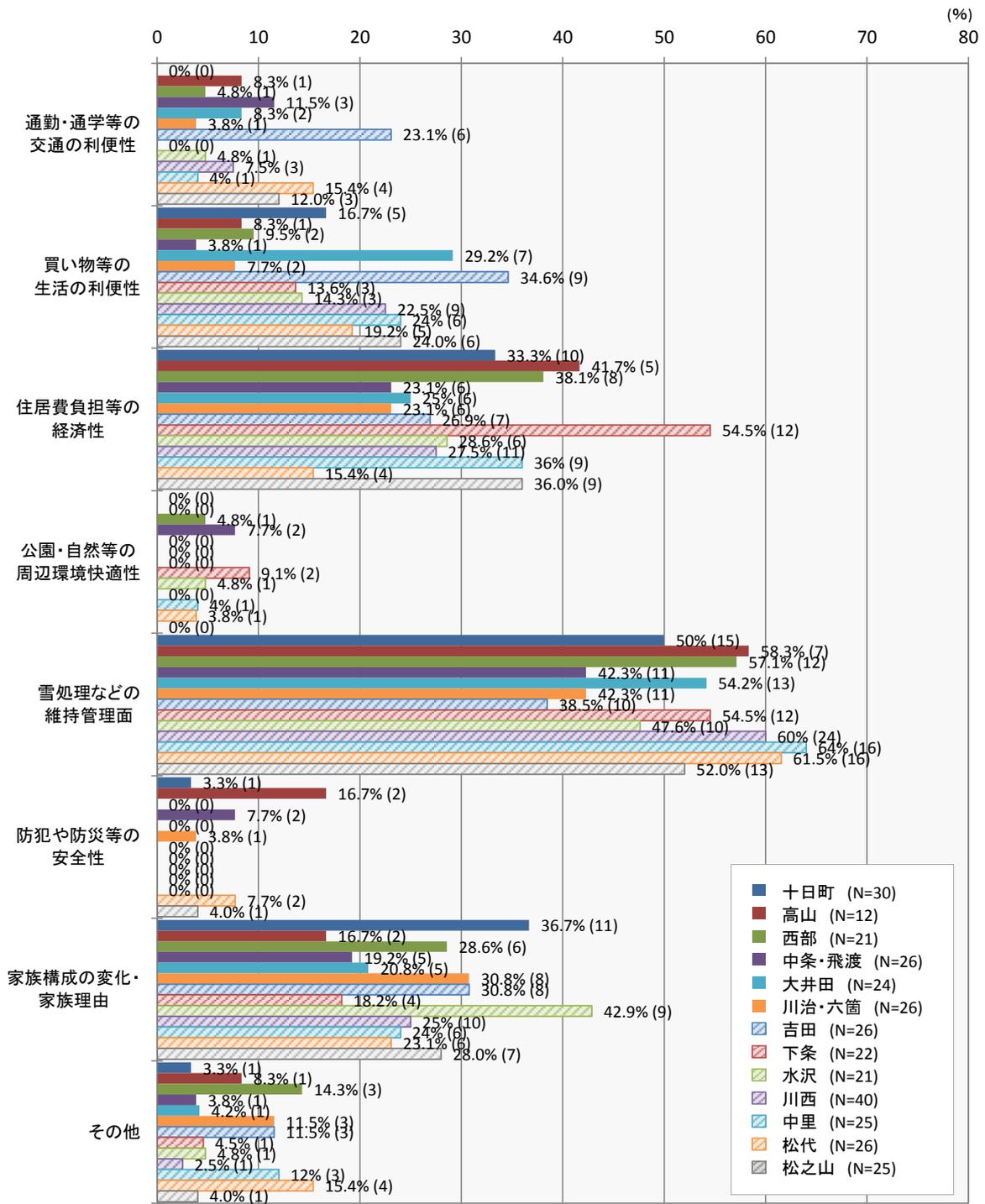
□家族構成別

家族構成別で見ると、すべての家族構成で「雪処理などの維持管理面」をあげる人が最も多く、次いで「住居費負担等の経済性」が多い。



□居住地別

居住地別で見ると、すべての地域で「雪処理などの維持管理面」をあげる人が最も多い。

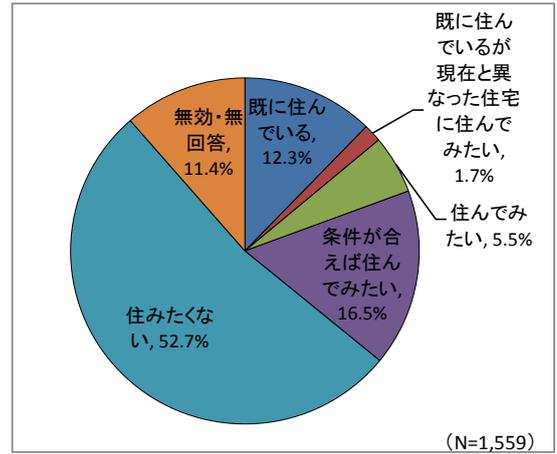


D. 十日町駅周辺の中心市街地について、おたずねします。

問12. 中心市街地に住んでみたいと思いますか。(1つに〇)

中心市街地への居住意向では、「住みたくない」と思っている人が最も多い(52.7%)。また、「住んでみたい」、及び「条件が合えば住んでみたい」を合わせると22.0%である。

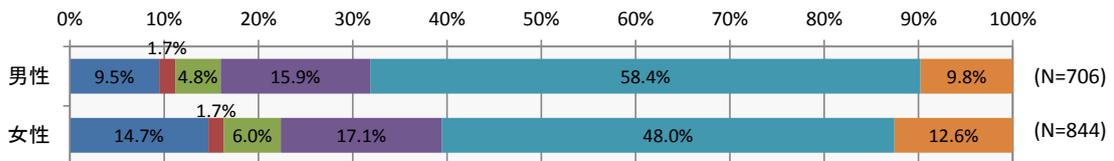
	(件)	
1) 既に住んでいる	191	(12.3%)
2) 既に住んでいるが現在と異なった住宅に住んでみたい	26	(1.7%)
3) 住んでみたい	85	(5.5%)
4) 条件が合えば住んでみたい	258	(16.5%)
5) 住みたくない	821	(52.7%)
6) 無効・無回答	178	(11.4%)
計	1,559	



■性別

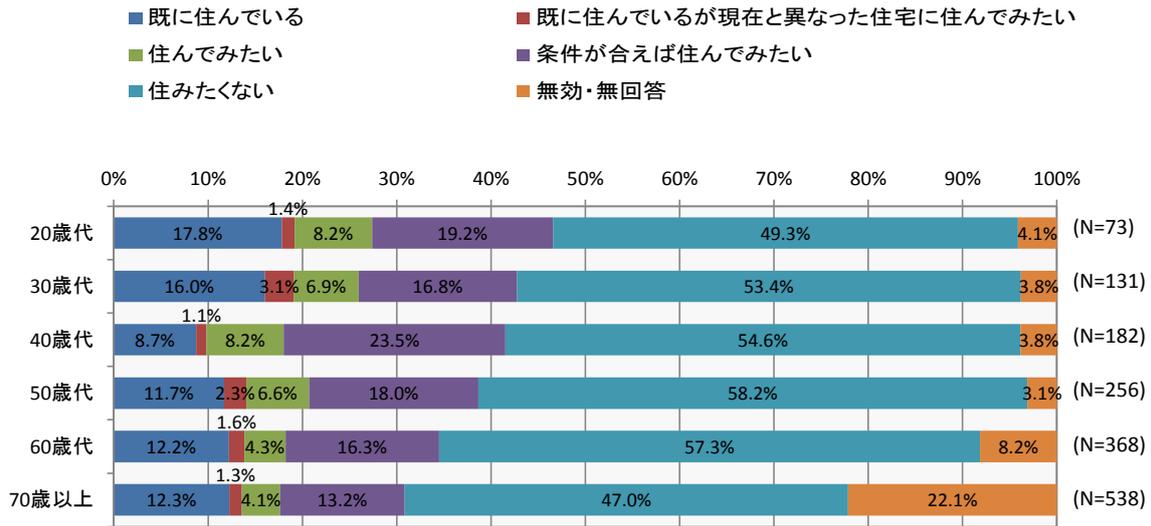
性別で見ると、「女性」の方が「既に住んでいる」や「住んでみたい」、「条件が合えば住んでみたい」が多い。

- 既に住んでいる
- 既に住んでいるが現在と異なった住宅に住んでみたい
- 住んでみたい
- 条件が合えば住んでみたい
- 住みたくない
- 無効・無回答



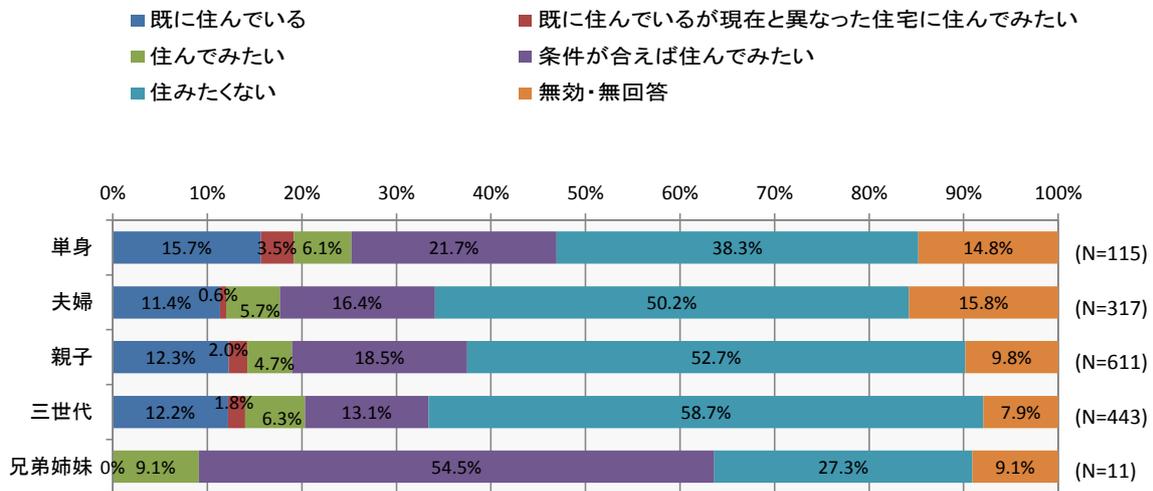
■年代別

年代別で見ると、「20歳代」、「30歳代」で「既に住んでいる」が比較的多く、「40歳代」で「住んでみたい」や「条件が合えば住んでみたい」が比較的多い。



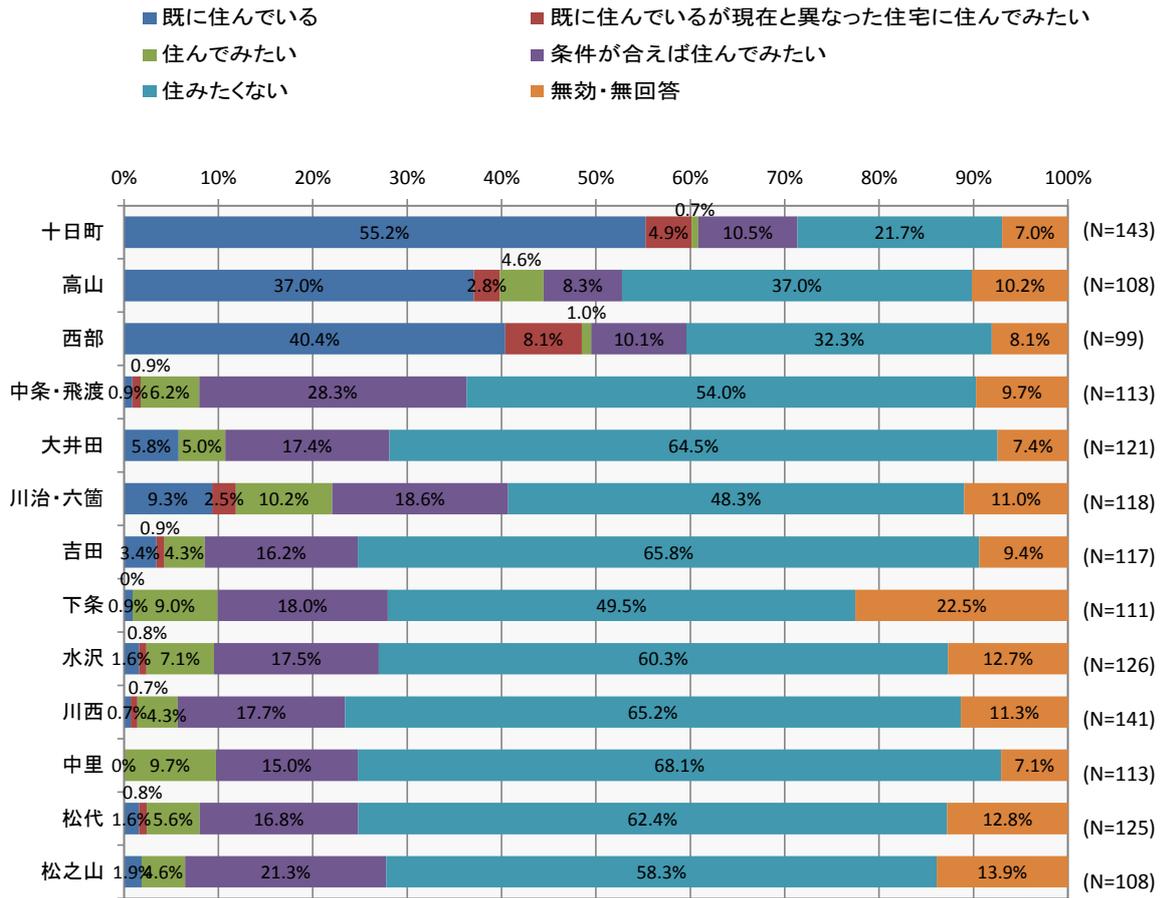
■家族構成別

家族構成別では、「単身」世帯で「既に住んでいる」や「住んでみたい」、「条件が合えば住んでみたい」が多い。



■居住地別

居住地別では、「中条・飛渡」、「川治・六箇」、「下条」で中心市街地に「住んでみたい」や「条件が合えば住んでみたい」が比較的多い。

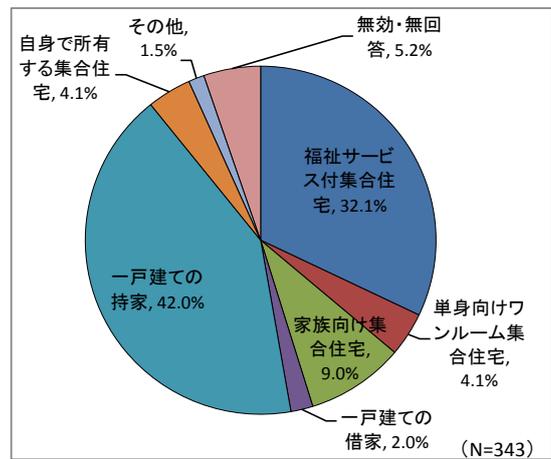


問12で「住んでみたい」「条件が合えば住んでみたい」とお答えになった方にお聞きます。

問12-1. どのような住宅に住んでみたいと思いますか。(1つに〇)

中心市街地で住んでみたい住宅は、「一戸建ての持家」を望む人が最も多く(42.0%)、次いで「高齢者向けの福祉サービス付集合住宅」(32.1%)が多い。

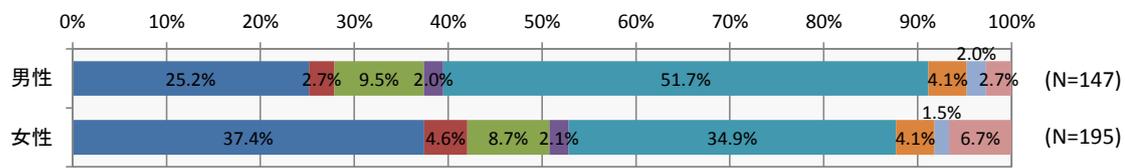
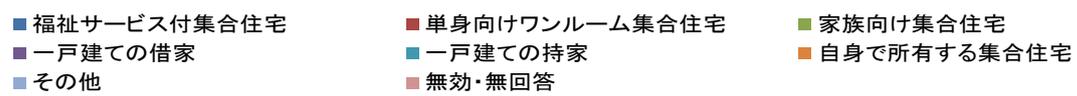
	(件)	
1) 高齢者向けの福祉サービス付集合住宅[賃貸]	110	(32.1%)
2) 単身向けワンルーム集合住宅[賃貸アパート、賃貸マンション]	14	(4.1%)
3) 家族向け集合住宅[賃貸アパート、賃貸マンション]	31	(9.0%)
4) 一戸建ての借家	7	(2.0%)
5) 一戸建ての持家	144	(42.0%)
6) 自身で所有する集合住宅[分譲マンション]	14	(4.1%)
7) その他	5	(1.5%)
8) 無効・無回答	18	(5.2%)
計	343	



[その他の回答]
 ・グループホームがあれば
 ・自営業なので業務が続けられれば
 ・医者、買物が近くにある所
 ・実家が中心市街地にあるので、そこに住みたい
 ・考え中

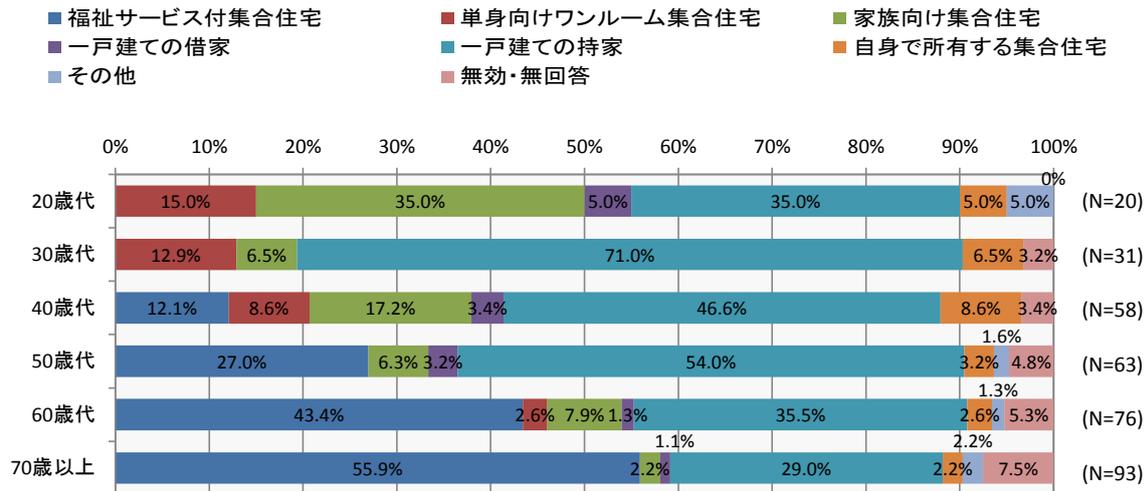
■性別

性別で見ると、「男性」では「一戸建ての持家」に住んでみたい人が最も多く(51.7%)、「女性」では「福祉サービス付集合住宅」が最も多い(37.4%)。



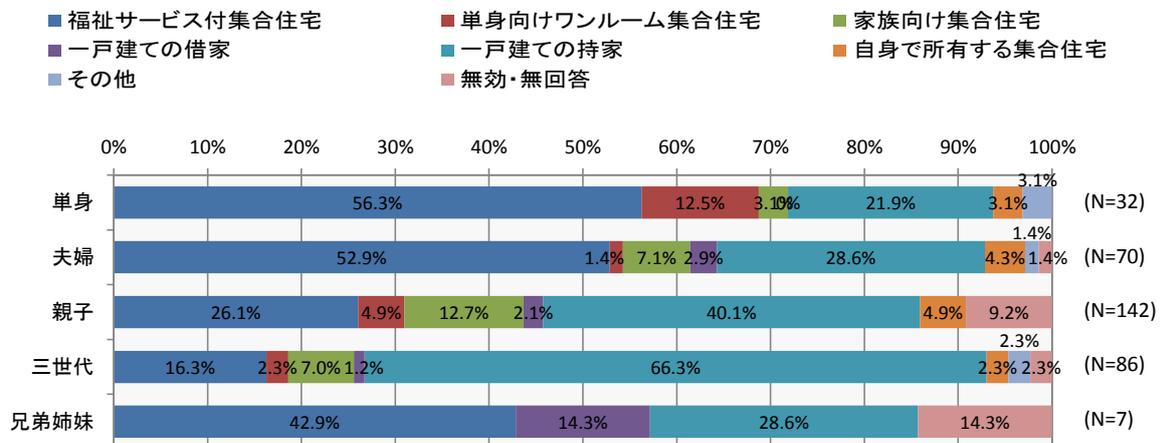
■年代別

年代別では、年代が上がるほど「福祉サービス付集合住宅」に住んでみたい人が多く、「70歳以上」では55.9%の人が住んでみたいと思っている。
 また、「20歳代」では「家族向け集合住宅」（35.0%）に住んでみたい人が特に多く、「30歳代」では「一戸建ての持家」（71.0%）が特に多い。



■家族構成別

家族構成別では、「単身」世帯、「夫婦」世帯で「福祉サービス付集合住宅」に住んでみたい人が特に多く、ともに50%を超えている。

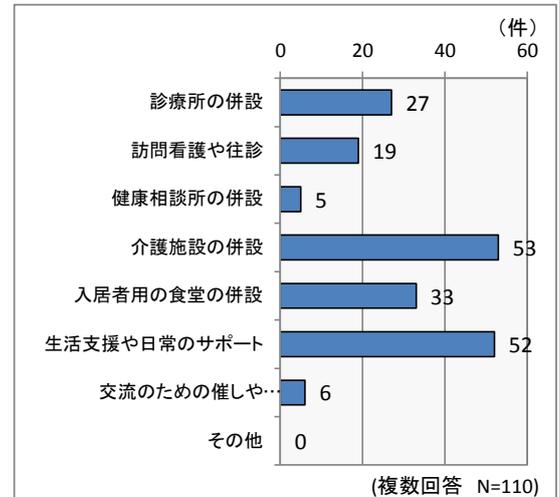


問12-1で、「高齢者向けの福祉サービス付き集合住宅」とお答えになった方にお聞きします。

問12-2. 「福祉サービス付集合住宅」では、どのようなサービスを望みますか。
(2つまで〇)

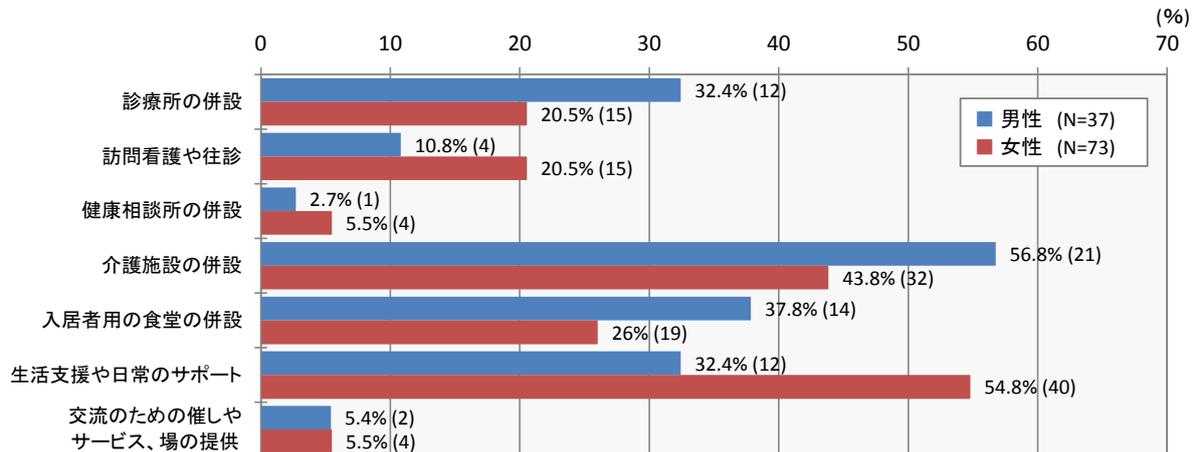
「福祉サービス付集合住宅」のサービスとしては、「介護施設の併設」を望む人が最も多く（53件）、次いで「生活支援や日常のサポート」（52件）、「入居者用の食堂の併設」（33件）が多い。

	(件)	
1) 診療所の併設	27	(24.5%)
2) 訪問看護や往診	19	(17.3%)
3) 健康相談所の併設	5	(4.5%)
4) 介護施設の併設	53	(48.2%)
5) 入居者用の食堂の併設	33	(30.0%)
6) 生活支援や日常のサポート	52	(47.3%)
7) 交流のための催しやサービス、場の提供	6	(5.5%)
8) その他	0	(0.0%)
9) 無効・無回答	0	(0.0%)
計	195	



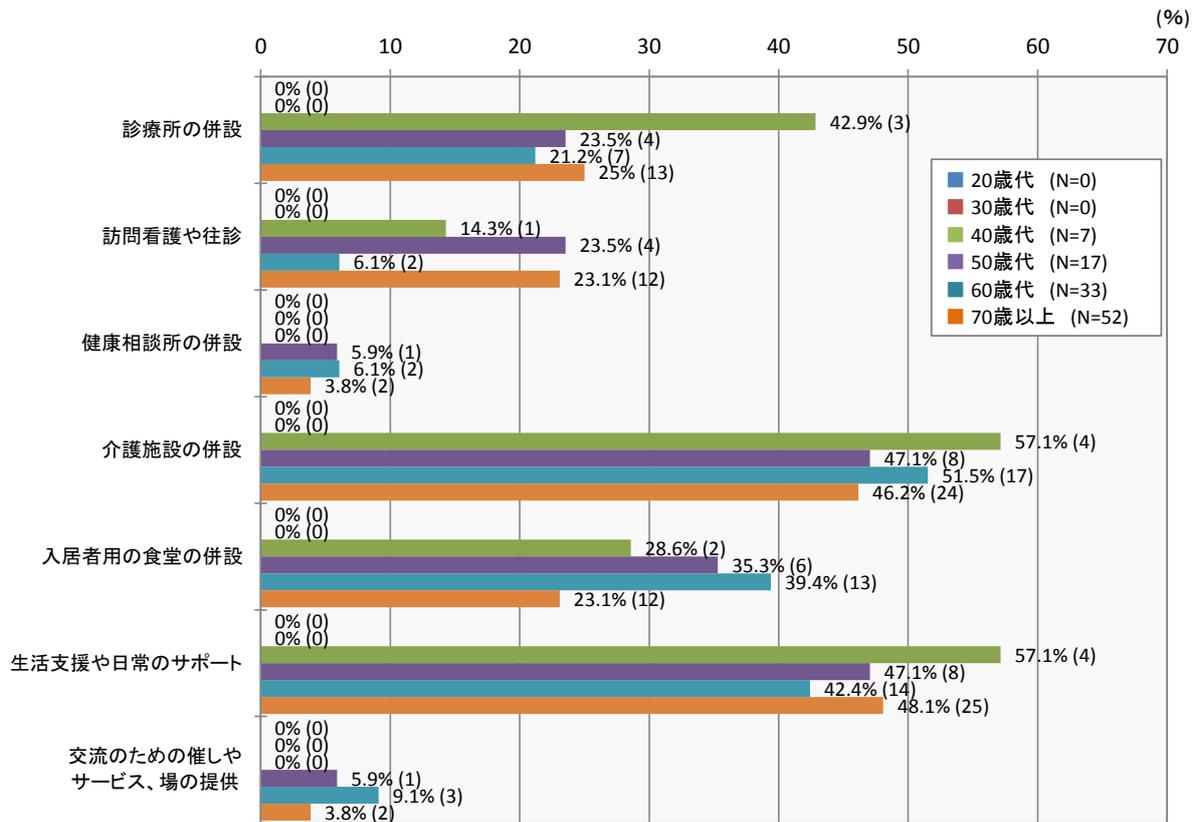
■性別

性別で見ると、「男性」では「介護施設の併設」を望む人が最も多く（56.8%）、「女性」では「生活支援や日常のサポート」を望む人が多い（54.8%）。



■年代別

年代別では、すべての年代で「介護施設の併設」や「生活支援や日常のサポート」を望む人が特に多い。



■家族構成別

家族構成別で見ると、「夫婦」世帯では「介護施設の併設」(54.1%)を望む人が最も多く、「親子」世帯では「生活支援や日常のサポート」(54.1%)、次いで「介護施設の併設」(51.4%)を望む人が多い。



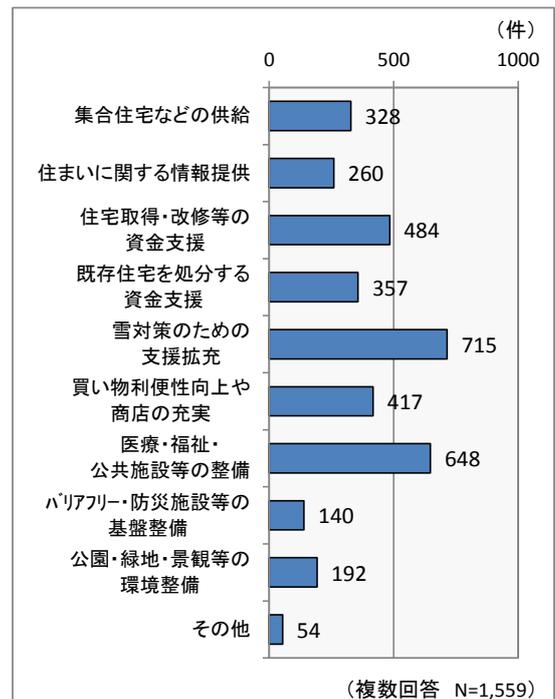
問13. 中心市街地への住み替えを促進するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。
(3つまで)

中心市街地への住み替えを促進するためには、「雪対策のための支援拡充」が必要だと考えている人が最も多く(715件)、次いで「医療・福祉・公共施設等の整備」(648件)、「住宅取得・改修等の資金支援」(484件)が多い。

	(件)	(%)
1) 集合住宅などの供給	328	(21.0%)
2) 空地や空家などの住まいに関する情報の提供	260	(16.7%)
3) 住宅の取得や改修などのための資金の支援	484	(31.0%)
4) 住み替えなどのための既存住宅を処分する資金の支援	357	(22.9%)
5) 雪対策のための融雪屋根住宅等に対する支援の拡充	715	(45.9%)
6) 買い物利便性向上や商店の充実	417	(26.7%)
7) 医療・福祉・公共施設等の整備	648	(41.6%)
8) バリアフリー・防災施設等の基盤整備	140	(9.0%)
9) 公園・緑地や街並み・景観等の環境整備	192	(12.3%)
10) その他	54	(3.5%)
11) 無効・無回答	160	(10.3%)
計	3,755	

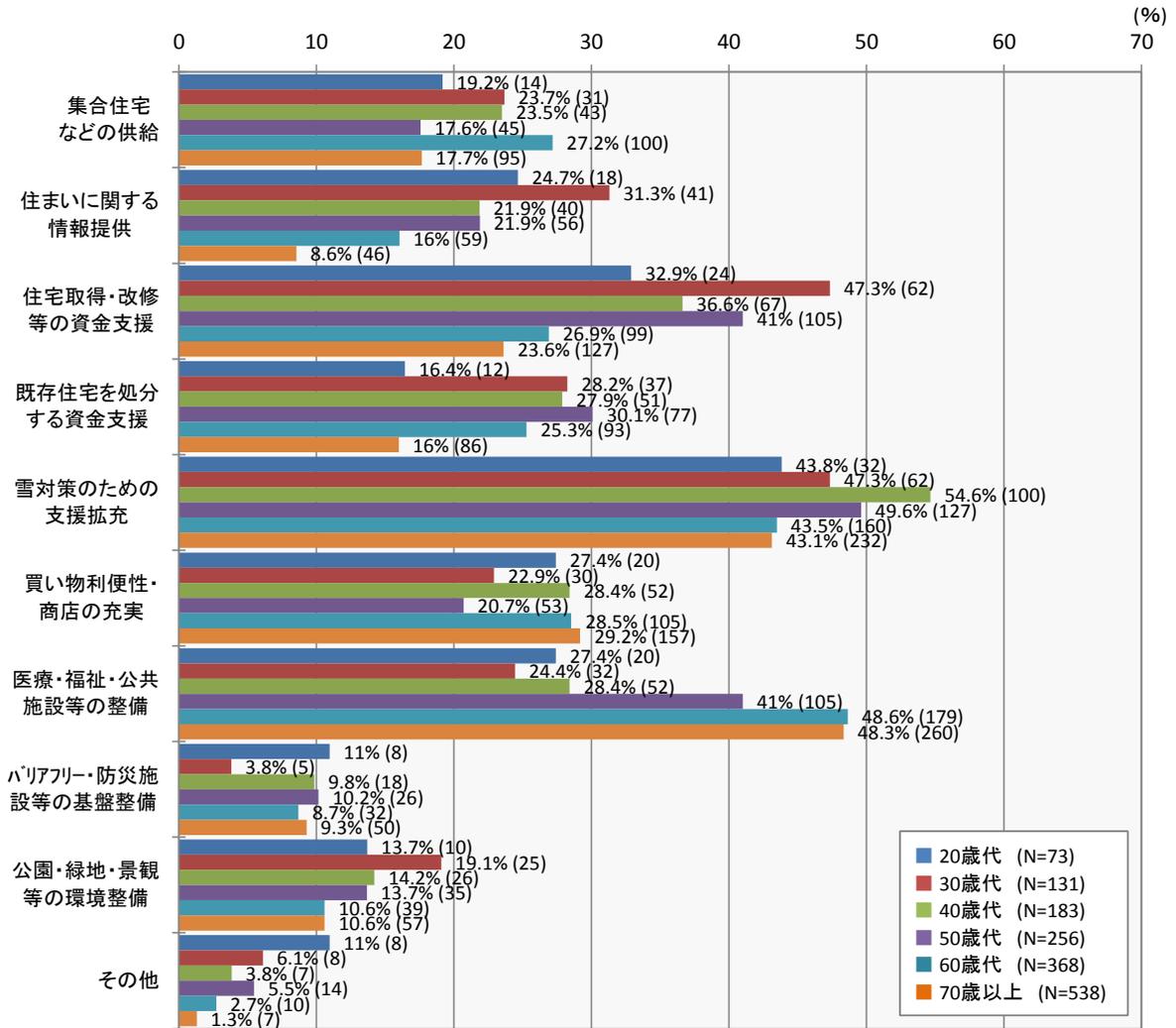
[その他の回答]

- ・区画整理、土地の整備等(4)
- ・駐車場の整備(5)
- ・道路整備、安心して歩ける道路、交通の利便性
- ・流雪溝、除雪した雪の捨て場所の確保(3)
- ・高齢者向け戸建て住宅、託老施設、高齢者のための居住エリアとしての活用(4)
- ・空家・空店舗への空地並みの課税
- ・近所づきあいでストレスがないようなコミュニティの促進
- ・中・高生の学習スペース
- ・中心市街地ばかり居住促進することが良いことではない(5)など



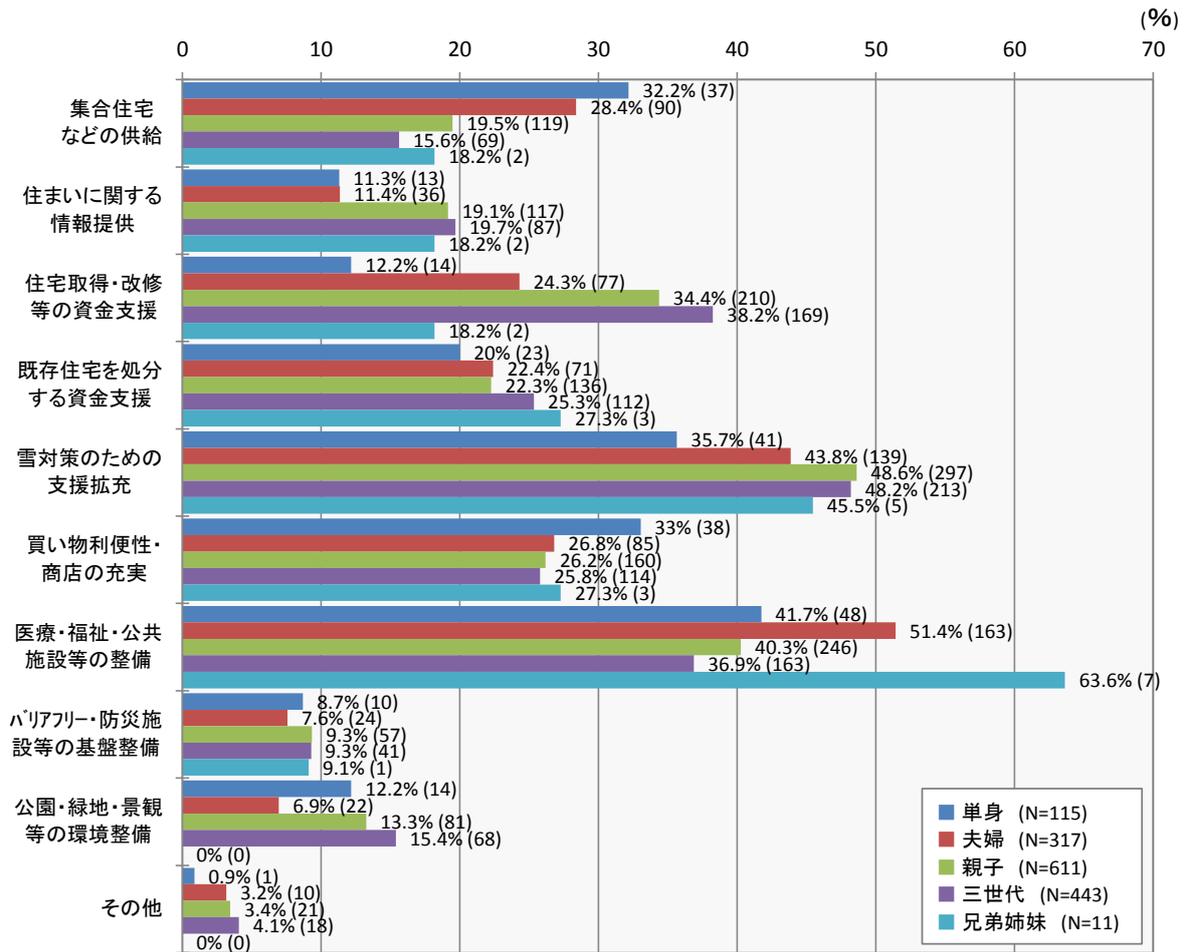
■年代別

年代別で見ると、「20歳代」から「50歳代」では「雪対策のための支援拡充」が必要だと考えている人が最も多く、次いで「住宅取得・改修等の資金支援」が多い。「60歳代」、「70歳以上」では「医療・福祉・公共施設等の整備」が最も多く、次いで「雪対策のための支援拡充」が多い。



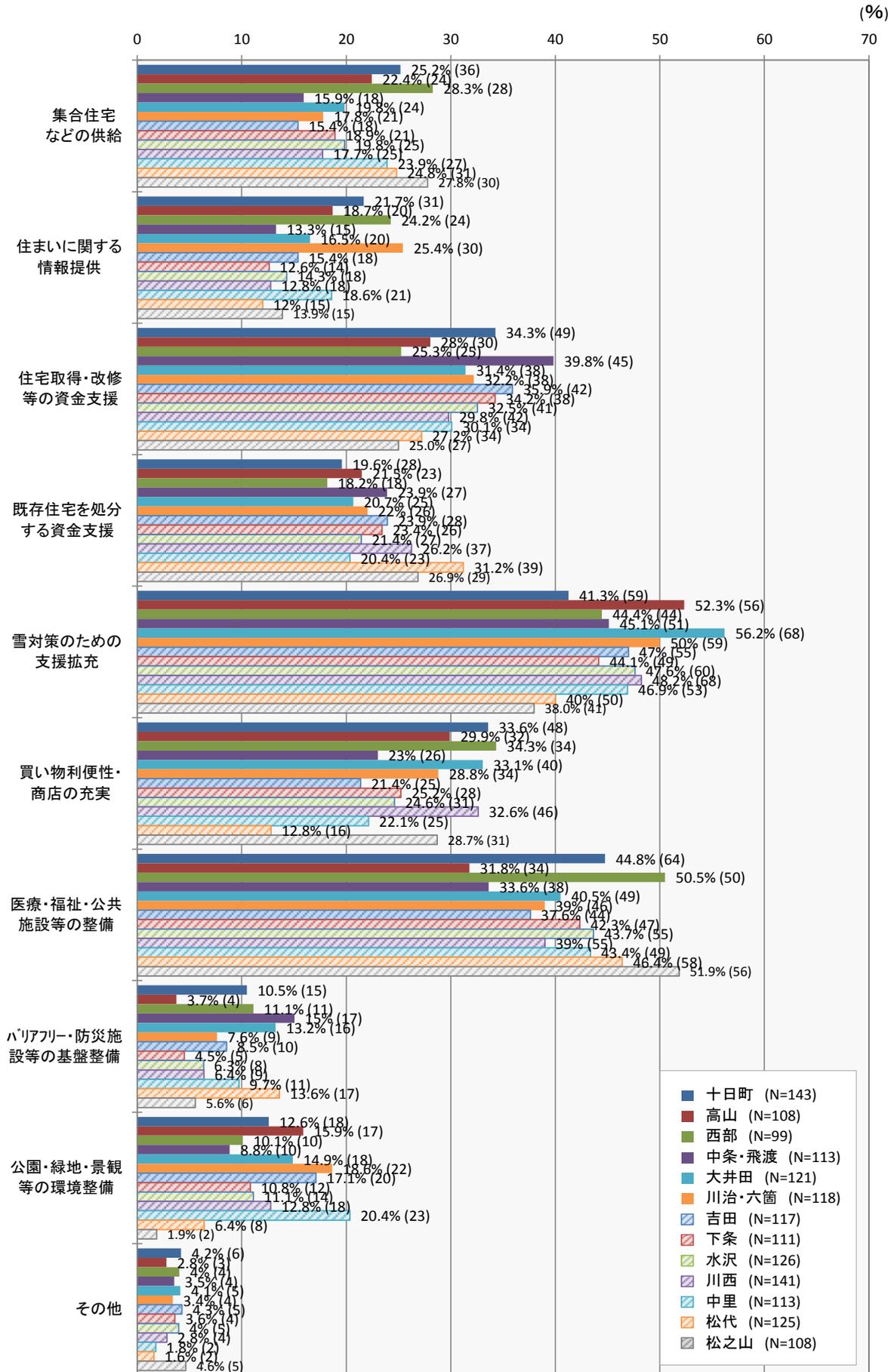
■家族構成別

家族構成別で見ると、「単身」世帯、「夫婦」世帯では「医療・福祉・公共施設等の整備」が必要だと考えている人が最も多く、「親子」世帯、「三世代」世帯では「雪対策のための支援拡充」が多い。



■居住地別

居住地別では、「十日町」、「西部」、「松代」、「松之山」で「医療・福祉・公共施設等の整備」が必要だと考えている人が最も多く、それ以外の地域では「雪対策のための支援拡充」が多い。



E. お住まいや住み替えについてのご意見など、ご自由にお書きください。

■ 意見一覧

【高齢者向け住宅について】

- ・今はまだ住み替えは考えていませんが、いずれ住むようになったら、介護施設の併設住宅を希望します。
- ・中心市街地に高齢者住宅（マンション）が欲しい。
- ・老人二人暮らしのため、雪が大変です。自宅からの道付けなど、いつまで住み続けられるかと思っています。集合住宅に冬期間だけでも、夫婦で住めれば良いと思います。
- ・お年寄りだけの住まいが多くなってきているので、お年寄りの住む集合アパート、マンションをもっと増やし、住みやすくする。もっと若者を中心地へ来てもらうために安く土地や家屋を提供する。町の活性のため、住みやすい町にしてください。
- ・高齢になる前の世代の人が1人で入れるワンルームでない集合住宅が欲しい。いずれそのまま年をとっていくので設備はその時になってきても困らないような造りであると良い。市営住宅などは単身だとなかなかなく所得制限もある。十日町で就業していると、民間のアパートは高い。といって市営の所得制限よりは少し収入が多いなどで困っている。
- ・高齢者用集合住宅を考えて。中心地だけでなく、外のほうにも。
- ・高齢者（夫婦）の方が町内でも増えて来ました。高齢者向けの福祉サービス付き集合住宅等を供給して行ってもらいたいと思っています。
- ・高齢者向けの集合住宅が欲しい。子供がいなくなり雪処理等、家の維持に手間がかかるため。
- ・全国的に高齢化する時代でありますので、1件ずつの住宅の考えを捨て、老人が集団で気楽に過ごせる衣食住を共同購入する様な集合（集団）住宅を考えたらどうでしょうか。
- ・現在ひとり暮らしですが、あと数年で高齢者の仲間入りです。今は元気ですが、やはり不安な時もあります。私達みたいな一人者が一緒に住める集合住宅があると良いと思います。1LDK でもいいですので自分のプライバシーが守れる住宅を望みます。（中心市街地にできるだけ多くつくってほしい）
- ・老人用マンション必要。
- ・どこの部落もお年寄りばかりになりました。人数が減るばかりです。中心部へ、みんなで住める共同の建物をつくったらどうでしょう。まとめて面倒見てください。
- ・ハイテクを昔の形にした老人集合住宅を多くつくってほしい。
- ・将来体が動かなくなったときに、サービス付き高齢者住宅に確実に入居できるのでしょうか。自分の年金だけで家賃を払い、生活できるか心配です。安い家賃で、中心地だけでなくいっぱいつくっていただきたいです。
- ・年をとり、1人、2人暮らしの世帯が増える一方です。介護付集合住宅へ年金を活用又は家を売却して入れる制度を市として促進していただくと安心して住み続けられる。
- ・現在の年齢と健康でいられれば車も使い歩くこともできる。しかし、年齢が80歳に近いということで、一人になったときのことを考えなければならない時に来ているので、その時は家も古いので、集合住宅を今のうちに市につくってもらいたい。今から工事を始めればそこに入りたい。現在79歳、74歳の二人住まい。明日一人になったときに軒先に住んでいるのは心細いので、集合住宅に入りたいたいという人が多いので、お願いします。十日町では不足しているので、長岡までいかないと入れないので、お金持ちでないとなかなか入れないので、お願いします。集合住宅大賛成。早くつくってください。
- ・現在夫と二人暮らしですが、この先ひとり残された時、家の管理、精神面で不安です。医療・福祉公共施設等の整った集合住宅があれば良い。
- ・一人住まいの高齢者が増えています。車も運転できるわけでもないので生活の利便性も考えると集合住宅に住めれば良いと思います。山間部の空家をなくして冬の除雪費を少しでも削減できるよう、冬場だけの住まい確

保が実現できる様なシステムというのはどうでしょうか。

- ・高齢者の一人暮らしが目立ちます。高齢者が農村部でも一人になった時、元気なうちに高齢者住宅に入居し、自宅の田畑に通えると良いと思います。古い空家は都心部から来た人や若い人達が住めると良いと思います。段階を経て高齢者住宅からグループホーム、施設に移行する。田舎の方でも進んで行けば良いと思っています。
- ・私の場合、川西地区中心部に住んでいるので、雪の害以外不満を思う事はないが、老後生活を考えると高齢者向け集合住宅や訪問看護や往診など、老後の生活安定が必要と思う。それに川西地区中心部なのに1人暮らしの人が多く、20年位先になると住む人がなくなる状態。これから町内組織が維持出来なくなる。

【医療・福祉・介護など】

- ・1人暮らしなどの人は、いつでも医療や福祉に連絡ができて、安心して生活ができる住まいが良いと思う。
- ・親との同居をしていると、中心地に住まいを変えたくても、将来の介護や経済的なことを考えると難しい。共働き世帯が子育てしやすいようなサービスや、老後の親が安心して住めるような地域の支援が整うとよいのかなと思います。
- ・子どもがだんだん大きくなり、部屋をつくってあげたいが資金が足りない。だんだん年寄りが増え、介護が必要になったとき、老人ホームにすぐに入れない、空きがない状態みたいなので、福祉サービスを増やしてほしい。
- ・年齢を重ねるたびに未来の生活に不安を感じるこの頃です。老人ホームの充実、私たち低所得者でも入れる施設がほしいです。
- ・柏崎のフォンジェにあるショッピングモール併設型の未就学児対象の屋内遊戯施設/一時預かり施設があるとよい。
- ・住まい選びの条件は総合的に判断したものになるので、住み替えるのは色々考えると、思います。中心市街地に、病児保育施設が必要だと思っています。休日にのびのび過ごせ

- ・私は現在、条件の良いところに住んでいますが、これからは福祉付きの集合住宅が必要ではないかと思っています。
- ・私は79歳の老人なので住まいの替えは考えてはいません。家は住んでからは53年になり、家はとても古いですが、現在の場所は病院も近く、また買い物は不自由していませんが、一人暮らしなので、これから先不安になるので「高齢者集合住宅」へ月8万円で入居できる場所へと考えています。
- ・最近はやりの高齢者向け住宅などは費用がかかるので、現実問題難しいと思う。もっと低価格だったら良いと思う。
- ・高齢者が多くなるこの地域において、介護が必要になり、自立できなくなったときに安住できる住まいがあると良い。各地域にそんな集合住宅をつくってもらえるなら大いに賛成ですが。

る広い公園もあれば、もっと十日町は魅力的な街になると思います。

- ・まだまだと思っていたので真剣に考えていなかった。でも確実に身体は老いに進んでいます。医療、福祉、公共施設、集合住宅等の充実を望みます。
- ・老齢家族になると何かと不便になるので医療・福祉の面で安心して暮らせるような環境、住まいになりたい。
- ・医療施設の充実を切望します。
- ・過疎地にこれから住むということは、いかにして人口圏の維持と医療、看護、流通を担保するかだと思います。現在の中心市街地計画では、その点が満たせていないように見受けられます。また、生産基盤を持つ世帯が自動車で移動可能であり、より大きな町で消費活動を行うという構造を転換する要素が本計画に盛り込まれることを強く望みます。上記の点が健全な財政運営のもとで満足されない限り、新しい住まいや住み替えはなかなか難しいものがあるように考えます。
- ・70歳を過ぎて複数の病気をもち、現在長岡の病院に2か所、週一ペースで通院。家内は新潟大学病院に年に数回。今は車に乗れるから良いが、先のことを考えるとこの地域には高

度医療の施設がない。夢かもしれないが、高度医療のある病院に近く、雪の降らないところがあれば住みたい。

- ・ 高齢化が進む中で医療設備の充実は必ず求められる。病院はまた現在の場所に建てることが決まっているのであれば周辺の整備をし、診察を受けるために駐車場を探すような現状だけはなんとかしてほしい。
- ・ 地域に高齢者住宅をつくって欲しい。高齢者でデイサービスに行く前の段階の人達が入れたり、日帰りサービスができる所が欲しい。
- ・ 今、介護に携わっている方達の意見を聞き、介護されやすい家、介護しやすい家のモデルハウスを示して欲しい。高齢者は快適な生活ができるよう、市街地の情報マップがあったら良いのではないかな。往診してくれる医師、家に来てくれる美容師、理容師、食材の宅配、タクシー等々。
- ・ 今現在は心身共に健康ではあるが、そのうち施設にお世話になるであろうと考えると、高齢化時代の今一番要望したいのは介護施設の増設だと思います。皆さん家族に迷惑をかけたくないと考えていると思うので、いつでもすぐ入所できるように、増設を希望します。
- ・ 現在、私は1人の生活です。いずれは皆様にお世話にならなければなりません。住みやすい介護の施設の充実をお願いいたします。

【買い物、商業など】

- ・ 毎日の買い物が近所で出来る事は大切な条件ですが、移動販売とか配達とかしていただける商店があると有難いです。
- ・ 水沢はお店がないので、車がないと買い物が不自由です。町の中心部は雪かたづけが大変そう。
- ・ 農協がなくなるとのこと。歩いて買い物に行くところがないので困ります。町まで歩いて買物は今のところ運動になるけど、年を取ったらそれもできなくなるので。また、足腰が悪くなった時を考えると暗い気持ちになります。住まいは消雪パイプが出ている近くなのでありがたいです。
- ・ 商店がないため買い物に不自由をしています。移動スーパーの数を増やすとか、買物に便利な手法を考えてほしいです。

- ・ 高齢者（後期）2人暮らしです。老々介護しています。自分は屋内外共に杖歩行しているため、思う様に動けず情けないです。市中心地にはとても住む気にはなれません。山中部落でももう少し福祉対策を充実してほしいです。
- ・ 働く場の少ない地方都市では若者の定着が難しく、従って子供達が都会へ。残った老人は先が不安、自宅を担保にしてでも老後を安心して暮らせる福祉施設がほしい。
- ・ どなた様も入居出来る施設がほしい。
- ・ 米寿を過ぎた身としては、病院の充実や特別老人施設の増設を切望するのみです。上記についても果たしてどの程度厄介になるかは不明なわけですが。
- ・ 年寄りだけの生活で、週1回位は他の人と話したいので、集まる場がほしい。
- ・ ケアハウスみよし台に住んでいますが、健康でなくなったら同じ系列の（十日町福祉会）へ移りたい。
- ・ 出来るだけ今の所に住み続けたいが、高齢になった時に入居できる施設があるとよい。
- ・ 老人介護の支援、老々介護の支援、介護者への心のケア、子育て、病護保育などの支援センターなど出できれば良いと思います。家は88歳～7歳の三世代家族。

- ・ 冬の買物等の大変さを、もっと便利な方法を考えてもらいたい。
- ・ 中心地（本町1丁目～3丁目）内にスーパーがあればうれしいです。
- ・ 活性化のためには、もっと飲食店の接客を見直した方がよい。他の所に比べ十日町の飲食店は待ち時間が長く対応も良くない。呼び込みのイベントをたくさんやっていて県外からも人が来る機会が多いのだから。食の部分の影響は大きいと思う。
- ・ 近くに商店がない。
- ・ もっと飲食店のチェーン店を増やしてほしい。

【公園の整備】

- ・ 小山、滑り台などがある駐車場付きの公園が欲しい。
- ・ どちらの地区でも言えますが、近くに子供が安心して遊べる公園がない。
- ・ 周辺には豊かな自然があるというが、市街地には公的な憩いの場（公園や散策スペース、噴水など）がない。意図的計画的に、市民が憩える公園等の場がないと、車の通過点とし

【中心市街地】

- ・ 中心市街地は道が狭くごみごみした印象があります。その割に、車の交通量も多いので、危ないイメージが強い。そして駐車スペースが十分ないので、ほとんど買い物には行っていないのが現状です。雪が降ると道が狭いことが強調されてしまいます。住み替えや商店の活性化を考えているのなら、道をなんとかすべきです。施設をつくることよりも、先にやることあるのではないですか。
- ・ 中心市街地に住むのであれば、歩いてすべての用が足せる機能がそろっていないといけないと思います。
- ・ 中心市街地で、その場所に行くと人が集まっていて、食べるころ、コーヒーやお茶が飲める。子供もお年寄りも長時間ゆっくりできるところが欲しいと思います。子供たちが遊んでいるのを見ながら、私たち時間が余っている年寄りがお茶を飲んでいるなんて最高です。キナーレの活用を希望します。
- ・ 今の住居を替える予定はありませんが、実家が中心市街地にあるので中心街にいた頃の方が便利でした。最近では買い物も車で行くので（情報館、総体なども）中心街に行くのは仕事と飲み会、ウインドウショッピングにも魅力がありません。本町通りにはコンビニも本屋もなく、駐車場は有料。街中離れもわかります。
- ・ 中心市街地へ住み替えても活性化するとは思えない。中心市街では既に流雪溝等の設備もされているのに他の地域では無い所も多くある。住み替え促進の案は、どの様な経緯から出てきたのか。短絡的な感がある。

かなりえないと思う。車から離れて、のんびり散歩のできる公園（セントラルパーク）がほしいと常々思っていた。

- ・ 若い時は雪や買い物、医療についてはあまり考えなかった。今 70 才を過ぎて思うには、歩いて行かれる病院も公園も、よい景観等の環境が整備されることを願っています。

- ・ 中心市街地活性は、何か人が集まるような大きな商業ビル等、目立つものが必要な気がする。
- ・ 問 13 について、1～9 は全て効果なしです。余計な費用がかさむだけです。時代が変われば中心地も変わります。中心地移動を素直に承知して新しい中心地を考えるべきです。
- ・ 中心市街地への住み替えを促進することと、市街地の活性化は別問題だと思います。市営住宅をつくり過ぎ、特定の人ばかりが活用して、結局市の財政負担にならないようにしてほしいです。
- ・ 十日町のアーケード街の商店には魅力的な店が無い。何十年もアーケード商店街で買い物をした記憶が無い。古さばかりが感じられる。若者向けにファミリーレストランでも有れば良いと思う。ボーリング場も復活すれば集客できると思う。
- ・ 元々中心地に住んでいたのに中心外に住むと不便を感じることはありますが、地域住民との交流は良いので気になりません。が、中心市街地の空き店舗、更地の多さは気になりますし、商店街も飲み屋ばかり増えて昼間はシャッターが降りていて活気はありません。せめてケンタッキーやマクドナルド等の中・高生が歩きそうな店、ボーリング等の遊技場が 2～3 できれば、それにつられて店ができ、人が移ってくるのではないかと思います。
- ・ 今住んでいる場所は中心市街地の範囲ですが、駅や銀行等が近くで大変便利です。本町通りにも活気が復活すると良いですね。

- ・ 中心市街地に野良猫がたくさん空家の縁の下などにいて、居住している土地の上に糞をして、衛生的にも景観的にもよくない状態。高齢者用の住宅等を今後考えていく中で、アニマルセラピーなどを行う意味でそういった猫を飼育する施設なども併設するという考えはいかがでしょうか。動物も共存する十日町市。
- ・ 交通の便が悪い。バスの本数を増やしてもらいたい。雪の処理に困る。
- ・ 中心市街地への住み替えでなく、中心市街地へのアクセスをしっかりと行うことでは。
- ・ 下図の矢印部分の道の整備を早くやっていたらと、皆様の買い物や生活していく道ですから、一日も早く検討してください。お願いします。



- ・ 中心地に住んでいます、冬期に家の前迄タクシーを呼べないのが難。(道幅が狭いので)

【住まい・住環境について】

- ・ 現在居住している所で雪、食、医が充実していれば住み続けたい。食、医等は住人を動かすのでなく、こちらに向かうのが理想。役所の都合の良い計画でなく、住民にとって都合の良い環境が、本来の生活だと思えます。
- ・ ひとり暮らし（高齢者のみ、若者の1人住まいとも）の世帯への対応が必要だと思います。やがて空家になるので空家の処理について、あるいは若い世代の1人暮らしへの対応。
- ・ 今、市営住宅に住んでいるが、水回り（台所、トイレ、風呂など）の改修をしてもらいたい。あと、冬の駐車場の雪処理も、駐車場料金を払っているのにどうにかしてほしい。
- ・ 下上階や隣との生活音の防音が大事。駐車場の確保と除雪対策が大事だと思います。
- ・ 強風や耐震性の強い鉄筋住宅がほしい。
- ・ これから、自然災害が多くなると思います。地震などは特にそう思うのですが、このあたりは、道路が地震でダメになったら、孤立してしまうかなと思います。それに、年寄りがいるので、一人にしておくのもと思います。
- ・ 駅西地区の道路整備を考えてもらいたい。西線から下島へ抜ける変電所わきの道は交通量が多いにもかかわらず、歩道もない。駅から下島へ下りられるようにしてほしい。その際特にお願ひしたいのは、新しい道をつくることより千代田町の道を利用してほしい。（ペペロソのわきの道が市道にもかかわらず、通り抜けできず、まるで私道のようになっているから）今現在、駅西に入る時、千代田町に曲がる所の車線が駅西に入ることが優先で、千代田町に入る車がものすごく入りづらい。千代田町に入るために止まっていると、後ろの車は混むし、駅から西線へ出る車も、どちらも出にくい。何十年も前に計画したものを、今に当てはめず、現在の状況に応じた道路整備をお願いしたい。
- ・ 雪国は土地のせまいのはだめですね。すくなくとも 80 坪以上の土地がよい。家に対し、空き地を考える。
- ・ 中越大地震で半壊となり、かつ土台が傾いていたものを直す方法、手立てをお聞きしたい。
- ・ 家が広過ぎて段差が有り日頃不便を感じています。
- ・ 住み始めるための条件を統一して欲しい。（水道管、電信柱の取り付け等、全て自己負担する場合と、元々取り付けであった場合の差がありすぎる。）
- ・ 市営の安い住宅に入りたい。
- ・ 市で空地・空家等への車乗り入れ可能状態の進入路の確保、雪処理の解決が出来れば移り住む人も多くなると思う。
- ・ 病院や買い物など近いところがいい。

- ・ 空家対策が重要視される。景観、安全性、市としても対策を支援してほしい。
- ・ 若い夫婦と子供2人というモデルを仮定して、一世帯より少しコンパクトな 0.75 世帯分の住居をメゾネットとしてつくり、分譲・賃貸するというアイデアはいかがでしょうか。
- ・ 年をとって 1 人になっても安心して住める、友達と住めるようなシェアハウスのような住宅。
- ・ 節電を意識せずに冷暖房を使っても、従来より少なくともトータルで 15%の節電になる住宅。耐雪住宅のことで地域での耐雪基準の引き上げ。(近頃の大雪に対して) 災害時、避難所でなく自宅で生活できるようなエネルギーの自給、耐震(高齢者向など集合住宅は免震)、住宅だけでなく地震に強い水道管をインフラとして整備する。
- ・ 一戸建ての場合、ロードヒーティングの設備があると老人には良いと思う。
- ・ 身体障害者なのでバリアフリーの住宅が多くなると良いと思う。
- ・ これからの時代は若者と一緒に生活するというのがない様に思いますので、あまり広い家はいらぬように思います。小さいながらも充実した家がほしいですね。
- ・ 家の屋根雪処理が容易で病院が近くて、スーパーが近くて、買い物に便利、公共施設が近くて、そんな所に住みたい、だから空地や家屋などの情報が知りたい。
- ・ 多様な住宅取得の方法についての情報提供をしてほしい。SI住宅やコーポラティブハウスなどがあることを知らない人が多い。新たに雪国の住まいをテーマとしたコンペなどをしてはどうか。
- ・ ペットを飼っている人、飼いたい人が住めるアパートや借家が増えるとうれしいです。
- ・ 十日町はアパートの家賃が高いと聞きます。集合住宅なども出来てきて少しでも家賃が安ければ良いと思います。
- ・ 十日町は家賃が高い。集合住宅の家賃を安くしてほしい。
- ・ 現在の市営住宅の管理がなっていない。不満の中、生活せざるをえない。集合住宅をもっと増やしてほしい。満足のいく住まいの提供を望む。また、貧困層に対しての取り組みや高齢者への心配りを考え、よりよい住宅を提供していただきたい。
- ・ 分譲マンションの複数棟建設。(駅周辺)

【中心市街地以外の取り組み】

- ・ 車社会の生活が基本になっている現在、中心市街地だけに拘わらず、外に構想を展開する方が十日町市の活性化に繋がると思われます。
- ・ 中心市街地だけでなく、お年寄りが歩いて買い物出来るようにしてもらいたい。お年寄りは1人で買い物をしづらい。
- ・ 中心市街地の利便性だけ向上させるのではなく、周辺部の住環境や雪対策を(真剣に)しっかりと考えて、取り組んでももらいたいです。
- ・ 都会的なライフスタイルなら受け入れられると思うが(ボロアパート→高級アパート→賃貸マンション→分譲マンション)土地に執着する(畑作業)方々が多い地域なので多少難しい。高齢者向けは食事サービス付かつ低料金ホテルコストでなければならないと思う。中心市街地より、少し離れた場所に新たに街をつくったほうが安いのではないかと。
- ・ 中心市街地の活性化もいいが、山間地の活性化にも取り組んでももらいたい。どんどん他の市等へ人が流出しているところもあります。
- ・ 少子高齢に伴い公共的施設等の統合により商店も少なくなり、何かと不便になり、今後の食生活に負担が多くなり、今後将来に期待がもてず不安が高まります。市街地のみならず平均に目を配ってほしい。
- ・ 中心地ばかり活性化させては、過疎化が進んでしまうと思う。他の所にもしっかりと目を向けて下さい。十日町市は賃貸アパートの賃料が高い。
- ・ なぜ中心市街地への住み替えが必要か、このアンケートの意味が全くわからない。中心にだけ人がいればいいのか、田舎のくせにその存在を否定している役人様ばかりなのか。
- ・ 中心市街地へ無理に集めようとすれば、市内にとどまらず新潟市や関東へ出てしまうの

- ではないでしょうか。まわりの集落を活性化しないと中心街も活性化しないと思います。
- ・ 現在の場所に住んでいられる様な対策をしてほしい。
 - ・ 中心市街地への住み替え促進ではなくその地域で住みつけられる方策が必要。(例：松之山冬期のアットホームを各地につくる、市の遊休建物がいっぱいある)
 - ・ 中心市街地への集中化もいいですが、住み慣れた土地で安心して暮らせる方策に力を入れてほしい。
 - ・ 中心部のよくなる事も大事でしょうが、老人家族の事も考えて、僻地の生活も考えてほしい。
 - ・ 市の中心部と同等の整備を山間地に対しても検討してください。おねがしいたします。
 - ・ 中心市街地の活性化のため、一生懸命取り組まれているが、人々は市街地にばかり住んでいるわけではない。その他の地域に住んでいる人達が不公平感を持つ事のない様な進め方をしたい。
 - ・ 何故中心街の事ばかり聞くのですか。
 - ・ 山地も道路がよくなり、無雪になり、スクールバスも通れば静かですよ。市街地も大切だが、生活するには不自由はなく、雪おろしの事でケンカするより、資金の支援を受けて少くらい市街地よりはなれた方がよいのではないかな。
 - ・ 中心部に住む人以外にはなんの意味もありません。やることに無駄が多すぎます。もっと自分達の知恵を出して下さい。
 - ・ ファインプロジェクト 10 の事業はとてもよいと思います。これからのことを考えると子育て支援やデイサービスは必要だと思います。ですが、中心市街地だけ活性化しても、十日町市全体が活性化するわけではないので、これを機に十日町全体が活性するようなプロジェクトをよろしくお願いします。
 - ・ 文化ホール、中心市街地ばかりにお金を使うのはどうかと。
 - ・ 中里通り山の元養魚場跡地に（高齢者住宅）今田倉跡のプロジェクトのようなのが出来ないのでしょうか。
 - ・ 十日町だけが中心とせず、地域ごとに拠点があるわけですから、その点も活性化の推進をお願いします。
 - ・ 中心市街地活性化計画ですが、十日町市の中心の活性化だけでなく、旧松代、松之山、川西、中里等の町村の中心地の活性化にも目を向けて下さる事を望みます。
 - ・ 中心市街地だけが十日町ではない。中心市街地だけ促進するのはおかしい。町全体としてバランスを考え促進してほしい。
 - ・ 市街地は人が大勢集まるのに便利であると思うが、住宅は郊外でも良いのではないのでしょうか。市街地は限界があります。老人のための施設は別ですが。
 - ・ 長いこと「中心市街地活性化」が行われてきています。金を使っただけではないのか。「お山の大将が多すぎる」。中心に住む人達が行政に甘えているうちは放っておくべし。本当に大変なのは山間地である。
 - ・ 中心市街地を活性化するのはいいと思いますが、その他の地域の活性化もしていただきたい（同時進行で）。高齢者住宅や老人ホームをつくるのもいいが、子供達が自分の家で親とくらししていけるような支援を考えても良いのではないのでしょうか。
 - ・ 中央集中させることが求められていることなのではないでしょうか。この方針で行うと限界集落の拡大が進むのではないのでしょうか。人口及び産業の流出を防ぐため、僻地の活性も必要なのでは。中央のみ利便性を上げるのではなく、僻地のインフラ整備にも着目してほしいです。
 - ・ 吉田地区には沖ノ原団地がありますが、なかなか人が来てくれません。市街地への住み替えの促進も良いですが、まずは市として団地への促進をお願いします。価格等の再設定などももう少し情報の宣伝をと思います。

【まちづくり全般】

- ・ 田舎の割に物価が高すぎる。牧之通りのような思い切ったまちづくり。景観の統一性。大型店の撤退。昔ながらの商店街。幅広い年齢層が入れる地産地消の健康ランチレストラン。県内外からも気軽に通える駐車場（無料）。

高齢化を重視しすぎない。若者向けの考え、スポーツ施設増設。

- ・ 地方の交通網を発達させていただきたい。また路面の凍結などによるスリップを防ぐ対策の充実をはかってもらいたい。
- ・ 中心市街地へ住み替えする必要性は無いと考えられます。今の税高では、まず考えられないです。建物をつくるより、今住んでいる庶民が心から住みやすい様にするべきではないでしょうか。
- ・ これからは高齢者が多くなる一方です。皆さんが安心して住める地域づくりやコミュニティ施設などを希望します。もう少し住民の意見や行動などを聞いたり見たりするチームづくりをしてはどうでしょうか。一般市民からも要望をとっては。
- ・ 高齢化社会に向けて行政効率をあげるためには必要かと考えますが、生活のバランスが必要であり、子供、親、高齢者がバランスよく生活することが大切だとおもいますよ。買い物する商店、みんなが憩うことができる公園、近くへ（近所）移動できる（安全に）手段が十日町市の規模に見合う設置でなければなりません。それを模索して行かなければと痛感します。
- ・ 将来（今現在も）高齢化が進めば進むほど所得（収入）に対する費用が少ない方が望ましい。その意味では～才以上で家族の少ない、いない人は集団住宅に集まってもらった方が結果的にその人のためになります。特に自分で家事はできるが病気をもっていたり、家族がいても遠かったり負担になったりのため自活している人もいますが、個人でいて孤独死があり、社会のつながりが少ないため、ボケが早くなったりするといった事が多いようですので、1つの所に集まり、また、幼い子供や小学生のボランティアをそこでするとして、老いても寂しくないようにしたらと思います。中心地に老いた人が多くいても、若い人は自分で車を出せるのでどこへも行きます。つまり地元の商店を使いません。老人（年とった人）は、多少高くても顔を見るためにより合、知り合いに会うために歩くのにいとけません。（歩ける範囲内ですけど）P.S ジャスコ等は自前でバスを出しています

- から個人の自由です。だから雪ほりが簡単か、いらぬ、大きな家にみんなして住むのも1つの方法かなと思います。上記とは逆に若い人は孤（個）を求め家族（親）と一緒に住むのはイヤで、十日町は住人が減っても家の数が増えていっているみたいです。その人たちは雪ほりをイヤがり、町内に参加せず、（アパートの人みたいに）車があるので休日は車で市外へ行っているか大型店へ行っているみたいです。だから、本当に中心街をにぎやかさせたいなら大型店を減らし、中心地に1件のみにして、銀行、病院を隣接させ、人が必ず来る、来ざるえない要因を集めて（税務署、手続きをする所）を置くことだと思います。
- ・ 雪にお金がかかりすぎます。補助を広く行ってほしい。余り使われない箱物がいくつかあるのではないかな。維持費用だけでも税金がかかりすぎる。（キナーレ等）十日町病院を今以上に充実した医療施設にしてほしい。（県立病院又は市立病院での運営）
- ・ 屋根の雪処理の代金が高すぎる（人夫さん）町中に商店（個人）がなく不安が多い。コンビニ、スーパー等の閉店時間を早くする事により、節電、または若者の育成にもつながると思います。
- ・ 情報発信の強化、イベントの推進などソフト面の充実を図る。ハード面では駐車場の整備。
- ・ 吉田は店がなくなりスキーだけが冬場の楽しみです。集合住宅や病院等も考えてほしい。十日町病院はなくなる寸前なのではないでしょうか。前に進みません。街中は駐車場が少なく、市役所の方々の駐車が沢山の一般の人が止められない。冬は特に。
- ・ 住宅ではなく、もっと若い人達が楽しめる場所がほしいと思う。例えば映画、ボーリング等楽しむ人達はほとんど市外に出かけているが、中心地に広い公園があれば老人、幼児達が集まり、お弁当を広げたり、楽しめると思う。そんな皆が楽しめる十日町をつくってほしいです。
- ・ ジャスコ通りの充実より本町に力を入れてほしい。パチンコ店はもういらぬ、むしろ多すぎる。道路がボロボロなところが多い。建物の老朽化が進んでいる。大地の芸術祭で

いろいろな人が来るのにイメージが悪い。冬の芸術祭もやったらどうだろうか。

- お金があれば思い通りの住宅はつくれます。そのためには十日町市という自治体が豊かでなければならず（補償手当等の面）また、企業誘致をし、法人税を沢山取り込む様にはたらきかけなければなりません。十日町市の中の企業は給与面で他の地域に勝っていかなければならない。
- 市街地が賑わうのはいい事だと思うが、融雪、耐雪屋根等の対策もいいけど、家並みがごちゃごちゃ隙間のない町並みは見苦しい。集合住宅も景観を思うとイヤ。資金の支援というけれど、結局金のある程度ある人しか動けない。それより地区ごとに活性化できるようにすべき。一極集中は経費が浮いても良い事はないと思う。たとえば JA の A コープが統合の名目のもと、どんどん消えていって、足のない人達にとってはマイナスでしかない。（赤字経営だからだと思うけど）老人施設も結局は金ない人は行けない。つくっても赤字になる（入りたくても入れない）→施設へ市の補助金でカバーする→市の負担が増える→市の借金が増える→市民にツケが回る。
- 今年になり十日町市から複数のアンケートが届いて驚いています。「住んでみたい」、「住みやすい」まちづくりに奮闘しているみなさまお疲れさまです。「雪国でも安心して暮らし続けられるまちづくり」（旧田倉跡地）の事例紹介は当地域の多面的な問題解決を含んだ画期的な取り組みと評価しています。安全、安心を確保しながら高齢者が快適な暮らしができる方向性が見えてきたような気がします。先日、2040年の人口推計が出されましたが、当市人口は現状の70%ほどであり、少子高齢化が加速すると推察できます。今後、限界集落の増加に比例して、限界集落維持に係る一人当たりの行政経費は膨らみ、経費の限界判断が迫られる日が遠くないような気がします。一方で、中越地震の際に山古志では避難された住民の中で戻られたのは高齢者が多かった事例のように、精神的な基盤を築いて生きてこられた土地、つまり人とのつながり、田畑、四季折々の自然等生活が地域に根付いていることが実証されたものと思

われます。できた器の中に入れるのではなく、住む人がかかわるモノづくり、地域住民を主体とした、住民が答えを出す仕掛けを継続することが行政に求められていると思います。

- ①コミュニティの移転・維持：集落単位または複数集落単位で、例えば旧市町村を拠点として戸建集落または集合住宅を形成する。集落耕地は新潟の食、癒しを求める都市部住民と連携して、地主がオーナー兼農業指導者となり生きがい、喜びにつなげる。
 - ②雪処理からの解放（雪に係る生活コスト分散低減される集合住宅を成立させる）：高齢者にとり当地域の雪処理は明日の命をつなぐに等しいくらい重いものであると考える。除雪費用、命の見守り等限界集落行政コストと、そこに生活したい思いを秤にかけることは難しいが雪から解放を糸口に折り合いがつく答えがあると思う。
 - ③個々の自立性の確保の空間づくり：できる限り人の世話にならないで生きていきたい。拘束されず、指示されず。
 - ④衣食・医と生活・健康利便性の確保：人が健全に生活するうえで、不可欠と考えます。
 - ⑤合理的なコスト負担の仕組みづくり：誰もが納得できる行政支出と受益者負担。一世帯では大変だった生活コストが共同であれば負担軽減につながる生活スタイル。
- 中心市街地に住んでみたいと思うが、国道から1本脇に入ると建物が混み過ぎている。お金のかかることだと思うけど、キナーレや情報館の周りだけでなく、中心地の住宅地の区画整理を少しずつでも始めてほしい。1年や2年の計画ではできないことなので、数年、十数年でもいいと思う。30年後の十日町を見据えてほしい。子供たちのために。
 - 市街地の活性化は重要だと思います。が、そこが居住空間として提供される事には疑問を感じます。雪まつりやきものまつり等で賑わう場所ですから、景観を統一する等をして県外からいつも人が集まる様な街づくりをしてほしいです。今の計画では、箱物をつくるだけで終わると思います。
 - 超高齢化社会がすぐそこまで来ているのを日々感じております。1日も早い対応をお願いしたいことと、人生死ぬまで生きがいをもてる環境・整備を願っています。

- ・ 高齢化社会は待ったなしです。早急に手を打たないといけないと思います。

【若者支援、雇用創出など】

- ・ 老人よりも若者が住めるような街をつくらなければ、それで良いと思います。若い人、後継者がいれば、老人の不安がなくなると思っています。
- ・ 現在住んでいる場所で満足しています。中心市街地の構想は素晴らしいものと思いますが、私共はその前に①若者の住みやすい場所②職業、就職先がある事、それを第一に考えていただきたいと思っています。少子高齢化はこれからも増える事と思います。高齢者も第一ですが若者が残ってくれるような地域づくりを現市長さまに望みます。
- ・ このままでは老人の町になります。若い方々が心から住みたいと思う十日町をつくらして下さい。老人より若い方々が活気づくようにお金を使ったらいかがでしょうか。もう少し、先を考えてほしいです。
- ・ 子供夫婦たちと同居でき、なおかつ別々の暮らしができる二世帯住宅のもっと完全型を望むが、仕事、お金、その他種々の理由で、今、リフォームも決断できずにいます。先行きに不安がなく、若者も仕事があり、また、遊びもある。そんな希望が持てる政策を立案してほしい。市役所の職員の皆様の頑張りは認めますが、皆様の仕事は無駄が多すぎます。もっと効率化すべき件がいっぱいあります。もう少し、民間の効率的な仕事の進め方を真似してほしい。やる必要のない仕事を無理に前例通りにやっていたり、改善を申し入れても「前例がないので」と言われる。皆様が頑張っている割に評価されていないのは、なぜなのか、考えてください。減点主義ではなく、加点主義に変えませんか。
- ・ 若者や若いパパママ、子供がこの街にずっと住んでいても楽しいと思うような街にしてください。スターバックスを誘致してきて下さい。ファミレスがないなんて住民をバカにしすぎでしょう。それとも山に囲まれているからいろいろ諦めるというのでしょうか。住民をバカにしていると思います。

- ・ 高齢者が住むには十日町は最悪の場所です。無駄な所に予算を使わず高齢世帯者に。

- ・ 若人達の集まることを考えたいと思います。仕事です。
- ・ 高齢者向けサービスも必要かと思いますが、アパートやマンションに診療所など若い人でも安心して生活できるようになればと思います。また、通学、通勤にも不便をあまり感じないような中心市街地にしてもらいたいと思います。
- ・ 雪処理も大変だが、若者やUターン者の就職先がない。そのため、後継ぎもいなくなり、老人世帯が増えてしまうので、企業の誘致に力を入れてほしい。
- ・ 中心市街地への住み替え促進とは意味が良くわかりません。車社会で街中より少し離れていた方が、いろんな面で良い気がします。若者が戻って来られるように企業誘致等で活性化をはかっていただきたい。歩いてみたいと思う商店街、駐車場の充実。
- ・ 今現在は満足しているが、夫婦二人の家族構成が変化する事になると、家は老朽化しているため、一人で生活する事は出来なくなると思う。住み替え促進は老人を考えるより、若い人達が住みたいと思えるようにする事が大切だと思います。
- ・ 若い家族(夫婦)への資金援助をしてほしい。アパート暮らしの人も多い。十日町はいいところなので、もっとUターンIターンの人達を迎え入れるように対策をして活気づくように。
- ・ 子供がいる若い人たち10代~30代、40代がお金を使えるように、税金などの仕組みを考えてもらいたい。
- ・ 賃金のよい職場がないと、住み替えなどとても考えられない。企業誘致活動をもっともっと努力してほしい。
- ・ 後継者が皆東京の方に行っておりまして帰ってくる時がわかりません。今いる所から住み替えなくてはならないことになるかと思っています。(帰ってきてても働く所が)
- ・ 住宅の問題というより、十日町に働く場(会社)がありません。このままでは、人口減少、

少子高齢化がどんどん進むでしょう。何とかしてください。

- ・ 産業が充実し雇用が拡大しないと活性化は達成できない。箱物（高齢者向け集合住宅）は税金のムダ使い。計画を中止してもらいたい。
- ・ 若い人の住む条件は仕事があるかないかだ。十日町が駄目になった理由は織物産業を賃金の安い韓国や中国へ出して出織を止めた強欲のせいだ。もちつもたれつの周辺を切り捨てたからだ。経済界と政治が先行性のある人を育てることだと思う。
- ・ 働ける場所がないと何も考えられないし何も行動できないと思います。昔の様に市民み

【雪対策、雪問題など】

- ・ 雪国に住み続けるには、雪に対するハンディが非常に大きい。特に、若者は雪が多く仕事場のない地域には定住せず、どんどん転出してしまう。高齢者は融雪、耐雪住宅が必須条件。資金の補助や道路除雪、融雪システムの更なる向上を望みます。
- ・ 冬期間はどうしても住みにくいと思いますが、雪さえ降らなければ現在の住まいでいいですが、冬の屋根の雪下ろし、道路除雪等、雪による不便さを軽減していただきたい。町内の人口が減りつつ、子供が働ける職場を増やさないと老人だけになり、この先町内がなくなってしまうという問題。
- ・ 限界集落に住んでいます。冬の除雪、買い物の不便、今は車でできますがこれからの事を考えると先が見えません。行政の方での良い案をと望んでいます。よろしく願い致します。
- ・ 雪の処理に苦勞するので雪に強い住宅に住みたい。地震が恐ろしいので耐震対策。
- ・ 雪に対する対策、費用の支援があれば人は集まるような気がします。年配の方より、若い人（小さい子供がいる人）は、これからの人生計画を考え始める時期でもあると思うので、そういう人を対象にした取り組みが、効果につながると思います。
- ・ 雪処理等の問題が解決できれば、平屋あるいは2階建住宅が理想的。そのためにも周辺整備が必要だと思います。

んなが働ける様に第一に進めていただきたいと思います。私の家では全員仕事についていますが、その様な不安はいつも感じております。

- ・ 働く場所も少なく賃金も低い。そんな中でアパート代は高い。若い人は十日町に住みたいと思っても「住みにくい」というのが現状だと思います。今後、人口流出を防ぎ、若い人が十日町へ移住したいと思わせるまちづくりを目指すのであれば、まずは働く場所の確保、家賃の支援、そうしていただくと「住みたい」という気持ちになります。
- ・ 十日町市はアパート代が高すぎる上に仕事が少ない。

- ・ 状況が許せば雪の降らない所へ引っ越したいという人はたくさん存在していると思います。雪は降るけど、十日町に住みたいという仕組みをつくってもらいたいと思います。
- ・ 高齢者にとって少ない年金では何も行動できない。豪雪の年には特定の人だけが手当てを受けるのでは不幸平である。雪は全体に降るのだから、市民一人一人に（例：2万位）手当てを出し、雪対策を支援すべきだ。業者の仕事振りをよく調べて支払すること。モニターの創設必要。
- ・ 近所にも高齢者が多数います。その者は、この大雪に大変苦勞しています。私有の除雪機などで除雪を手伝っていますが、手がたりません。行政の支援が可能かは知りませんがこのままだと手に負えなくなります。高齢者や子供達のため、歩道の整備を行っていただきたい。
- ・ 高齢になって一人または二人だけで生活することには、冬の雪対策を含めて不安があります。
- ・ 雪が多く降るので、年と共に一人では住めない土地だと思います。先を考えています。
- ・ 70才代を中心に老人または1人住まいの方は不安と除雪等の経費で年金生活に限界のようです。私の近所にすでに8戸の内3戸がそうです。特に冬場の除雪には私も3戸もの世話ができなくなってしまう。

- ・今年度、屋根の雪おろし9回しました。高床式の3階で、雪おろしが終了するまで事故がない事を案じています。(主人70代)流雪溝設備があれば雪の処理が解決できるのにと毎年思っています。年金生活となります老後の事を考えるとマンションもいいのかも考える事もあります。今まで税金はしっかり納入してきました。市民のために無駄なく活用していただきたいと思います。
- ・融雪装置(屋根)を使用しているが、支払った(冬期間)金額の何%かだけでも、補助していただけるととても助かります。
- ・除雪(道路)の無料化。問13の7と1をやって下さい。昔のように楽しみがなくなった中心市街地には、ずっといたくありません。子供達ももどって来たがりません。
- ・年齢的にますます1戸建てを維持していくのがたいへんになっていく。税金、雪おろし等負担軽減を望みます。
- ・年齢が上がると、とにかく雪の処理が一番の悩みになると思うので、支援の拡充をお願いしたいです。
- ・雪に対してお金がかかり過ぎ、何らかの対策を検討してほしい。(補助金等)
- ・除雪に関して費用を助けていただきたいと思っております。
- ・夫婦が60才以上になり、雪おろしや雪消しが大変なため、融雪屋根の利用の支援が出来るようになれば。
- ・雪処理による燃料費などの負担や労働にいいアイデアがあると住みやすくなるのではと思います。
- ・雪対策の融雪屋根の支援を強く強く望みます。年齢が高くなってくるため。
- ・家が古く今後どうしていったらよいかかわからない。雪が降ると除雪も大変だし、車が通るところまで雪を除雪しなければならぬ。もう少し町が雪に対しての援助を行ってほしいと思う。
- ・融雪屋根の支援の拡充を切にお願いしたい。
- ・十日町は他の市町村と比べ賃借アパートの家賃が高いです。高すぎです。職場が十日町市でなければ、十日町市に住みたいとは思いません。今のアパートは、流雪溝があって大変便利です。以前住んでいたアパート(妻有町)はそれがなく本当に悲惨でした。でも、今のアパートは屋根から雪のかたまりが落下してくるので雪対策がしっかりしている住まいは大事です。
- ・雪国は雪処理をどうするか、費用、人力などの問題を解決しなければ快適に住めない。住居は縦型にするのではなくてドーナツ型(トンネル型)の2階建てにして中心に庭園とドームの四つに共用スペースをつくるのがいいと思う。ドームトンネル型は雪に強い事と高齢者が輪状住宅の中で暮らしたら孤立感がない。
- ・自然落下型の住宅に住んでいますが、高齢化や大雪のため、除雪作業が困難になってきています。今後は住宅の周りに井戸水で融雪を考えています。ついては補助金の支援をお願いいたします。
- ・住宅も融雪屋根にしたいのはやまやまですが、資金も高く、年金暮らしではとても無理です。私たち、今一番の心配は体の具合が悪くなったときです。老人施設の安いところに早く入れるようお願いいたします。
- ・豪雪により年老いて先行き、子供達も帰らないとなると本当に心配です。できればこの場所に居たいのです。でも毎年雪との戦いでこの先自分達で除雪できなくなると思うと不安がいっぱいです。四季の移り変わりのきれいな十日町が大好きです。
- ・夫婦共に90歳に近いため冬の雪対策が一番悩みの種。人の世話にならず今迄頑張ってきたが、体力も限界に達した。今更外に移ることもならず、このままここで骨を埋める覚悟。
- ・十日町市は雪祭り等、雪を名物として売り物にしていますか。住んでいる老人にとっては困難なことばかりです。除雪の補助等願えれば幸いです。例えば屋根融雪も一部分の場合も該当してもらえたら嬉しいです。既設も含めて。
- ・中心市街地に住んでいる人から、屋根雪の落とし場所のことで、隣家とのトラブルの話をよく耳にします。問13の⑤にあるように融雪屋根に対する支援は有効策だと思います。
- ・現在融雪屋根ですが、高齢者関係なく、灯油代としていただけたらありがたいです。

- ・ 夫婦 2 人、あるいは一人で住むには 2LDK 位の広さで十分であると思われます。盆、正月には子供達が泊まりに来るためには現在の大きな間取りの家が必要である。しかし、融雪にする資金も無く、屋根雪処理は行政の支援に頼らざるを得ない。
- ・ 中心街に大型の月極駐車場（屋根付）があれば、中心街にも住んでみたいと思いますが、やはり雪処理が一番大きな課題だと思います。本町や駅通り、コモ通りは無料の駐車場をいくつか設置すれば、今よりも集客力がUPすると思う。
- ・ 市街地は雪の対策が重要であり、道路の整備が伴わなければならない。車を使わなくても生活が完結できるよう。商業や医療の集約が必要である。
- ・ 矛盾した回答ですが、何の不満もないのですが、ただ冬の雪捨て場がなく、困っております。何とかしていただきたいと思います。
- ・ 雪国でありながら、道路・住宅は安心して住める状態にはなっていない。年々大雪等に困り、十日町以外に住みたい人が増えていると思う。
- ・ 中心市街地は豪雪地帯であるのに、道が細かったり、雪捨て場がなかったりで、郊外へ転居する人もいる。費用対効果の面で大変であるが、道路幅は難しいかもしれないが、雪捨て場の確保等、雪の対策への支援が必要なのではないか。中心市街地に昔住んでいた人は、雪で隣人とけんかになったと言っていた。
- ・ 家の前に流雪溝が欲しい。
- ・ 毎年のことですが、雪が降ると屋根の雪下ろしが大変になり、落下式にして井戸でも掘って、とか可能にしたいのですが。
- ・ 雪の処理に困っている。雪のあまり降らないところがいい。
- ・ 夏は車の出入りは良いが、冬が大変。圃場整備で水の流れが変わり、雪消しが大変。消雪ホースで雪を溶かしているが間に合わない。融雪屋根に変えたいが、お金がかかってなかなかできない。平等に融雪屋根用のお金を支給してください。
- ・ なんとんでも雪対策が第一。
- ・ 雪国の住宅（雪に多雨する負担）処理、融雪屋根の灯油の高騰・負担。
- ・ 消雪パイプを入れてもらいたいです。
- ・ 共働きの場合、平日の雪処理が困難なため、午後 5 時以降にも流雪溝に水を流してもらいたい。
- ・ 現在住んでいるところは雪の問題で大変です。私たち老夫婦はこれから先、どうにもなりません。屋根の雪下ろしが大変です。いずれ、二男のところへ世話になろうと考えています。
- ・ 雪対策と融雪屋根が無料または少額ならば、子世代が同居可能という。中心市街地に無理しても、一戸建て二世帯住宅を実行したり、可能性大きい（子世代は上越・アパート住み）
- ・ 住宅はほぼ中心地にあるので買い物は便利です。しかし冬の雪処理に関しては、毎年本当につらいです。大屋根は融雪ですが、大雪で、屋根の先端に雪が流れてたまとトユをだめにするので始末する（小屋根に落とす）。小屋根の雪下ろしは、周りに処理できる場所はありません。流雪溝からは左右とも遠い。何回も運べない。つまり、流雪溝はなく、消雪パイプの水だけが頼り。でも時々止まる。お隣宅にひとかけらでも落とすことは許されず、お隣さんがベニヤ板を雪の中に立て掛ける（毎年積もると）。従って、雪庇が落ちる前に毎日毎日小屋根に上がり、お隣に迷惑をかけないように（屋根からはみ出さないように）雪始末をする。今年もつい先日まで行ってきた。小屋根に先端の雪を逆に上げる。これが仕事です。私は 64 歳になりましたが、いつまで続けられるか不安になります。お隣さんに「雪を落としたり一言云え」と言われ、自分で落とすことなど一度もない、大雪で雪庇が落ちないように努力しています。しかし「こんな近くに建てたが悪い」と言われる。我が家より後からできたお隣さんでも、代が若手になるとはっきり言われる。年は取りたくないものです。
- ・ 夏場はあまり不自由しないが、冬、雪が降ると今は健康で雪処理はできるが、将来が不安。
- ・ 流雪溝等の設備を整備してほしい。
- ・ 市内の住宅密集地は冬の雪処理（屋根、家の回り）が一番困っていると思う。
- ・ 雪処理に悩んでいます。

- ・雪処理対策（屋根、生活道路）を一番考えています。
- ・融雪屋根住宅です。20年近く経過しているのですが、古いことも考えられますが、電気料+灯油代が月10万ほどかかります。これから年金暮らしが始まろうとしています、不安です。
- ・家が密集していると雪のやり場がなく、流雪溝もない所には行きたくないです。
- ・わざわざ市街地に移るとなれば、雪の心配をしなくて住んだほうが良いと思います。
- ・雪の少ない地域のマンションに住みたい。
- ・除雪にかかる費用が多すぎて困る。昔からの本家、付き合いが大変すぎる。
- ・一人暮らしは雪の除雪が大変。できれば雪の心配のない所で住みたいので。
- ・雪で苦労しているのでも雪のないところに住みたい。
- ・現在市街地に息子夫婦が住んでいます。時々行って見ますが冬の除雪の大変さを感じます。近くに病院、駅などが近いために便利な所もありますが、自然に親しんできた私はとても住みたいとは思いません。
- ・年齢を考えると、だんだんと除雪が億劫になってきます。でも逃げられません。処理に対する支援が、だんだん必要になると思います。それ以外は暮らしやすい場所だと思います。
- ・雪の多い地域のため、雪対策の支援を積極的にやっていただきたい。
- ・今の所で住み続けたいと思っていますが、雪処理にとっても困っています。千手ですが中央町の場所だけ側溝に水がいっぱい来て、私達の所には全く流れて来ません。水が来るようにしていただきたいのでこの紙面を借りてお願いいたします。
- ・雪処理で大変だったので流雪溝対策を考えてほしいです。
- ・6年前に縁があって丸山町に住んでいます。雪対策（流雪溝）があり定年退職で家にいる事もあり、それまで住んでいた所からは想像を超える快適性を感謝しています。雪国であって区画が恵まれて流雪溝1日1回、もっと宣伝して欲しいと思いますし、他でも流雪溝があるのに週に1~2回という所もあります。
- ・せめて1日おきとかそうすると雪国であって住み良さが出てくると思います。
- ・問8の③の不満について。家の前の流雪溝の蓋が開かず不幸。歩道と車道を分けるコンクリートの車止めのようなものが狭い出入口にあり不幸。かえって危険。どちらも問い合わせたが、改善不可能と言われた。
- ・冬、消雪パイプが出ない日があるので流雪溝を入れてもらいたい。（高山302-4）
- ・私は、今70才ですが、これから先は子供達と過ごす時間はほしいものです。雪対策が1番大変です。夫は73才です。これからはとても心配ですね。冬は隣同士で気を使いとてもつらいです。
- ・雪対策の重視をもっと願いたいです。
- ・冬の除雪について考えます。地域によって多少の差はあるでしょうが雪による外出の困難はすべての人に同じ訳で、少しでも快適な冬の生活を送れる様考えて欲しい。
- ・消雪パイプがほしい。
- ・資金がない者にとって、どうすればいいのかわからない。雪の処理の事が一番困る。消雪パイプ、流雪溝など全然ない所に住む者にとって不安だらけで何とかしてもらいたい。
- ・自分の居る所は、道が狭く雪が降ると、雪のやる所がなかったりして困る。
- ・やはり雪のかたづけ。お金をかければ雪を消す事はできますが、収入が安定しない中でなかなか大変。
- ・ここ数年来の推定外の大雪続きで、自然落下式家屋は好むと好まざるにかかわらず、自己の敷地を越えて、直接、道路や隣接地に落下し、除雪、排雪費用が嵩み、敷地の増設、防雪柵設置等、新築申請時の配慮にも対策の必要が生じるでしょう。
- ・雪地獄。父祖の地なれば住みつづける。
- ・雪国のため、雪処理の心配が有ります。立地条件が良いので現在地に建替えました。バス停の近くで通学、通勤に便利でした。
- ・この地で良いが冬の除雪が中々出来ないのでも、せめて県道沿いに住みたい。業者さんは一生懸命にやってくれていますが、多く降った時は、午前中道があかない時もある。高齢家で戸数も少なくなり不便。
- ・雪国なので、除雪、融雪の費用が大変である。

- ・冬の除雪に対する負担は大きいもの。生活の便利さを求めてもそう簡単には住まいは変えられないのが現実です。
- ・若い人達が日中、雪片づけをやってもらえないため、毎日家や車庫の所は何回となくやらなければならないので、疲れてしまう。春が待ち遠しい。
- ・歩道の除雪の管理。1日1回の除雪なので、多く降る時は、1日数回個人で行わないと通行人が歩けなくなる。
- ・雪国の地域に住むため、どうしても雪対策が絶対に必要だと思う。現在十日町市街地では流雪溝、流水が長年実施されており自分の住んでいる地域では流雪溝に早期、流水が出来る様、切に願っています。
- ・両親が歳をとってきて、雪処理に苦勞しています。現在住んでいる家は築40年で耐震性が無いと思います。このことから、数十年後には自分たちが十日町市内に住んでいない可能性があると考えています。十日町に住み続けるには、とてもお金がかかります。
- ・積雪が多く日々の生活が大変で、雪の無い所で暮らしたい。
- ・子供が独立し、老人中心の世帯になると、家屋雪や道路除雪問題が深刻になってきています。昔から住んでいる土地を捨てるのは勇気がいることです。しかし、夫婦二人きり、もしくは一人きりになった時、アーケードのある、もしくは、その近くに移り住むという選択はあることだと思います。頑張って実現させてください。
- ・我々年齢が増すにつれ、雪対策について負担増となってきました。高齢化する十日町に対し、雪対策（除雪）など重点的にお願いしたいと思います。
- ・現在私は川西地区で豪雪地域でございますので、流雪溝の全地域の完備、消雪パイプの完備等少しでも雪に対する充実性を考えて下さい。
- ・両親が高齢、自分が年を重ねるごとに除雪が苦痛になってくる。できれば老後は雪のない所へ引っ越したい。
- ・若い人の職場が家から通えるところにあれば、豪雪地ならではの屋根雪・車庫前の除雪、年々つらいものがあります。
- ・冬場の雪が一番困る。落下式屋根のため、片付けや除雪、がん木があるため、雪掘りもだんだんとできなくなる。町の中のように流雪溝があると助かります。雪の捨て場がなく大変です。プロに頼むとお金が高くなるので。
- ・若いうちは除雪もなんのそのでしたが、定年した今は、雪はネック以外の何ものでもありません。2度目の定年を迎えたら雪のない生まれ故郷に戻りたいと考えています。
- ・消雪パイプ、流雪溝、屋根融雪等完備でき、雪処理等不安なく健康であれば夏は家庭菜園を楽しみたい。
- ・現在消雪設備がないため、毎年業者に依頼しております。今後新規消雪設備、設置可能か検討下さい。
- ・中心市街地にかかわらず雪対策をしっかりとしてほしい。
- ・3年続いて雪処理ほんとうにまいりました。
- ・雪の心配がある、高齢者には住みづらい。
- ・問12で「住みたくない」に丸を付けました。高齢でもあり、長年の近所との付き合いなど考えると、住み替えは簡単にはできないと思います。豪雪地ですが融雪等は経費も多くかかり、高齢では収入も少なくとても出来ず、自分で雪下ろしをしています。そのため住居の周りに余裕がある所が必要ではと考えます。
- ・冬は屋根の雪掘りをしなければならず今後の位まで家の維持ができるか心配です。
- ・雪の処理にお金がかかる。将来にわたって学習できる環境にないと思う。
- ・中心市街地に限らず、十日町市は冬期間の雪対策に苦慮している。市としても対策、支援をより充実させていただきたい。
- ・あまりにも雪の多さに困ります。行く所も無いし春になればまた生きて行けます。
- ・道路消雪パイプの排水が平均に流れず、住宅前にはどっさりと雪の山が残る。誰に相談したらよいのか。高齢になったら、降雪時、スコップを持たずに過ごせるように雪対策を何とかしていただけないものか。流雪溝もなく。雪の少ない土地に住みたい。
- ・雪の労力のない所がベスト

- ・ 冬、除雪に大変な労力とお金を使っているの
で一軒家でも除雪をしてもらえる市に移り
たい。
- ・ 毎年の事ですが、雪対策。
- ・ 雪対策に尽きる。
- ・ 雪は隣人とけんかになり、一生根に持つ。
- ・ 冬期の国道の除雪で、消雪パイプや消雪のた
めの水の流れが悪いために、国道が思うよう
に安全に歩けないので、歩道を充実してい
だきたい。
- ・ 賃貸アパートで良いから雪の少ない所にす
みたいです。
- ・ 消雪パイプの設置がなく冬場は道路除雪の
労力が大きい。
- ・ 雪下ろしの屋根、油代が高すぎ。融雪の設備
をしたので。屋根の雪下ろしをしている家を

見かける。早く安く安全な雪下ろしの設備が
出来るのを待っています。

- ・ これから先、毎年大雪になる様であれば、こ
の地には住みたくない。春から秋、雪降るま
では、とてもいい所だと思いますが。
- ・ 毎年、雪対策で悩んでいます。
- ・ 雪対策資金の支援。
- ・ 雪国の悩みはやはり除雪の心配のない事
ですね。年寄りには無理です。
- ・ 老人世帯となり雪処理が大変になってきた
こと（屋根は融雪有）
- ・ 雪国ならではの雪の処理にあつて、一方的に
補助金を偏らないやりかたにすべき。雪のや
り場がなく、高齢を考え耐雪型にしてもお金
はかかります。その点を考える事。

【既存住宅等の処分について】

- ・ 同じ市内に住み替えの時、古い建物の処分費
用の補助、また、利用できる場合は再利用の
促進情報の発信等、情報集めや発信に力を入
れることで、災害時の被害の軽減につながる
と思います。
- ・ 中心市街地への住み替えを望んでも、集落に
住んでいる者は、代々からの土地、家、墓な
どある者が多数なので、その処理をどうする
かが問題になります。これに対する対応策が
具体的に無ければ、無理ではないでしょうか。
- ・ 実家が中心市街地にあり、そのまわりに所有
している土地があるのですが、利用活用がで
きなくて困っているのですが（税金などの支
払いが大変なため利用活用して収益にしたい）
アドバイスがほしいです。
- ・ 今現在は住み替えについて考えてはいた
ませんが、今後年を重ねていった時に、雪処理や
買い物等の生活の利便性を体力的に大変に
なった時、既存住宅を処分する資金の支援が
あれば、住み替えを考えるかもしれない。（そ
の時になってみないとよくわからない）

- ・ 土地の処理、固定資産の処理、住宅構造上の
問題（経費）が高すぎる。節約しても追いつ
かず。
- ・ 移り住みたい場所は、上越市（長男がいるか
ら）でも、今住んでいる家を壊すにもお金が
かかりなかなか思う様にいかない。ここ3年、
大雪が続く 65 才の今、これからどうしてい
いかわからない。
- ・ 古い住まいを、壊したいけど金がなく出来ま
せん。
- ・ 自営で店舗併用なので、この先商売を止める
時、家が大きすぎ、処分に費用がかかりすぎ
るのが悩み。
- ・ 今住んでいる家を売却したいのですが誰か
買ってくれませんか。
- ・ 夫婦 2 人で住んでいますが年齢も 72 才と体
調の変化が少しずつ見えて来ますので、今住
んでいる家と土地を売って子供（新潟）の所
に行きたいと思いますが、現在は土地が安い
ので売りに売れず考えている所です。

【今のままでよい】

- ・ 中心市街地に若者や高齢者向けの集合住宅
ができることは、価値あることと思いますが、
私自身は、移り住むということまでは、現時
点では考えていません。
- ・ これから 10 年後にどの様に考えるかは分か
りませんが、今の状態で過ごせるよう努力し
ていきたいと思っています。住み替えは考え
ません。

- ・ 車で移動が出来るのであれば、現状の方が住みやすいと考えます。住み替えすること自体ものすごい労力を要するため、持ち家がある者にとってハードルが高い。
- ・ 今、住んでいる所は、何もなく見渡せば山ばかりの所です。人から見れば不便な所に見えるかもしれませんが、車があるので買い物にも病院にも行くことができ、バスが通ってなくても不自由ではありません。静かで、四季折々の景色を楽しんでいます。町場では雪の事でけんかがあると聞きます。人が集まるとコミュニケーションとるのが大変そう。
- ・ 現在の住まいにお迎えがくるまで元気で住んでいたいです。住み替えの気などありません。
- ・ 自然豊かな此の地に住むことの幸せを感謝しております。
- ・ 今、住んでいる所は、環境も良く車の運転も出来るので買い物に行くにも時間もかからず便利な所です。町中は冬の雪対策が大変だと思います。
- ・ 年齢 81 歳、答案にはならず失礼します。私本人は、現在生活に満足度 100%です。
- ・ 住み替える気はありません。
- ・ 平成 23 年に新築したばかりです。
- ・ 雪国でも良い。この町、市に住みたい。
- ・ 今現在、住み替えたいとは思っていません。そのときが来たら、何とかして欲しいと子供達に頼んでおきます。
- ・ 今住んでいる所が一番。
- ・ 地域性を重視しているため、市街地中心に住み替えするつもりはありません。
- ・ 問 13 が全て丸ならばすばらしい住宅と思うが、今、家族と住んでいる家がある事。1 番の問題はお金と思う。毎月の年金分で住む事が出来るなら考えられるが。出来る事なら最後までこの家に住み、この家で終わりたい。
(何とか体が動けばだが)
- ・ 2人共(夫婦)80才近くなりつつありますが、今の所不自由なく(屋根雪は福祉の方にお世話になっております。)過ごしておりますので、1日でも長く現状を維持して暮らして行きたいと思います。
- ・ 住み慣れた家にいつまでも住んでいたい！と思います。除雪策や市バスなどいろいろ問題もありますが、少しの不便は今の所は家族が多く元気であるため対応できています。今後 10 年後の不安は多くあります。
- ・ いまは、まだ自分の事も友達も多くいますので、この地が一番良いと思いますが、もう少し年を取ると考えが変わるかも知れません。何しろ冬の雪には、いまでも大変に思います。二、三ヶ月どこかに行きたくなります。
- ・ 住み替えは(現時点で)考えていない。
- ・ 将来家族構成で1人暮らしとなった時は集合住宅への入居も考えたいが、当面は畑もできる現在の場所が最適と考えている。
- ・ 現在住んでいる所の助け合いやふれあい、行事等に満足しているので、他の地所への移動は望んでおりません。
- ・ 後期高齢者には冬期間の雪おろしは重労働ですが、住み替えをするつもりは現在のところありません。
- ・ 住まいについては問題ありません。(私共も年を取ってしまいました。十日町病院に良い先生方をお願いしたいと思っています。)
- ・ 現状で満足。
- ・ 息子が群馬の方にいるので、いずれは行くことになるかもしれない。できればこのままここで終わりたい。
- ・ 病院通院歴 12 年の私にとりましてと徒歩 10 分で通院できる現在地を替えようとは思っていません。

【その他感想等】

- ・ 今は夫が健康で働いてくれています。私はその手伝いしかできていませんが、なんとか税金も滞りなく支払って毎日の食事にも気をつけて暮らしています。しかし、将来の事を考えると私1人ではとてもこの地に住んではいけないと思っております。この問題は自分達自身で決めて行かなければいけない事ですが、私の気持ちの中では不安材料となつてのしかかってきています。

- ・ 高齢者ですので、残り少ない人生をゆっくり過ごしてみたい。
 - ・ 高齢なため将来が不安ばかりです。
 - ・ 現在のところ家や居住地について満足しているので住み替える気はありません。今後、年を取り、身体が思うように動かなくなった時の雪処理などが心配です。「跡取り」が家族ともども居ないので。
 - ・ 今近所で老人2人、老人だけいずれそのうち我が家もと思うと考えさせられます。妻なし子供1人老いた親2人頑張るしかない今の生活、長岡、新潟へ引っ越す事も何度もありました。(考える事)十日町へ住む事、今は考えられません。不便すぎます。
 - ・ 50代、60代、80代の3人暮らし、毎年続く大雪の除雪疲れで接骨院や病院にかかり始め、この先の生活に不安を感じ、雪のない所に住みたいと思うようになりました。現実にはどうかと思いますが、男手がなくなったらと本当に不安です。
 - ・ 夫婦二人暮らしです。雪掘りがこれから先負担になっています。老後の事を考えますと不安ですので、子供の近くに寄り住む事も時々考えます。
 - ・ 高齢になり自動車の運転もできなくなり現在住んでいる処は最悪。十日町の駅通りあたりに住みたいけど夢です。
 - ・ 今75才老夫婦で暮らしていますが一人になった時の事考えると心配です。
 - ・ 高齢で一人暮らしになった場合、住んでいる家をどうしたら良いのか悩んでいます。雪さえ降らなければと冬になる度に考えます。(住み替えたくとも資金がありませんので)
 - ・ 将来介護が必要になり、自分で運転ができなくなれば、下条はバス利用も利便性が悪く(一時間に何本も通らない等)便利な中心市街地に住めれば安心だと思うが。年金暮らしでお金もなく、やっと毎日を暮している身では、動きようがないです。どこに住んでいても上記のような心配が少しでも減らしていただけたら嬉しいです。
 - ・ 十日町は家賃がとても高く、アパートなど入れません。安いところに目星をつけても学校の教師が入っていて、転勤になってもまた赴任する教師が入るなどで、一般に回ってこ
- い、などあります。公的に公務員宿舎など点在しているのに、灯りのついているところは少なく思えます。低所得でも入れる3~4万円くらいの家賃のアパートを増やしてほしいです。
 - ・ 出来るだけ便利な場所で生活したいと思うが、賃貸の場合、賃貸料が問題です。良い建物ができて高年齢者、低所得者の手の届かないものではどうかと思う。
 - ・ 今のアパートに決めた理由は広さと学区と家賃です。でも中心市街なので母子家庭の私に選べる選択肢はありません。無職で収入が0でも市営住宅に落とされました。家賃が高いので常に転居は考えていますが、そのお金もありません。逆に何かしたいのですが。物の値が上がっても私の収入は増えません。もう少し母子家庭の事を考えて下さい。十日町はとても住みづらいです。
 - ・ 十日町市は全体的に賃料が高い。もっと安くしてほしい。新潟県内の他の地域にくらべ、賃料が高く、雪が多いのに車庫がついていないため、仕事がこちらにならない限り、住もうと進んで思えない。
 - ・ 十日町の借家は無駄に高すぎる。もっと安くしないと十日町の人口も減っていくと思う。どんどん廃れていくと思いますよ。
 - ・ 今の土地を離れる気持ちはありませんが。築が古くて新築はしたいと思ってはいますが、現実には甘くないです。生活が苦しいのが現状なので、とても現実にはならないと思います。悲しい限りです。
 - ・ 長年住んでいると次々壊れるところがあるので維持するために直したりしないといけなくて資金がかかり生活が大変です。収入が少ないのに税金とりすぎでは。
 - ・ 土地は価格が高いからなかなか難しい。中心地辺りはあまり市営など格安物件が少ない。
 - ・ 住み替えたいですが両親の介護や自身が高齢になって来ているので金銭面などの理由で無理です。
 - ・ 駅周辺の西部地区に家を建てたいと思うが、土地が高すぎです。これでは手が出ません。
 - ・ 年金生活が近づいているので、家もなおさなければガタガタになっていますがとても今

の生活ではできないので困っています。何か良い案があれば知りたいです。

- ・ 所得と住居（家）価格が釣りあっていない。平均年収 300 万で 3,000 万の家は無理。
- ・ 雪の降らない（少ない）所に住みたいが、資金もなくどうにもならない。末路が心配の限りです。
- ・ 買うにしても借りるにしても、高すぎると思います。
- ・ 資金がなければ住み替えができません。
- ・ 中越地震以後、住宅の建て替えなど考えていますが、資金面で難しく、このまま住み続けなければいけない状況にあります。十日町の景気が良くならない限り住宅を建てるのは、無理のようです。
- ・ 現在の住まい建築時に将来（子供が出来た時の）設計まで考えず（＝子供部屋構造）つくりました。この先、子供 2 人の部屋の確保、また、それに対する資金の備えにも気持ちが重いです。問 13 の解答で 3,4 項目に○をつけた。支援拡大に期待します。
- ・ 築 60 年ほど経過しているので建替えたいが、収入が伴わずできずにいます。冬の雪下ろしも業者に頼んでいるので大変です。低収入者でも建てられる安い家があるとうれしい、費用の補助等受けられると良いのですが。
- ・ 温かく快適な家で過ごすことが出来ていまずので、十日町市でも雪の少ない所というあこがれが無くなりました。住宅は、時代に合せて、住みよい設備等を利用されやすい様に資金支援の制度を希望します。
- ・ 古い家をリフォームすることは自然にやさしい事なので補助金などを出してほしい。
- ・ 昨年の 12 月に中古住宅を購入しました。新築にくらべ中古住宅に対しての助成金などが少なく思います。非常に残念です。リサイクル、リユース時代なのに、もっと我々の様な中古住宅購入者が優遇されても良いと思います。
- ・ 中越沖地震や長野県北部地震などにより、家が大部傷んでいるので資金があれば直したい。
- ・ 住宅の取得や改修などのための資金の支援。
- ・ 十日町市は他地域と比べると公租公課が非常に高い。固定資産評価の適正な見直しで豪

雪地でも（耐雪型、鉄骨造等で固定資産税を多く支払い不公平感がある）経費を削減できるように、安心して生活できるようにしないと、人口が減るばかりだと思います。

- ・ 固定資産税を安くしてほしい。
- ・ もっと有効に税金使ってください。とてもとても住みにくい町です。早く違う所へ行きたいと思っております。
- ・ 雪対策は現在できている。車も運転できるので、健康なら今後 10 年はここに住みたい。その後は老人施設。有料でも良い。十日町の中心に住みたい。
- ・ 松之山では若い人が少なくて、老人過程がほとんどで、年々減るばかりで、それが一番淋しいことです。働く場所があれば良いけど、若い人も大勢になって活気があるけど、外に出てても人の姿が見えないことが残念です。
- ・ 中心市街地への住み替えを昨年考えていたのですが、夫婦でとめられる駐車場がなく、あっても冬場はダメとか家賃が高すぎるなど、子供が小さい家庭向きではないと考え、街場から下条地区へ出てきました。雪国なのに雪の捨て場に困るとか、車社会の新潟県で、車が 1 台しかとめられないとか、雪国の借家は、矛盾が多いなと思います。次に別の所に住むと考えるなら、市外を選びます。
- ・ この十日町は、住みやすい町とは言えない町だと思います。物の物価は他の町と比較して高いと思う。仕事あまり無い。所得が少ない。今のままだと十日町は、人口の激減につながる様な気がします。
- ・ 自分の家はもう 45 年以上たちます。この災害に対しても、自分なりに家を大切に手入れし、少しも今の新しい家と比べ劣っているとは思いません。古い家でも手入れをし、大切にしていけば、立派な住まいとなって今も活躍しています。新しいものも良いですけど、古いものにも目を向けて、活用していただきたいと思います。今の人達はふるさとを求めていると思います。昔のふるさとを心やすらぐふるさとを、ぜひ古い物に目を向けて下さい。
- ・ 障害者で無職のため、全てのことが夢物語です。

- ・長い冬期間、道路除雪が今のところきちんとできているので、現在の体制が続く限りは現場所に住んでいようと思う。しかし一人暮らしになった時のことを考えると住んでいけないと思うので、施設整備されたところに集合住宅があれば入りたいかも。
- ・住み替えは資金も必要だが、住み慣れた土地を離れるのはなかなか年齢的に決断できない。
- ・希望は色々ありますが、年が年ですので動かせません。先立つ物があまりありません。今の所でいくのを待つばかりです。ほんとに皆様にお世話になってすみません。今月、4月5日で89才になります。
- ・今はこの場所とても気に入っておりますので、住み替えの事はまったくその気はありません。それより今の家の建て替えの時がくる様でしたら出来るだけお金事やらあらゆる面で無理をしない様に事を運ぶ様に出来ればいいなあと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。最後に、毎年冬にあたって1番の悩み、そして苦痛感 腹立たしい事をお願いしたい事があります。それは除雪をしている重機の運転手の事です、毎年の様に私の家の土台を壊してくれます。壊している本人はただ直せばいいと思っているみたいです。毎年冬がくるたびに、また眠れない事がたびたびあります。土台に重機を当てられるため家が揺れたり、おまけに音が響いたりして本当に迷惑させられています。人の家に嫌がらせしたりする人もいます。(数年1度)今も続けています。どうかこの様な事が今後なくなります様に願いたいものです。よろしくお願い申し上げます。
- ・昨年7月新築、屋根は太陽光発電、冬は電気融雪で今年の冬は本当に楽でした。ただ環境面で気になっているのが、豚舎の匂いです。近所の山側にあるのですが、夏場はすごいです。私も何年か調査しましたが、なかなか解決できないようです。なんとか良い方法はないのでしょうか。
- ・子どもは帰って継いでくれない、現在のままの家でなんとか過ごしたい、車の運転ができなくなって、毎日の買い出しができない。雪の始末、囲い作業をしてくれる人がいない、将来が不安。心配がいっぱい。医療、福祉も心配の種です。
- ・危険な建物が近くにあり、いつ崩れるか心配であること(地震等で)。遠方には大型スーパーや電気、雑貨店等多くあるが、街中には安く売っているところはナシ。老人になって、車を運転できなくなって、下島までは行けない。結局高いものを買っている(バスが週何回か出ているようだが)
- ・主人や自分が年をとり車の運転が出来なくなってきた時、歩いてお店に行ける中心市街地に住みたいと思いますが、今からの住宅取得は絶対無理だし、屋根の除雪など不安だらけです。車が必要不可欠な地に住んでいると、先を考えると心配でなりません。
- ・多方面からの設問等、本当に当局の積極的な市勢発展にかける意欲が問われて十日町市の展望が開けるようで心強く今後の未来が大いに期待されます。どうぞますますのご尽力と市勢発展を心から期待しております。少しでも参考にさせていただければ幸いです。
- ・皆、一生に一度の大きな買い物として家を建てているのに、一時の市政や国から多少の補助金が出るからと言って、引っ越ししたり出来る訳がない。考えが安易過ぎて中心市街地活性化事態に賛同できない。
- ・問12-2は、50才以上全員を対象にするなど工夫が必要です。私はできたら、年齢別にまとめたら良いのにと思いました。このアンケートを上手く考察して下さい。申し訳ありませんが、質問の書き方が大変わかりにくく困りました。Dの質問の後に問13の上には()内に全員の方にとあります。もれなく書こうとすると、全部見ようとするので、わかりにくかった。工夫が必要と思います。アンケートをしたのなら、結果と考察は発表すべきです。どこで発表すると、紙面でも伝えるべきでしょう。同じような質問をしても進歩がないのは発表しないから改善にまで及ばないのだと思います。いかがでしょうか。
- ・高齢者は転居すると早くボケると聞きますから。
- ・娘が4月1日より同居。十日町市の介護施設に勤務させてもらえる事になりました。まだ私も働けるので畑や家事をやり最後はピン

コロを願っております。娘やその夫には申し訳なく、また感謝しております。これからは段差（家の）をなくしたり、先が見えないだけに不安もありますが、なる様にしかならない。自分の事のみ書き連ねましたが、昔の十日町を知っているのにぎやかな通り、人の集まる場所をつくるのは大事な事だと思います。でも私はもう年をとりすぎた。

- ・ 自宅があり、そこで長年生活している者にとっては、中心市街地であろうが、どこであろうが、「住み替え」という事に関しては、あまり関係のない事です。自分の住んでいる場所を住みやすくしてほしいと思うのではないのでしょうか。
- ・ 住所表記が、卯とか辰とか丑とか、わかりづらい。統一してほしい。子育てより老人に対する補助してほしい。子育て支援スペースはこれ以上増やさないでほしい。（見てみると子供の利用者が少ない）それより、中・高生の学習スペースをつくってほしい。公民館、情報館だけでは足りないし、情報館は落ちつかない。
- ・ 特になしですけど、十日町の住所の二重表示が誠にわかりにくい。だいぶ前ですがNHKの全国版に出たけれど郵便局員泣かせと。
- ・ 私は年で（72歳）、子供は知的障害で、毎日元気で暮らすのが一生懸命です。
- ・ 現在の生活環境に不便を感じたことが特になかったので気づきませんでした。今回のアンケートや、テレビで見る集合住宅の現実的な内容を見る機会が増え、考えていかなければならない問題だと改めて感じました。今後、より深く考えていきたいと思います。
- ・ 体の具合から、今のところ何とも言えない。
- ・ 夫婦2人で146才です。ずっと今の自宅にいるつもりですので考えていませんが、もし長男が十日町に職でもあって帰って来る様な事があれば、その時は本気で考えなくてははいけないと思っております。そういう日が来ると良いと考えているのですが。
- ・ 山の中からこちらに出てきたのでこれよりどうしようもありません。
- ・ 年をとったら、十日町に住むつもりはない。県外から来た者にしてみれば、こんなに不便

で、将来不安に感じる所はない。1人で生きていける自信がない。

- ・ 80才という年。病人を連れて歩くということ。時代の大変という私も感じています。ご苦労様で一日一日が皆様に感謝です。
- ・ 着物関係の仕事をやっていない人は人間でない様言われて来たので十日町に住む住まない事よりも人間性がいやだ。偏りすぎている十日町を地元の人達はわかっていない。合併したのだから新聞社等も広く考えて報告すべきだ。
- ・ 中心市街地活性化はこれからの十日町市にとっては必要だと思う反面、自分が育った町（松之山）からどんどん人が出ていってしまうかも知れないと思うと複雑な気持ちになります。
- ・ 今住んでいる所が「一番」と思いますが、近い将来1人で住むようになった場合、我家は大き過ぎて1人で守って行くのは大変です。それを考えるともう少し、小さい所に住み替えが必要かとも思うのですが。
- ・ 降雪期の備えに井戸を二本掘って屋根から庭まで水を流しているのでもあまり困る事はないけれど、この様にするには費用が大変だったので、なかなか出来ないのではないかと思う。
- ・ 我が家は今のところ、毎日を無事に過ごしておりますが、この先住み替えの時が来たら、息子がいる東京へ行くと思います。中心市街地への住み替えは考えた事ありません。
- ・ 勤め人が忙しすぎる。労働時間を短くしてほしい。
- ・ 時折、街中を車で走る事があります。半世紀も前、稲荷町にしばらく住んでいました。（駅裏）その頃のまちの活気を懐かしく思い出します。主人の母と私の母を招いて祭り屋台を見に一晩明かした事などを笛の音と共に切なく思い出します。さびれたという言葉は不当でしょうが、もう一度あの頃の活気が欲しいと切実に思います。いつ通っても死んだように静かな街中を通ると、これが十日町かと切なくなります。なんとか「とおかまち」を生きかえらせたい。せつないねがいです。
- ・ 車の回数が少ないため。タクシーの回数が多いので。

- ・ 23年7月29日水が出て水害になり、茶の間、台所、風呂、脱衣所、座敷などみんな台所から直しました。夏で暑くて大変な日でした。3週間集会所で着のみ着のまま、入用のものをもって集会所暮らしをして来ました。大変でした。一生忘れないと思います。
- ・ カールベックスさんの様な日本家屋の良さをもっと皆が認識できる社会になって欲しいです。
- ・ ゴミステーション（箱型）が欲しいです。カラス対策の情報が知りたいです。ゴミネット以外で良い物があったら資料がほしいです。
- ・ 夫の仕事が全国にあるためしかたないと思っていますが、 unnecessaryな文書や銀行などはこの支店でしか使えないなどとても不便です。
- ・ 今は元気ですが、子供があてにならなくなると考える事がたまにあります。問13の⑦の様な所に、まずは健康でなくては。
- ・ 先が見えないので心配です。
- ・ 年齢により（独身。結婚、老後等）広さや環境も変化していくだろう。老人としては、自然豊かな所に住んで交通の便利な所が良い。
- ・ 家が狭く自分の部屋がないのがさみしい。
- ・ パチンコばかりつくるのは止めていただきたい。
- ・ いくら山間部が不便であっても、簡単にずっと住んできた土地を離れることはできないと思います。十日町市の中心市街地より、もっと、都市部へ行った方が便利だと思います。
- ・ 現在の健康が維持できるとして、回答しました。今後の状況によって回答は大きく変わります。
- ・ 問13の取り組みをしっかりとやる事、ただし市民の「負担」も考える様に。
- ・ 新たな近所付き合いが不安。
- ・ 終結は家族のもとへともう一つは災害への備えをすべきであると思う。
- ・ 相談所の開設をお願いします。
- ・ 冬に雪対策等あまりよくない。買い物は自動車でショッピングしています。家にいるときはテレビショッピングを時々します。高田町バイパスは自動車のスピードを落としてください。
- ・ 旧田倉跡地にファミリー向け都市型住宅がつけられるようですが、子育て世代だけを優遇するのではなく、それ以外でも30代と60代の親子で頑張っている人たちもたくさんいると思うので、全ての家族に平等なまちづくりをお願いしたいです。
- ・ 赤倉に骨を埋めるつもり。
- ・ 郊外型スーパーの近くに住みたい。
- ・ 平屋で広い間取りの家で、雪と雨の心配なく住みたい。
- ・ 十日町は良い所です。雪が降らなければですけど。雪の除雪もまあまあだと思います。
- ・ 住み替えの予定はありませんが、どうせなら雪の降らない所がいいです。
- ・ 70年以上この雪国に住んで思うには、こんど海に見える方に住みたいと思うが、それには心配もある。やはり、この地が良いか。
- ・ 町内はいやです。雪の心配。ごみごみの町の中。建物と建物の間がない。ごみごみしている。
- ・ 豪雪地を出たい。
- ・ 雪国は余計な金銭・労働がかかるので、雪の少ない地域へ移り住みたいと思う。
- ・ 中心市街地という考え方で、中心とはどういう意味なのか。住まいも住み替えも働けるところがあってから考えられると思っています。十日町に住めるような状況をつくって欲しいです。（子供が帰って来て十日町に家をつくり住む状況をつくって欲しい。）